小学校社会科地域副読本

わたしたちのふるさと

福島県

福島県教育委員会

～ 巻頭言 ～

わたしたちが住む福島県は，「はま・なか・あいづ」という３つの地方で構成され，豊かな自然，古くからの伝統文化と歴史，おいしい食べものなど，さまざまな魅力にあふれています。

みなさんが生まれる前の 2011 年（平成 23 年），福島県は東日本大震災という大変大きな災害にあいました。それでも，人と人が手を取り合い，力を合わせて，問題をひとつひとつ解決してきました。それらを通してつちかわれた，人と人とがつながる力や，課題に対して前向きに挑戦を続ける力なども，「福島ならでは」の魅力のひとつであると思います。

「わたしたちのふるさと福島県」には，たくさんの魅力がつまっています。みなさんがこの副読本を活用して，福島県の今を見つめ，福島県の未来について考えることで，自分たちの身近な地域のよさを感じるとともに，福島県に愛着と誇りをもつきっかけとなりますことを願っています。

令和６年３月　福島県教育委員会教育長

大沼　博文

（写真：尾瀬国立公園の水芭蕉）

わたしたちのふるさと　福島県

＜　も　く　じ　＞

○　巻頭言・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
○　もくじ・学習の進め方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
1　わたしたちの福島県・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
（1）　福島県の広がり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
2　自然災害からくらしを守る・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
（1）　地震からくらしを守る・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
3　ふるさとの伝統・文化と先人のはたらき
（1）　福島県に古くから残るもの・・・・・・・・・・・・・・・・38
　①　古くから残る建物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・40
　②　古くから伝わる芸のう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・42
　③　昔から続く祭り・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・44
（2）　医りょうにつくす　～ 野口 英世 ～・・・・・・・・・56
4　特色ある地いきと人々のくらし・・・・・・・・・・・・・・・68
（1）　伝統的なぎじゅつを生かしているまち
　①　だるまづくりがさかんな白河市・・・・・・・・・・・・70
　②　焼き物と共に歩み続ける浪江町・・・・・・・・・・・・78
（2）　国際交流がさかんなまち
　①　国際交流に取り組む郡山市・・・・・・・・・・・・・・86
　②　国際交流に取り組むいわき市・・・・・・・・・・・・・94
（3）　地いきの資源を生かしているまち
　①　自然と共に生きる只見町・・・・・・・・・・・・・・・102
　②　古くからのまちなみを生かす棚倉町・・・・・・・・・110
5　これからの福島県
（1）　ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま・・・・・・・・120
○　編集にたずさわった人たち・参考文献など・・・・・・・130

○　3の(1)では，①～③を比べながら，学習を進めましょう。
○　4の(1)～(3)では，自分が住んでいる市町村とは異なる地いきの特色を学習します。①か②のどちらか一つを選んで，学習しましょう。

学 習 の 進 め 方

つかむ

○ 気づいたことやぎもんに思ったことをみんなで話し合い，学習問題をつくろう。

調べる

○ 学習問題の解決に向けていろいろな方法で調べよう。
→ 実際に行って調べる，手紙やメールで質問する，本で調べる　など

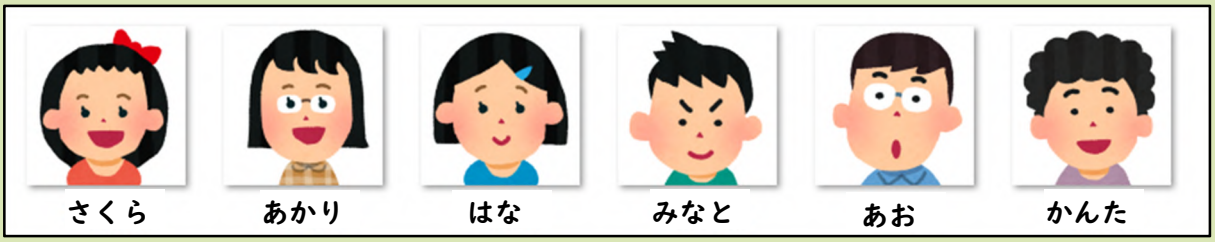
まとめる

○「何を学習したか」，わかったことや考えたことをまとめよう。
○「どのように学習してきたか」をふり返ろう。

広げる

○ 学習してきたことをもとに話し合って，次の学習につなげよう。
○ 地いきの課題解決に向けて，自分にできることを考えてみよう。

登場人物・キャラクター



ふくしま応援！
「ベコ太郎」

社会科の学習で大切にしたい見方・考え方

※　次のことに気をつけて学習しましょう。

時期や時間の変化

地いきに古くから残っている建物は，**いつ**ごろ建てられたのかな。

場所や広がり

高速道路や新幹線、鉄道が集まっているのは，福島県の**どのあたり**かな。

くふうや関わり

大きな災害にそなえて，どのような人たちが**協力**しているのかな。

くらべる

県内の特色ある地域を**くらべて**みて，三つの地いきの**共通点**を見つけてみよう。

関連付ける

福島県の土地の使われ方は、地形や気候と**関係**がありそうだよ。

総合する

自然を守る取り組みをしている人たちの思いや願いを**まとめる**と，○○と言えると思います。

1 わたしたちの福島県

福島県の位置

知っている都道府県はあるかな？地図帳やインターネットで調べてみよう。

「都道府県の数を調べたら，ぜんぶで 47 もあったよ。」

「東京都，北海道，大阪府，京都府と，43 の県を合わせて，47 都道府県とよぶこともあるみたいだよ。」

「知っている都道府県について調べてみようよ。」

① 網走の流氷（北海道）

④ 竿灯祭り（秋田県）

② 平等院鳳凰堂（京都府）

⑤ 富士山と東京スカイツリー（千葉県）

③ 鳥取砂丘（鳥取県）

⑥ 塚崎の獅子舞（茨城県）

(①：© T-KIMURA, ②：© ganden, ③：© Shunsuke2233, ④：mko294, ⑤：©市川市, ⑥：©境町 写真はすべてクリエイティブ・コモンズ・ライセンス（表示 4.0 国際）のもとに掲載を許諾されています。 https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/)

「特産物やお祭り，観光地など，都道府県ごとに，その土地ならではの特色があるみたいだね。」

「わたしたちが住む福島県にも，福島ならではの特色があるのではないかな。」

「３年生で，市について調べた時のことが生かせそうだね。」

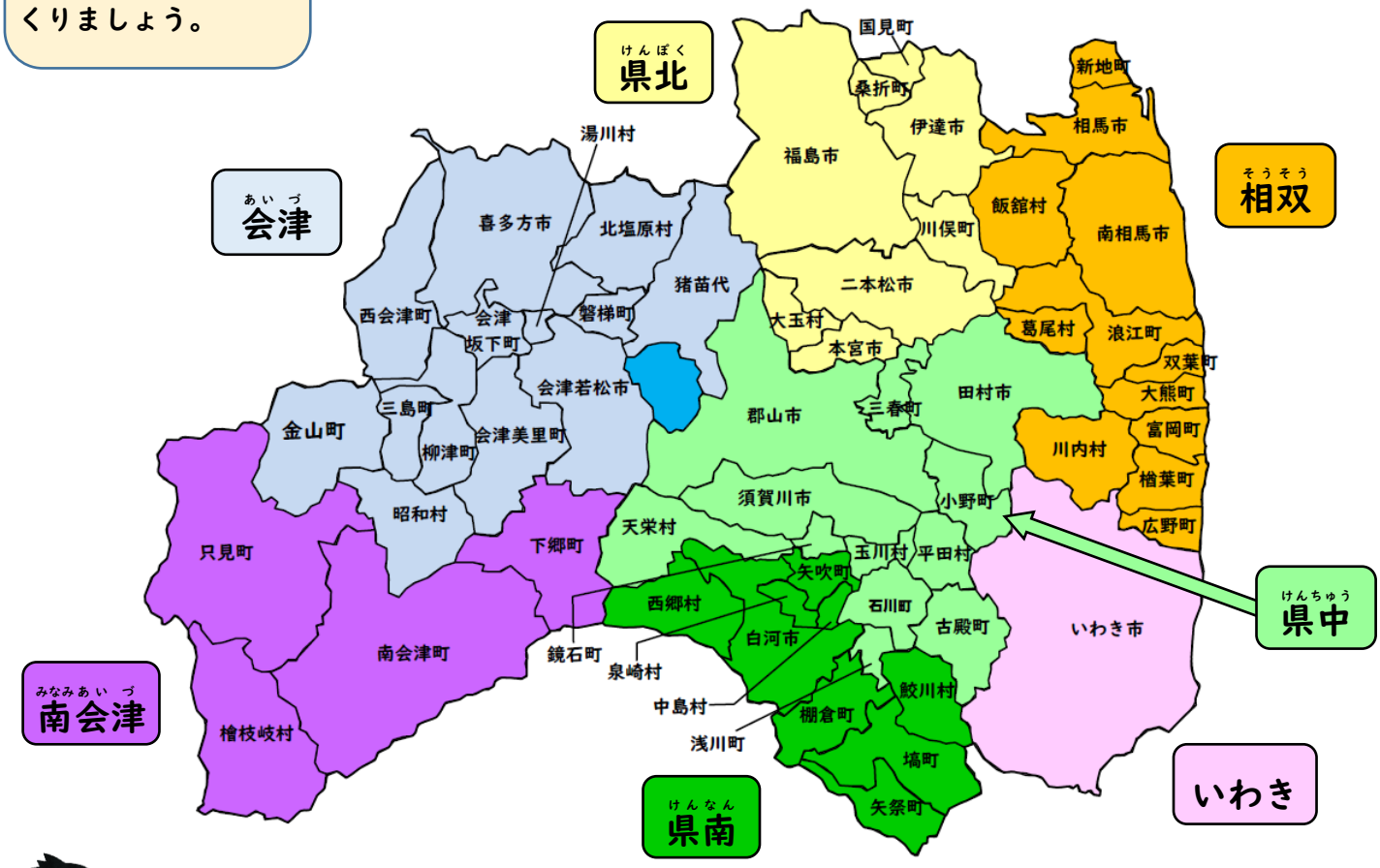
（1） 福島県の広がり

つかむ

わたしたちが住む福島県について話し合い，学習問題をつくりましょう。

わたしたちの福島県

みなとさんたちは，自分たちが住む福島県について，地図を見て気づいたことを話し合いました。



「福島県には，13 の市，31 の町，15 の村があるんだね。」

「ぜんぶで 59 の市町村があると聞いたことがあるよ。地図を見たら県北，県中，県南，会津，南会津，相双，いわきの七つの地いきに分けられるみたいだね。」

「テレビの天気よほうでは，浜通り，中通り，会津の三つの地方で分けているのを見たことがあるよ。」

- 福島県について知っていることを話し合おう。
- 地図帳を見ながら，知っている場所や気づいたことを話し合おう。

話し合ううちに，みなとさんたちは，福島県のことをもっと知りたくなり，福島県のホームページで調べることにしました。

① 県章

福島県のかしら文字の「ふ」の字を図案化したもので，県民のゆう和と団結を表しています。

② 県旗

愛情と希望をあらわす「あかみだいだい」の地色に県章を旗の中心からやや左上部に配置することによって，県勢の限りないやく進を表しています。

③ 県の花　ネモトシャクナゲ

福島県では，吾妻山，安達太良山に群生しています。ツツジ科で，高さは1～3メートルで，花は白またはうすべに色です。

④ 県の鳥　キビタキ

４月から10月にかけてと来し，低山帯から上部の落葉広葉樹の自然林に生息しています。オスはオレンジ，黒，黄色をおび，美しい声で鳴きます。

⑤ 県の木　ケヤキ

福島県内に広く分布している落葉高木です。陽のあたる場所を好み，成長が早く，じゅ命が長いのが特ちょうです。

「福島県のことをもっと調べて，福島県のよいところをたくさんの人にしょうかいしたいね。」

【調べること】

- ○ 県の位置やまわりの県との位置関係。
- ○ 県の地形。
- ○ 県の土地利用の様子。
- ○ 県の交通の広がり。
- ○ 県の主な産業や人口の分布。

【調べ方】

- ○ 地図帳を使ったり，図書館やインターネットを利用して資料を集めたりして調べる。
- ○ 実際に行って調べたり（見学，調査，インタビューなど），メールや手紙でほかの学校や市役所の人などにたずねたりする。

【まとめ方】

- ○ 調べたことを県の白地図などにまとめる。
- ○ 県の特色やよさについて，新聞やＰＲ紙を作ってしょうかいし合う。

学習問題

福島県の地形や都市の位置，交通や産業には，どのような特色があるのでしょうか。

調べる

福島県では，どのような地形が見られるのでしょうか。

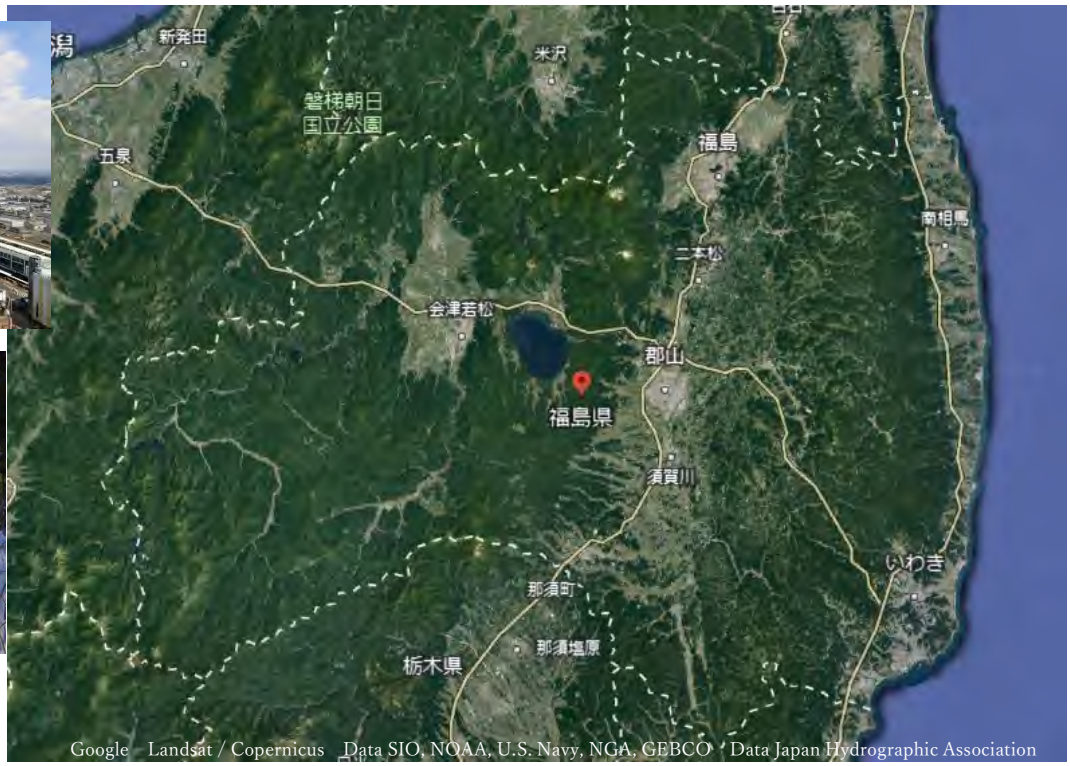
みなとさんたちは，衛星写真，福島県内各地の写真，地勢図などを見ながら，県の地形について話し合いました。

空から福島県をながめたら

① 福島市（福島盆地）

② 伊達市（阿武隈川）

③ 郡山市（安積平野）



④ 猪苗代町（猪苗代湖）

⑤ 檜枝岐村・南会津町（尾瀬）

⑥ 相馬市（松川浦漁港）

地形

山地・盆地・高地など，高低やかたむきをふくめた土地の形のこと。地図や衛星写真などを見て，県内のどこにどのような地形があるのかを調べることで，県の特色が見えてきます。

- **県内の地形のちがいについて，気づいたことを話し合おう。**
- **県内の山地や盆地，海岸の特ちょうを調べよう。**

「写真にある盆地や川，湖などは，どこにあるのかな。」

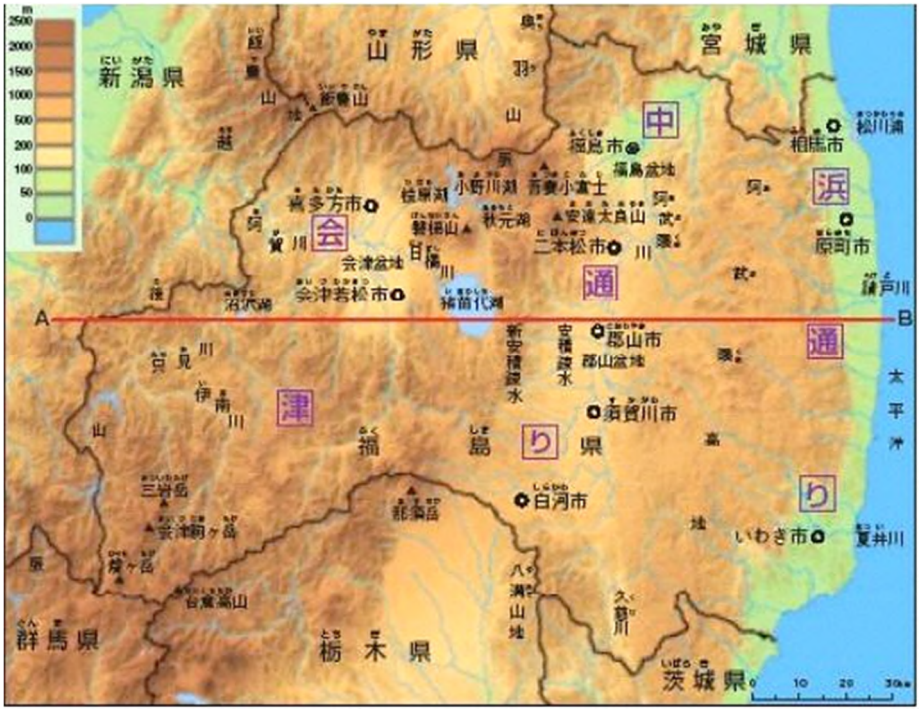
「地勢図を見ると，地形や位置，高さがわかるよ。断面を見ると，県の西には高い山があり，東には海があるね。」

「県で一番高い山はどの山かな。」

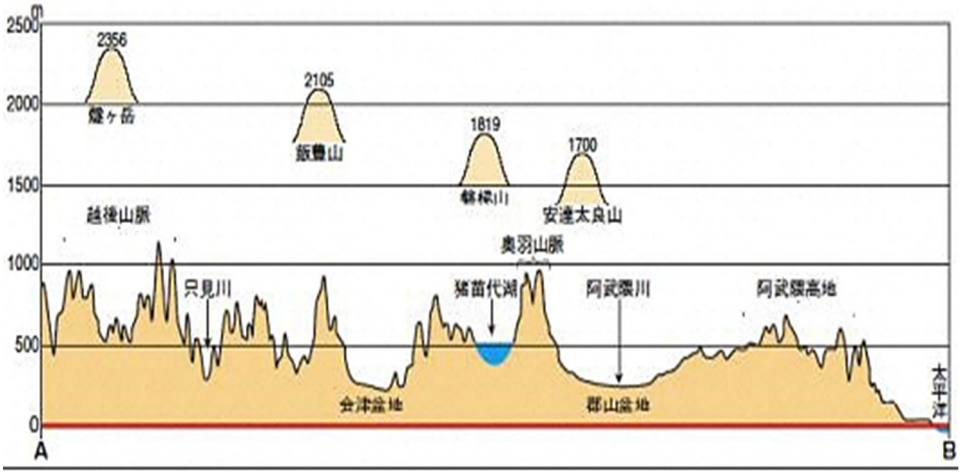
「海沿いや人がたくさん住んでいる都市では，低い土地が広がっているね。」

「桜の開花や紅葉の時期が地いきによってちがうと聞いたよ。地いきによるちがいは，地形と関係があるのかな。」

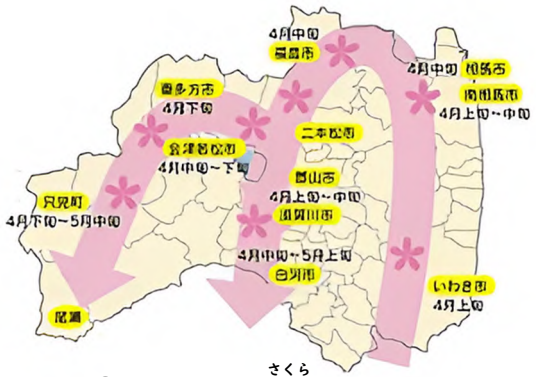
「福島県は，奥羽山脈と阿武隈高地によって浜通り，中通り，会津の三つの地方で分けられているんだよ。」



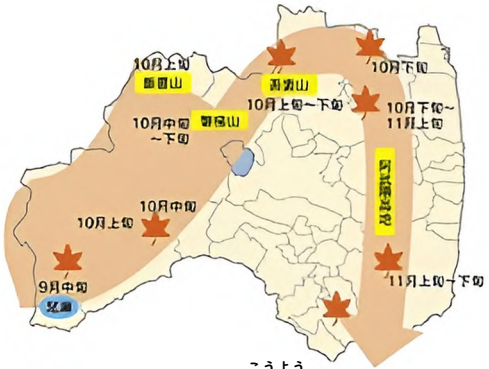
⑦　福島県の地勢図



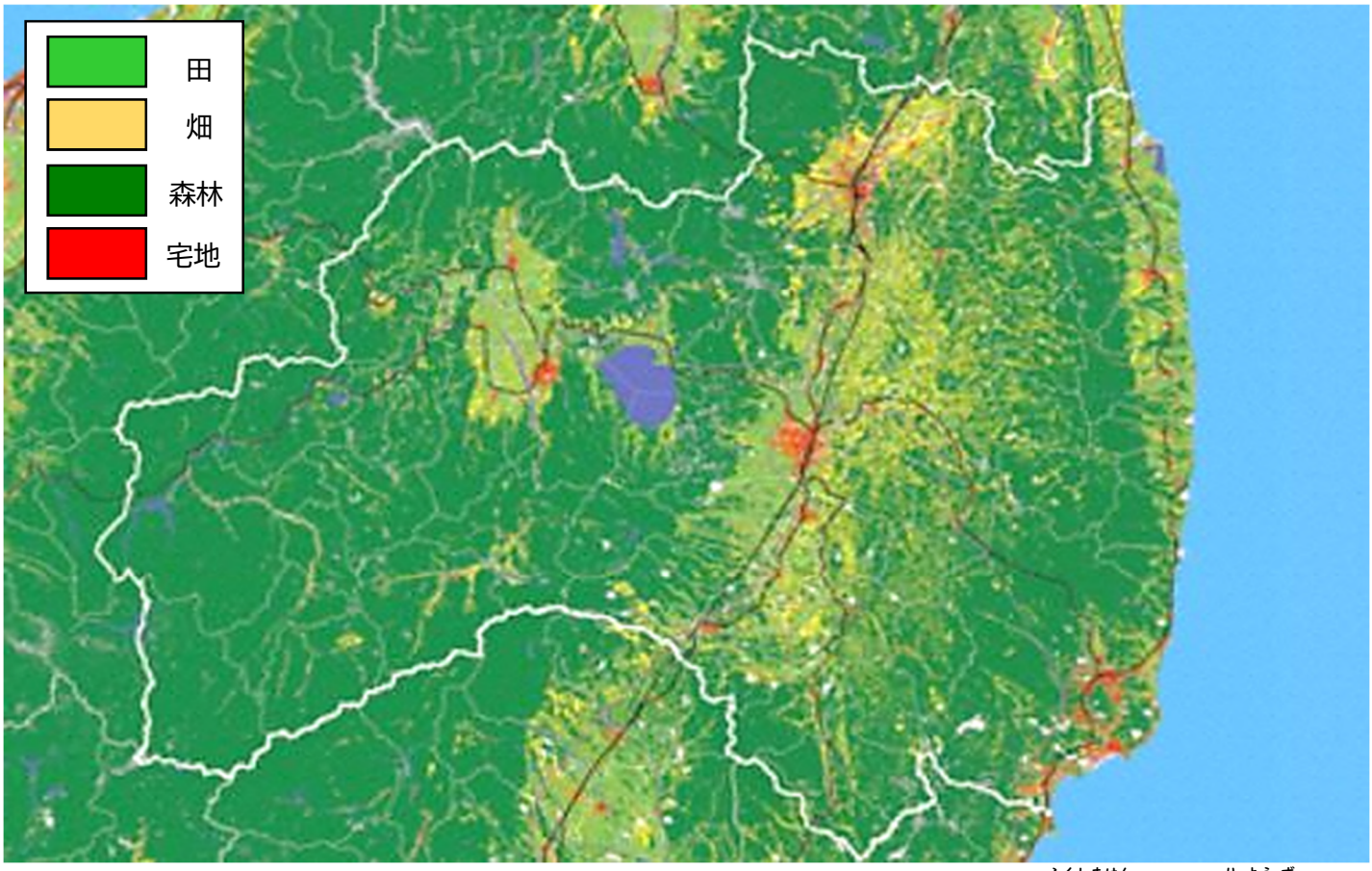
⑧　地勢図に対応した断面



⑨　福島県の桜の開花時期



⑩　福島県の紅葉の時期



① 福島県の土地利用図

調べる

福島県では，どのように土地が使われているのでしょうか。

土地利用

地形や気候といった自然のじょうけんを生かして土地を利用すること。土地利用の様子を調べるとその地いきのくらしや産業のくふう，人々のくらしの様子がわかります。

福島県の土地利用の様子

みなとさんたちは，県内の写真や土地利用図などを見て，気づいたことを話し合いました。

「写真を見ると，建物が多い市街地や果じゅ園，牧場や田などがあるね。」

「土地利用図を見ると，田や畑は，平地や盆地に広がっているよ。」

「人口が多い市には，宅地が多く，市街地は福島市や郡山市，いわき市といった大きな都市に広がっているよ。」

- **県内の土地は，どのように使われているか調べよう。**
- **福島県の土地の使われ方を，地形と関係づけて考えよう。**

② 市街地（郡山市）

③ 果じゅ園（福島市）

④ 牧場（鏡石町）

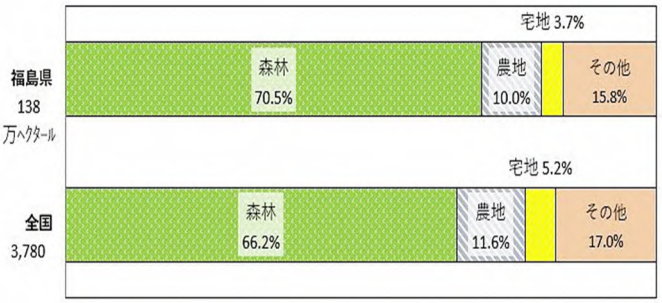
⑤ 田（会津若松市）

次に，地形とのつながりに注目しながら，土地利用の特色について話し合いました。

「盆地や土地の高さが低いところには，宅地や田，畑が多いよ。」

「山地には，森林がたくさんあるね。森林の面積の割合は全国と比べて大きく，自然にめぐまれていることがわかるね。」

「ゆたかな自然は，観光にも生かされているみたいだよ。」

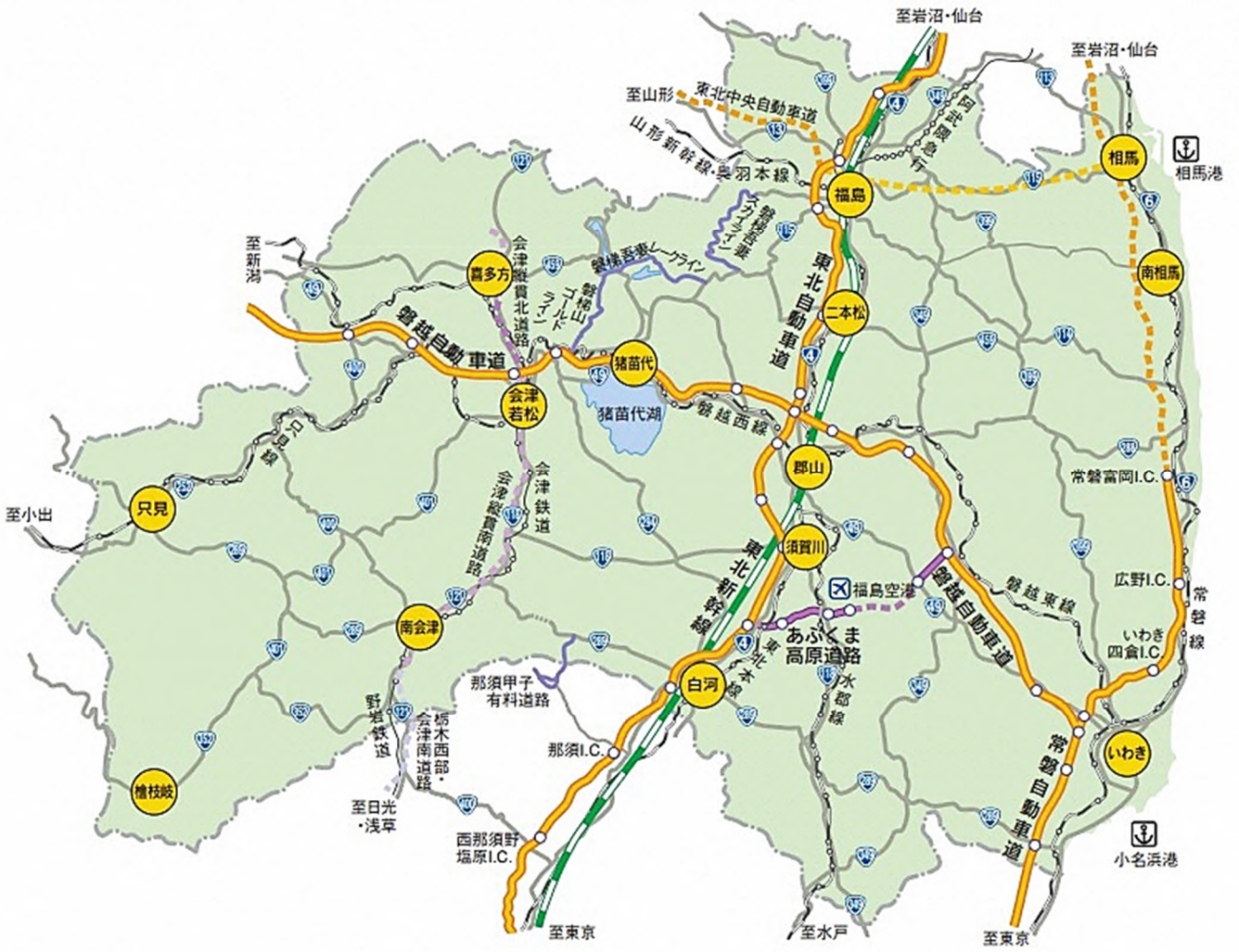


⑥ 福島県の土地利用のようす（2020 年）

（国土交通省「土地利用現況把握調査」，福島県復興・総合計画課「土地利用現況把握調査」より）

⑦ 観光に生かされる自然　三ノ倉高原

スキー場のゲレンデなどを利用し，季節に合わせた花畑が広がっています。福島県の自然のみりょくを知ってもらうためにさまざまな取り組みがされています。



① 福島県（ふくしまけん）の主な道路と鉄道の広がり

調べる

福島県では，どのように交通が広がっているのでしょうか。

福島県（ふくしまけん）の交通の広がり

みなとさんたちは，県内の交通の広がりを調べ，道路，鉄道，港，空港について，わかったことを話し合いました。

「東北自動車道（とうほくじどうしゃどう）や東北新幹線（とうほくしんかんせん）が，県を南北に通っているよ。」

「地図をよく見ると，高速道路や鉄道は、南北だけでなく，東西にも通っていて，山がわと海がわにもつながっているね。」

交通

交通は，人やものを運ぶための大切な働（はたら）きをしています。多くの人やものが集まる都市には，多くの交通路が集まり，人やものの動きをささえています。

- **県内の主な道路や鉄道，港や空港の位置（いち）を調べよう。**
- **県内の交通の広がりと，地形や土地利用（りよう）の関係（かんけい）を話し合おう。**

② 東北新幹線

③ 東北自動車道

④ 福島空港

⑤ 小名浜港

「県庁所在地の福島市や郡山市など，高速道路や鉄道が集まっている都市があるね。」

「人が多く集まる都市では，交通も発達しているみたいだね。」

「ゆたかな自然を生かして，景色を楽しめる鉄道もあるみたいだよ。」

「県内の交通は，となりの県だけでなく，ほかの地いきや外国ともつながっているんだね。」

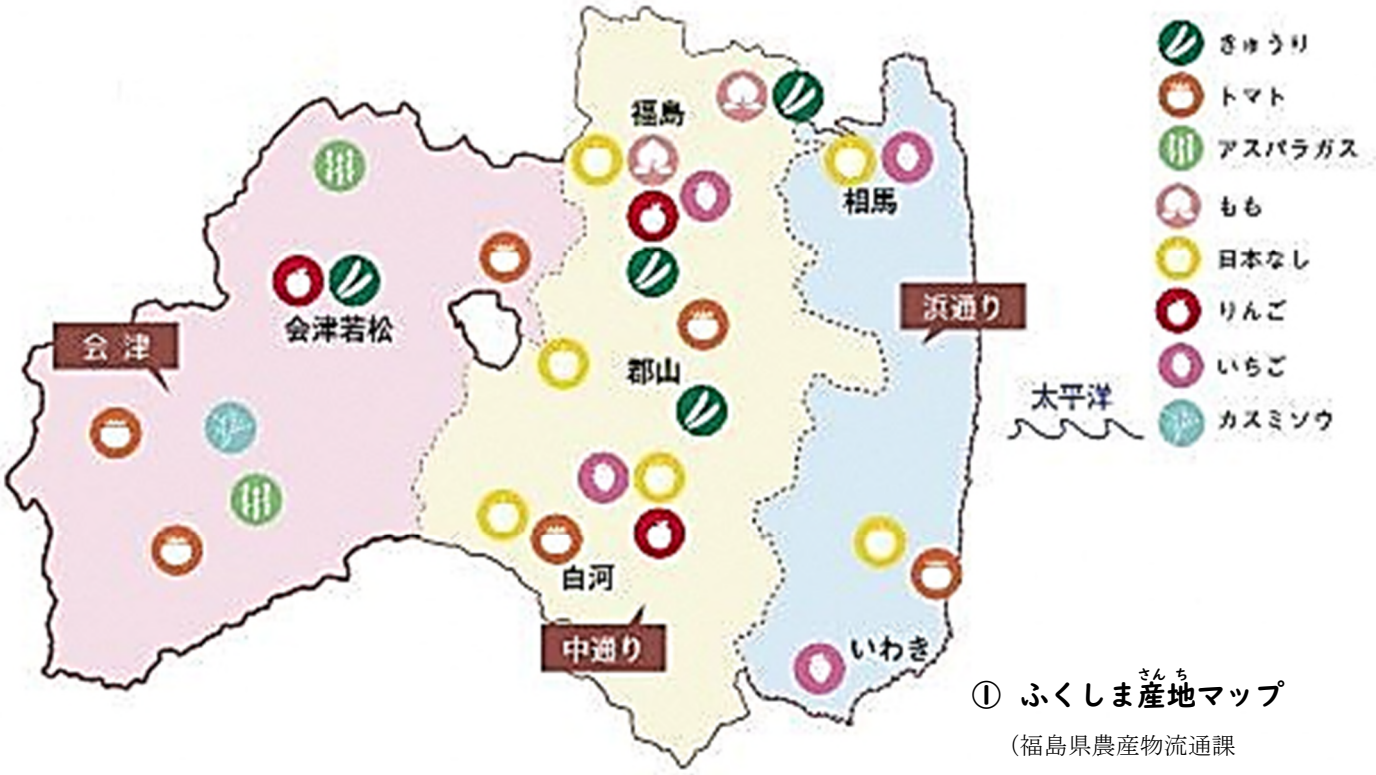
	市町村	人口（人）
1	いわき市	325，737
2	郡山市	324，003
3	福島市	278，133
4	会津若松市	114，687
5	須賀川市	73，800

⑥ 福島県の人口の多い市

（2022 年 10 月 1 日現在，「福島県統計課資料」より作成）

⑦ 会津鉄道（只見線）

日常生活の移動手段だけでなく，観光にもこうけんしています。



① ふくしま産地マップ

（福島県農産物流通課
「ふくしまがおいしい理由」より）

調べる

福島県には，どのあたりに，どのような産業があるのでしょうか。

産業

農業や水産業，工業，商業など，社会をささえるさまざまな仕事のこと。

福島県の主な産業

みなとさんたちは，地図帳や資料などを見て，福島県の産業について調べたことを白地図に書きこんでいくことにしました。

「地図を見ると，福島盆地では，ももやりんごなどの果物の栽培がさかんだね。」

「会津地方では，米や野菜などのしるしがあるね。冬に雪がたくさんふることと関係があるのかな。」

「海に面している浜通り地方では，さまざまな魚がとれるみたいだよ。『常磐もの』という言葉を聞いたことがあるよ。」

- **これまでに調べたことと，産業はどのように関係しているのか考えよう。**
- **福島県について知っていることや地図帳を見て気づいたことを話し合おう。**

② 農業：米づくり（喜多方市）

③ 農業：きゅうりづくり（須賀川市）

④ 林業（矢祭町）

⑤ 水産業：青のり（相馬市）

⑥ 商業：商店街（福島市）

⑦ 観光業：鶴ヶ城（会津若松市）

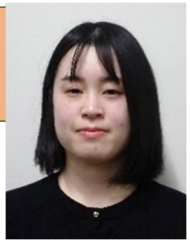
「福島県には，山や湖などの美しい自然，温泉や古くからの名所がたくさんあって，観光地になっているところがあるよね。」

「福島県では，地形や気候，自然や伝統などの地いきの特色を生かした産業がさかんなんだね。」

⑧　福島県のオリジナル米

全国有数の米どころである福島県は，2021年から「福、笑い」の販売を始めました。

福島県庁の丹伊田さんの話



福島県では，しゅうかく量が全国１位の夏秋きゅうりや２位のもも，７位の米など，全国３位の面積の広さと豊かな自然を生かしてさまざまな農産物がつくられています。たくさんの方に福島のおいしい農産物を知ってもらうために，ＰＲ活動やイベントも行っています。

また，ふくしまならではのオリジナル品種の開発にも力を注いでいます。

「ふくしまがおいしい理由」（福島県農林水産部ＨＰ）

【県北地いき】
・福島工業団地
・福島西工業団地
・保原工業団地

医療－産業トランスレーショナルリサーチセンター

【相双・いわき地いき】
・相馬中核工業団地
・南相馬復興工業団地
・中野地区復興産業拠点（双葉町）
・小名浜臨海工業団地

【会津・南会津地いき】
・会津若松工業団地
・喜多方綾金工業団地
・森之前工業団地
・スマートシティＡｉＣＴ

福島ロボットテストフィールド

会津大学先端ＩＣＴラボ

【県中・県南地いき】
・郡山西部第一・第二工業団地
・田村西部工業団地
・工業の森・新白河

福島再生可能エネルギー研究所

① 県内の主な工業団地やし設

調べる

福島県のどこで，どのような工業がさかんなのでしょうか。

福島県の工業

みなとさんたちは，地図や資料などを見て，福島県のどこで，どのような工業製品がつくられているのかを調べました。

「地図を見ると，人口が多い郡山市やいわき市などを中心に，それぞれの地いきに工業団地が広がっているよ。」

「たくさんの人が，工場の近くやまわりの地いきに住んで，はたらいているんだろうね。」

「研究や製品開発を行うし設も県内にはたくさんあるんだね。」

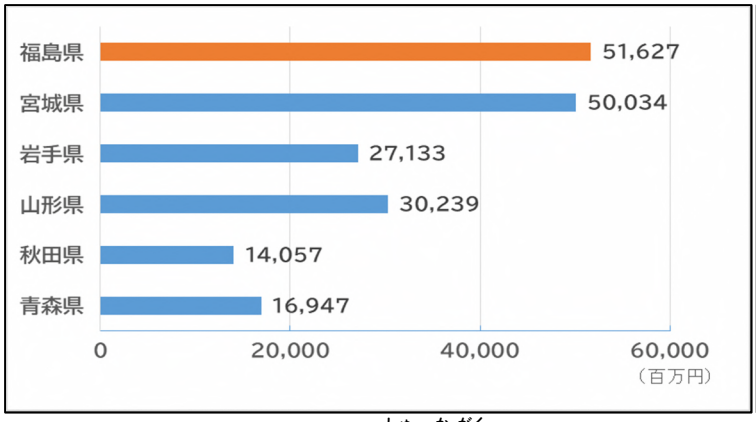
工業

原材料を加工して，いろいろな製品を生産する産業のこと。

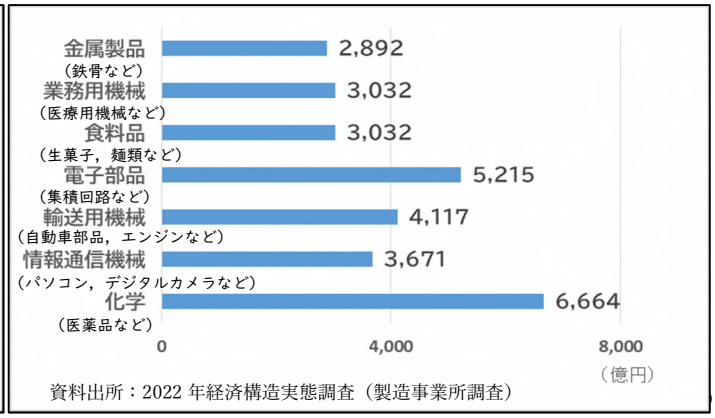
工業団地

一定の広さの土地を工業用地として整備し，工場や物流センターを計画的によびよせている団地のこと。

- 県内の工業の特ちょうを調べよう。
- これまでに調べたことと，工業はどのように関係しているのか考えよう。



② 東北６県のせいぞう品出荷額等（令和３年）



資料出所：2022 年経済構造実態調査（製造事業所調査）

③ 県内の主なせいぞう品と出荷額（令和３年）

「グラフを見ると，福島県は，せいぞう品の出荷額が東北で１位になっているよ。どのような工業がさかんなのかな。」

「化学や電子部品など，高いぎじゅつを必要とする物がたくさんつくられているね。」

④ アウトオブキッザニア

県内にある会社のみりょくを子どもたちに知ってもらうために，各地でイベントが行われています。

福島県庁の松津さんの話

福島県は，交通が発達し，効率よく物を運ぶことができるため，せいぞう業がさかんです。

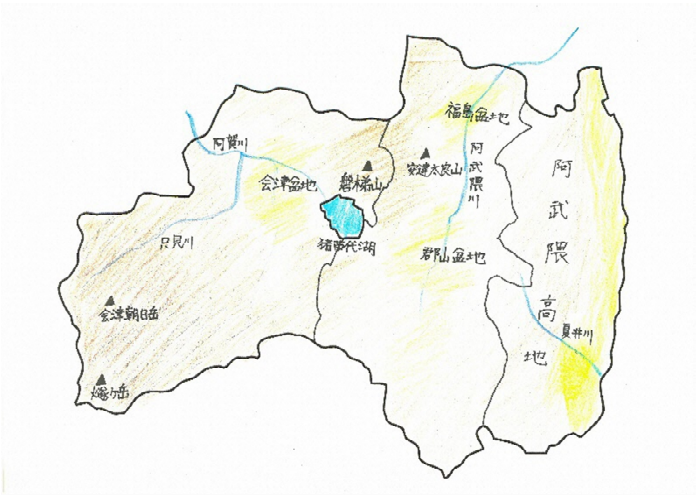
東日本大震災（2011 年）により，大きな被害を受けましたが，たくさんの人の支えんと努力で，復興が進んでいます。特に，ロボットや再生可能エネルギー，医療，ＩＣＴ分野などでは，国や地方自治体，大学，き業などと協力しながら，復興に向けた取り組みが，浜通り地方を中心に，それぞれの地いきで行われています。

また，福島県にある世界にほこれるすぐれたぎじゅつを持つ会社を，たくさんの人に知ってもらうための取り組みにも力を入れています。みなさんも，身近にどのような会社があるのか調べてみてください。

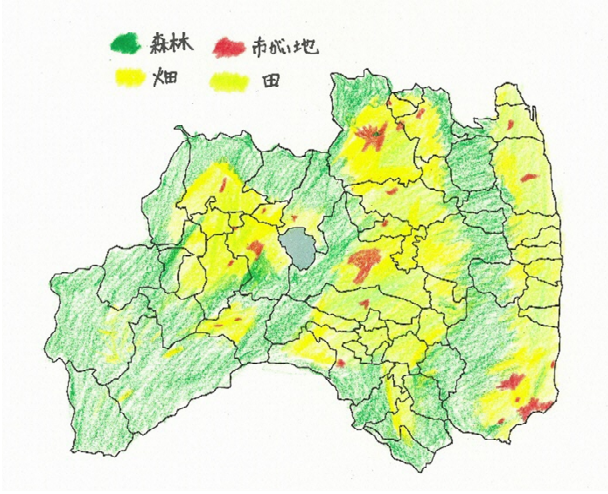
統計でみる都道府県のすがた
（帝国書院ＨＰ）

『感働！ふくしま』プロジェクト
（雇用労政課ＨＰ）

福島県小中学生企業ガイドブック
（雇用労政課ＨＰ）



① 地形についてまとめた白地図



② 土地利用についてまとめた白地図

【白地図のまとめ方】

- 福島県の主な盆地，高地，山，川，湖などの名前を書きこむ。
- 福島県の主な森林，田，市街地，畑の多いところに色をぬる。
- 福島県の主な鉄道，道路，港を書きこむ。
- 福島県の主な産業を書きこむ。

まとめる

調べたことをもとに，福島県の特色について話し合い，ＰＲ紙をつくりましょう。

学習問題

福島県の地形や都市の位置，交通や産業には，どのような特色があるのでしょうか。

学習問題をもう一度かくにんしよう！

福島県の特色をまとめる

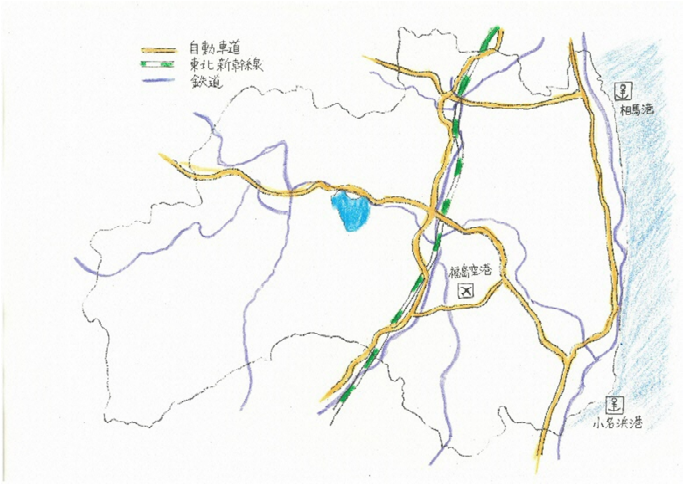
みなとさんたちは，これまでに調べたことをもとに，県の特色やよさについて話し合いました。

「県の地形には，盆地や高地，山や川があったね。農業や林業に生かされているよ。」

「県の南東にあるいわき市では，工業や水産業がさかんで，近くに港があるよ。」

「県の西がわの会津地方では，自然やれきしを感じられる観光地や広い土地で自然を生かした農業をしているね。」

「福島県は，福島市，郡山市，いわき市を中心に，地いきの特色を生かした産業が発達している県なんだね。」



③　交通についてまとめた白地図

④　産業についてまとめた白地図

みなとさんたちは，話し合いをもとに，県の特色やよさをつたえるＰＲ紙をつくって，ほかのクラスの友だちにも見せることにしました。

「わたしは，福島県のおいしい果物について伝えたいな。」

⑤　みなとさんのつくったＰＲ紙

【ＰＲ紙のつくり方】

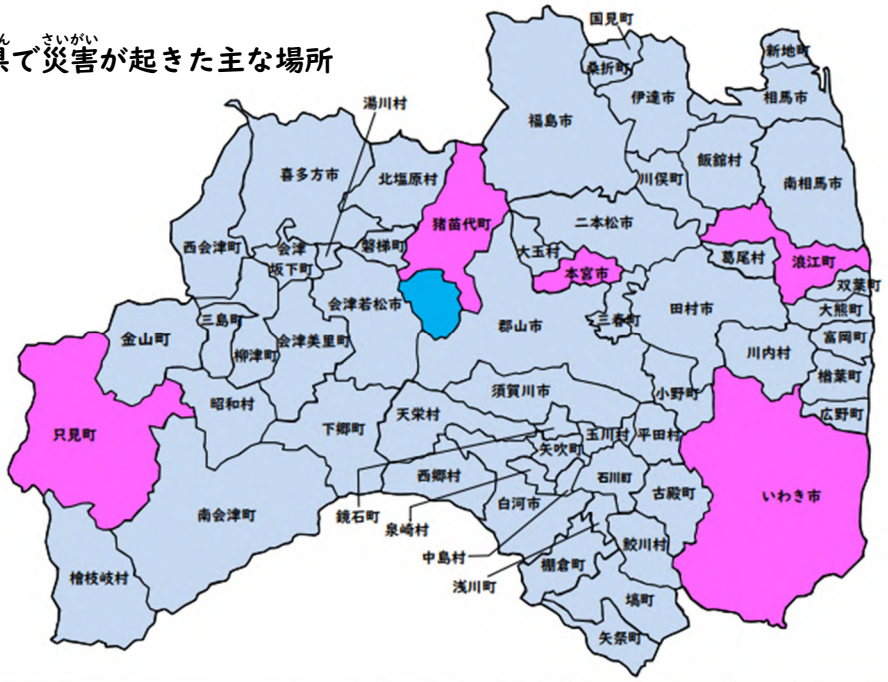
① 発表地いきを決める。
② のせる写真やイラストを選ぶ。
③ 写真やイラストに題をつける。
④ キャッチフレーズを決める。
⑤ ＰＲしたいことを文章にする。
⑥ 配置を考える。
⑦ 参考にした資料や写真の出所は，「出典」として書く。

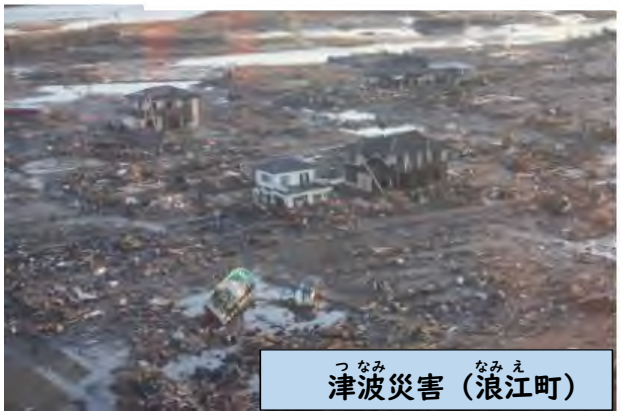
福島県の魅力
（広報課ＨＰ）

つくる時の参考にしてみよう！

2 自然災害からくらしを守る

① 福島県で災害が起きた主な場所




津波災害（浪江町）

雪害（只見町）

わたしたちが住んでいる福島県では，どのような自然災害が起きてきたのでしょうか。

県内のさまざまな自然災害

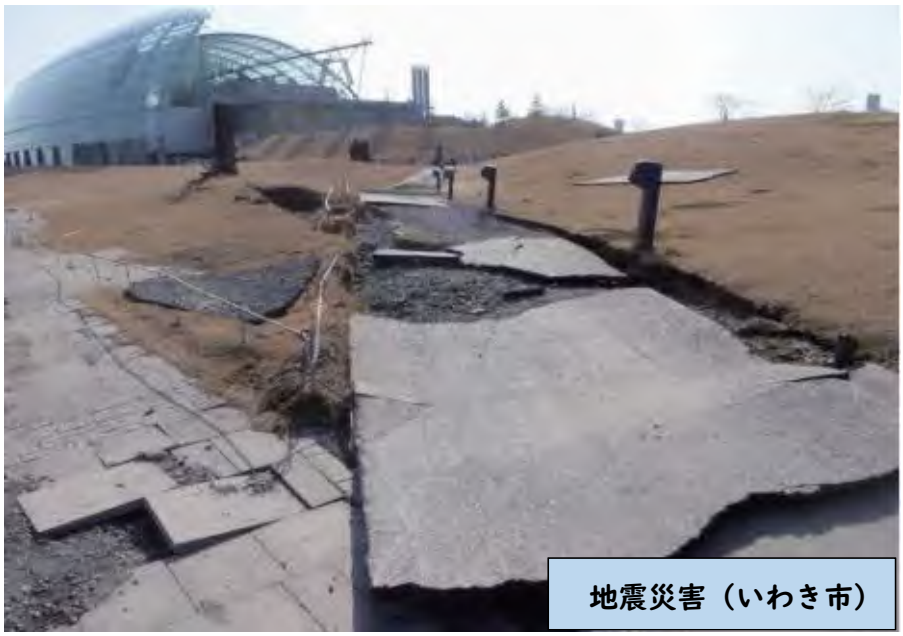
あおさんたちは，福島県内でこれまでに起きた自然災害について，年表や地図を使って調べ，気づいたことを話し合いました。

「毎年，日本全国のどこかで自然災害が起きてニュースになるよね。」

「山や海などの地形と自然災害は関係しているのではないかな。」

自然災害

ぼう風，ごう雨，こう水，高潮，地震，津波，ふん火などのいじょうな自然現象によって引き起こされる被害のこと。



地震災害（いわき市）

風水害（本宮市）

火山災害（猪苗代町）

「福島県では，台風や大雨，大雪などさまざまな自然災害が起きているんだね。」

「これらは，自然によって引き起こされるものだから，いつ，どこで起きるかわからないよね。」

「最近では，日本各地で大きな地震が続いて起きているよね。わたしたちが生まれる前に，福島県でもとても大きな地震があったと聞いたことがあるよ。」

「学校のひなん訓練で，地震が起きたときのことを考えた訓練をしたよね。」

あおさんたちは，地震災害から人々を守るために，だれが，どのようなことをしているのか調べることにしました。

年	主なできごと
１８８８（明治21）	ばんだい山のふん火
１９３８（昭和13）	福島県東方沖地震
１９６０（昭和 35）	チリ地震による津波
１９９８（平成10）	大雨による災害
２００６（平成 18）	大雪による災害
２０１１（平成 23）	東日本大震災
２０１９（令和元）	東日本台風

②　福島県の主な自然災害に関する年表

自然災害から人々を守る活動について，調べてみよう。

（1） 地震からくらしを守る

① 地震の被害を受けた福島学院大学

② 地震で起きた土砂くずれ

つかむ

地震によって，どのようなことが起きるか考え，学習問題をつくりましょう。

原子力発電所

ウラン燃料を利用して，発生させた熱で発電するし設のこと。発電のときに，地球温暖化の原因の一つであるといわれている二酸化炭素を出さないというよさがあります。しかし，燃料や廃棄物のあつかいがむずかしく，事故が起きると長く大きな被害が出ます。

地震が起きたら

あおさんたちは，福島県で以前に起きた地震の写真や資料などを見ながら，話し合いました。

「福島県では，2011（平成23）年に起きた東日本大震災をはじめ，令和に入ってからも大きな地震が起きて，道路や建物，多くの家が被害を受けました。」

「東日本大震災のときには，道路や建物がこわれただけでなく，土砂くずれや津波も起きて被害が大きくなったそうだよ。」

「福島第一原子力発電所も津波で大きな被害を受けて，今でもふるさとにもどれない人たちがいると聞いたよ。」

③　地震で被害を受けた道路

④　そうさく活動を行う消防団

「校庭にある白いポストのようなものは，原子力発電所の事故の後からつけられたらしいよ。」

「被害を受けたときには，県や国からけいさつや消防，自衛隊が出動して，わたしたちを支えんしてくれるんだね。」

「地震による被害をおさえるために，福島県や福島市では，どのような対さくをしているのか調べてみたいな。」

「県や市の対さくを調べるだけではなく，わたしたちは，どのようなじゅんびをしていればよいのかな。」

「大きな災害の発生にそなえて，自分たちにできることについても考えてみたいな。」

⑤　原子力発電所に津波がおしよせる様子

⑥　校庭にあるモニタリングポスト

地震が起きたときには，どのような対応がとられ，県内の人たちはどのような行動をしてきたのかな。

① 地震でこわれた家

② 地震の後に体育館に集まった人たち

つかむ

地震によって，わたしたちのくらしはどうなるかを考え，学習問題をつくりましょう。

地震とわたしたちのくらし

あおさんたちは，大きな地震が起きると，わたしたちのくらしはどうなるのかについて話し合いました。

「家がこわれた人のために，体育館や公民館がひなん所になるんだね。」

「せまいところでみんなが生活するから，たいへんそうだね。」

「道路が通れなくなると，助けが来るまでに時間がかかってしまうよ。」

「電気，ガス，水などのライフラインが使えなくなってしまったら，どうしよう･･･。」

大きな災害にそなえて，どのような協力が必要かな。

ライフライン

電気・ガス・水道など，線や管などで結ばれた，生活に欠かせない社会し設のこと。人の動きや生活，物の流れに欠かせない交通もうもライフラインの一つです。

学習問題

地震からくらしを守るために，だれが，どのようなことをしているのでしょうか。

あおさんたちは,「地震が起きる前と後」,「だれが」,「どのように」に着目して，学習問題について予想しました。

「県庁や市役所の人たちが注意をよびかけたり，『地震が起きる前と後』の対さくについて考えたりしているのではないかな。」

「災害が『起きる前』はじゅんびが,『起きた後』は協力が大切ではないかな。」

「地いきの人たちは,『地震が起きる前と後』の対さくについて話し合いをしているのではないかな。」

「けいさつや消防，自衛隊などが協力しているのではないかな。」

「県庁や市役所の人，わたしたちが住んでいる地いきの人などから話を聞いてみたいな。」

【調べること】

- ○　家や学校，地いきでは，どのようなじゅんびをしているか。
- ○　県庁や市役所，国の動きや協力体せいは，どのようになっているか。
- ○　福島市で予想される被害の広がりは，どのようなものか。

【調べ方】

- ○　家や学校でインタビューをする。
- ○　県庁や市役所のたんとうの人から話を聞いたり，メールや手紙でたずねたりする。
- ○　国や県，市，地いきの対さくについて，本やホームページで調べる。

【まとめ方】

- ○　地震からくらしを守るための取り組みについて調べたことを，カードにまとめ，話し合ったことを，他の学年の友だちに発信する。

① 家具の転とう防止グッズ

② さくらさんの家でそなえているもの

調べる

家庭や学校では，地震にそなえて，どのような取り組みをしているのでしょうか。

家庭では，地震にそなえてどのようなことをしているか話し合おう。

自助

自分の命は自分で守るということ。

家庭や学校でそなえているもの

あおさんたちは，自分たちの家庭で，地震にそなえてどのようなことをしているか話し合いました。

「地震が起きたときの行動について，家族でかくにんしました。」

「まずは，あわてずに，自分の身を守ることが大切だよね。」

「わたしの家では，高さがある家具には，転とう防止グッズをつけているよ。」

「わたしの家では，ひなんに必要なものをふくろに入れてじゅんびしているよ。」

「家族で話し合って，おたがいにれんらくができないときは，市のひなん所になっている公園に集まることにしているよ。」

「家庭での取り組みには差があるね。自助の取り組みは，これで十分なのかな。」

③　きん急時に使う毛布

④　きん急時の食料

⑤　転とう防止の金具

⑥　ひなん所のひょうしき

次に，あおさんたちは，学校では地震にそなえて，どのような取り組みをしているか調べ，話し合いました。

「わたしたちの学校では，ひなん訓練を１年間に２回行っているよね。」

「放送があると，まず身を守り，安全をかくにんした後，決められた場所にひなんするよ。」

「学校は，地いきのひなん所になっているから，きん急時に使う毛布や食料がじゅんびされているんだね。」

「転とう防止の金具をつけているのは，家庭と同じだね。」

「福島市や福島県では，地震にそなえて，どのような対さくをしているのかな。」

① 動画で学ぶ防災（「福島市防災学習館」より）

② 福島市防災ガイド

調べる

福島市では，地震にそなえて，どのような取り組みをしているのでしょうか。

防災計画

地震などの災害が起きたときに，どのように対応するかをあらかじめ決めているものです。救助や消火，じょうほうの伝達などをどのようにするかや，住民のひなん場所などを定めています。

動画で学ぶ防災

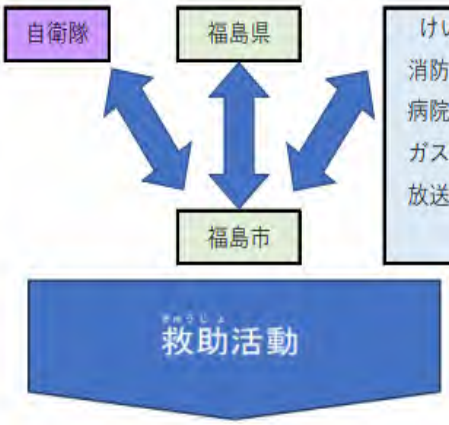
市の取り組み

あおさんたちは，市役所に行って，地震にそなえてどのような取り組みをしているのか話を聞きました。

福島市役所の浦住さんの話

市では，地震などの災害が起きたときにどのように対応するかなどを防災計画にまとめています。また，災害が起きたときのひなん所の場所などがわかりやすくまとめられている防災ガイドも作成しています。災害が発生したときには，きん急速報メールや防災アプリなどの方法で，ひなんの仕方やひなん所のじょうほうなどをできるだけ多くの人に伝えられるようにします。市では，ひなんした方のために約 10 万食の非常食と，毛布などをじゅんびしています。

③　道の駅ふくしまの地下タンク



④　大きな災害時の連けい図

市では，大きな災害が発生した時には，県や自衛隊，けいさつや消防などと連けいしながら，対応にあたっています。

「『道の駅ふくしま』には，災害が発生したときのために，水をためている地下タンクがあるそうだよ。」

「その水をひなん所などで利用するんだね。ひなん所の中には，ペットといっしょにすごせる所もあるみたいだよ。」

「福島市では，毎年，防災訓練を行っているみたいだよ。」

「大きな地震の場合，県や自衛隊，けいさつや消防とも連けいして対応するんだね。」

「福島市では，災害にそなえてできることや，災害が起きたときの行動についてまとめられた動画をつくっているそうだよ。」

次に，あおさんたちは，県では，どのような取り組みが行われているのか調べることにしました。

⑤　土砂災害にそなえた防災訓練

市では，毎年，総合防災訓練を行っています。さいきんでは，２年連続で夜中に地震があったことから，夜間のひなんの仕方について訓練できるよう，地元の会社の方と共同で行っています。

① 防災のためのイベント

② 防災クイズを使った学習会

県の取り組み

あおさんたちは，福島県庁に行って，県では地震や津波にそなえてどのような取り組みをしているのか，話を聞きました。

調べる

県庁では，地震にそなえて，どのような取り組みをしているのでしょうか。

福島県庁の丸山さんの話

県では，大きな地震が発生したときの津波対さくとして，ていぼうを高くしたり，川に津波が流れこむことをふせぐ水門を整備したりするなどの取り組みをしています。また，災害時に市町村でたくわえている食料や飲料水，毛布などが足りなくなったときのために，県でもたくわえをしています。

このような公助の取り組みは大切ですが，ハザードマップできけんな場所を確認しておくよう呼びかけたり，地いきで行われる訓練を支えんしたりすることで，自分の命は自分で守ることや近所の人が協力して助け合うことの大切さも伝えるようにしています。

③ ていぼう（楢葉町）

④ 水門（いわき市）

公助

国や都道府県，市（区）町村やけいさつ，消防などによるきゅう助やえん助のこと。

あおさんたちは，丸山さんの話を聞いて，福島県が地震や津波から命を守るために行っている取り組みについて，話し合いました。

「東日本大震災で被害を受けた経験をもとに，ていぼうを高くしたり，水門を整備したりしているんだね。」

「福島市では，非常食や毛布をたくわえていると聞いたけれど，福島県でも同じようなそなえをしているんだね。」

「『そなえるふくしまノート』や『マイ避難ノート』などを使って，そなえることをよびかけているところもにているよね。」

「公助の取り組みは大切だけど，自分の命は自分で守ることや，近所の人どうしで協力することも大切なんだね。」

「わたしたちの町の町内会では，どのような取り組みをしているのかな。」

次に，あおさんたちは，自分たちの町の町内会では，どのような取り組みをしているのか，調べることにしました。

⑤　そなえるふくしまノート

さまざまな災害に対してふだんから「そなえる」ことの大切さや災害が起きたときの「身を守ること」の大切さについてまとめられたノート。

⑥　ふくしまマイ避難ノート

ひなん行動をいざというときにすみやかに行うためにふだんから「マイひなん」を考えることができるよう，作成されたノート。

① 自主防災組織の集合訓練の様子

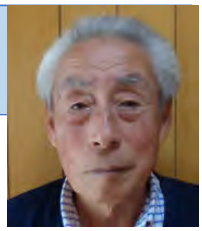
調べる

地いきの人々は，地震にそなえて，どのような取り組みをしているのでしょうか。

地いきの人々の取り組み

福島市には，自主防災組織という，災害のときに助け合い，地いきの人々を守っていく組織があります。あおさんたちは，自主防災組織では，どのような取り組みをしているのか，地いきの人に話を聞きました。

自主防災組織の山田さんの話



わたしたちが住む地いきは，川にかこまれているため，大雨がとても心配です。

災害が起きたときのために，自助だけでなく，地いきの人たちが支え合う共助を大切にしています。そのため，自主防災組織をつくり，役割を分担しながら活動しています。地いきの会社とも連けいをはかり，合同で訓練も行っています。地震が起きたときには，公園をひなん場所とします。公園には，トイレと水道があるほか，テントやテーブル，いすなどが保管されている倉庫もあり，ひなんしたときに使うことができます。

自主防災組織

地震などの災害が起きたときに，地いきの住民が「自分たちのまちは自分たちで守る」という思いのもと，自主的につくられる組織のこと。地いき住民が協力することで，より大きな力をはっきできます。

① 救出救護部は，けが人の応急手当を行い，病院や救護所に運びます。

② 予備消化部は，消化器を使って初期消火をします。

③ ひなんゆうどう部は，地いきの人をひなん場所まですばやく，安全に連れて行きます。

④ 物資部は，たき出しを行ったり，食料品や飲料水，生活用品を配ったりします。

⑤ じょうほう部は，被害のじょうきょうをはあくしたり，必要なじょうほうを伝えたりします。

「大きな災害が起きたときは，自分の身は自分で守る自助だけでなく，地いきで助け合う，共助も大切なんだね。」

「災害が起きたときに，だれが何をするのか部ごとに役割が決まっているんだね。」

「地いきの会社と合同で訓練をするなど，連けいをはかっているそうだよ。」

「地いきの人たちの自主的な取り組みも，災害からくらしを守るために大切なことなんだね。」

② 自主防災組織の主な活動

自主防災組織は，部に分かれてきん急時に活動します。

共助

近所の人がおたがいに協力して助け合い，地いきを守ること。

自主防災組織は，なぜつくられたのかな。

まとめる

地震からくらしを守るための，家庭や学校，市や地いきの住民(じゅうみん)の取り組みについて，まとめましょう。

学習問題

地震からくらしを守るために，だれがどのようなことをしているのでしょうか。

ことば

- 原子力発電所(げんしりょくはつでんしょ)
- ライフライン
- 自助(じじょ)
- 防災計画(ぼうさいけいかく)
- 公助(こうじょ)
- 自主防災組織(じしゅぼうさいそしき)
- 共助(きょうじょ)

自分や家，学校，市や県，地いきの取り組みについて，考えたことや気づいたことを話し合ってみよう。

地震(じしん)からくらしを守る取り組みをまとめる

あおさんたちは，地震からくらしを守る取り組みについて調べたことをふり返り，学習問題について考えたことをカードにまとめることにしました。

「まずは，自分の身は自分で守ることが大切だよね。」

「自分の身を守った後は，ご近所どうしの助け合いがとても大切だよ。」

「災害(さいがい)時には，ほかの地いきからボランティアの人たちが来ることもあるみたいだよ。」

「きん急のときは，市や県，けいさつや消防(しょうぼう)が協力(きょうりょく)して対応(たいおう)にあたっていることがわかったよね。」

「市や県，地いきの人々は，さまざまなそなえをしているけれど，ひとりひとりの防災いしきを高めることが大切だということもわかったよね。」

【あおさんたちがまとめたカード】

自助
自分の身は自分で守る

- 落ち着いて行動する
- つくえやテーブルの下にもぐる
- ひなんリュックを用意する
-
-
-

共助
学校や地いきで助け合う

- ご近所づきあいを大切に
- ひなん訓練を行う
- きん急の食料や水，毛布などをじゅんびしておく
-
-

公助
市や県，国などによる助け

- 防災計画の作成・周知
- 自助・共助のしえん
- 防災訓練やイベントのじっし
-
-
-

互助
ほかの地いきとの助け合い

- ボランティア活動の推進
- ボランティア活動の受け入れ
- 募金活動
- 助け合い活動
-
-

空らんのところに，調べたことを書きこんでみましょう。

「自助については，ふだんから家族で話し合っておくことが大切だね。」

「共助については，ご近所にどのような人たちが住んでいるか知っておく必要があるよ。」

「大きな災害のときは，公助がとても重要になってくるんだよね。」

「共助に加えて，ほかの地いきと助け合う『互助』の取り組みをもっと広めていきたいね。」

「自助」，「共助」，「公助」，「互助」，それぞれの役割をくらべながら考えてみよう。

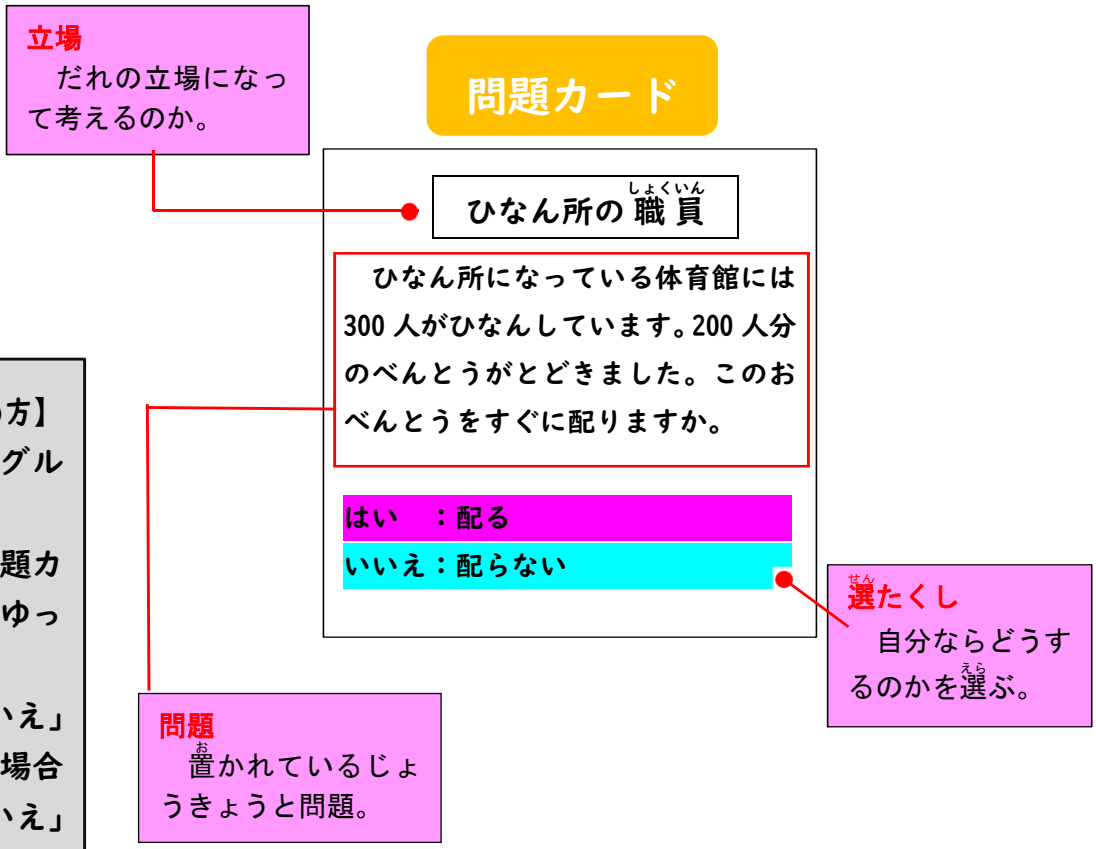
広げる

地震が起きて，学校がひなん所になった場合，自分はどうするか考えてみましょう。

ひなん所シミュレーション

あおさんたちは，これまでの学習をふり返り，学校や地いきで助け合う「共助」について，もっとよく考えてみたくなりました。

そこで，「ひなん所シミュレーション」をやってみることにしました。



【シミュレーションの進め方】

1　３～４人くらいのグループをつくる。

2　つくえの中央に「問題カード」を置き，当番がゆっくり２回読む。

3　各自，「はい」か「いいえ」かよく考え，「はい」の場合は手を「パー」に，「いいえ」の場合は「グー」にして，いっせいにあげる。

4　一人ずつ「はい」か「いいえ」にした理由を言っていく。

5　その後，友だちの意見を聞いて，さらに考えたことなどを発表する。

これは，いろいろな立場になり，自分なりの考えをたがいに伝え合うものです。正解はありません。なぜそう考えたのか，その理由を伝え合うことで，いろいろな見方や考え方にふれることが大切です。

「はい」を選んだ２人の理由

「せっかくのおべんとうが，くさってしまったらもったいないから。」

「小さい子どもやお年より，病気の人に，まずは食べものをあげた方がよいから。」

「いいえ」を選んだ２人の理由

「全員に公平に配るのはむずかしいし，もらえるかもらえないかでけんかになりそうだから。」

「たくわえてある食べものが，どのくらい残っているのかたしかめてから配った方がいいと思うから。」

そのほかの問題についても話し合ってみよう

住民

大きな地震が起きて，小学校の体育館にひなんしなければなりません。家族同然の犬をつれて行きますか。

はい　：つれていく
いいえ：つれていかない

小学４年生の児童

家で一人。大きな地震が起きて，つくえの下にもぐりました。その後も余震が続いています。外ににげますか。そのまま待ちますか。

はい　：外ににげる
いいえ：そのまま待つ

住民

真冬の朝に大きな地震が発生。ひなん所まで歩いて 20 分かかりますが，公民館には 5 分で行けます。まずは，公民館に行きますか。

はい　：行く
いいえ：行かない

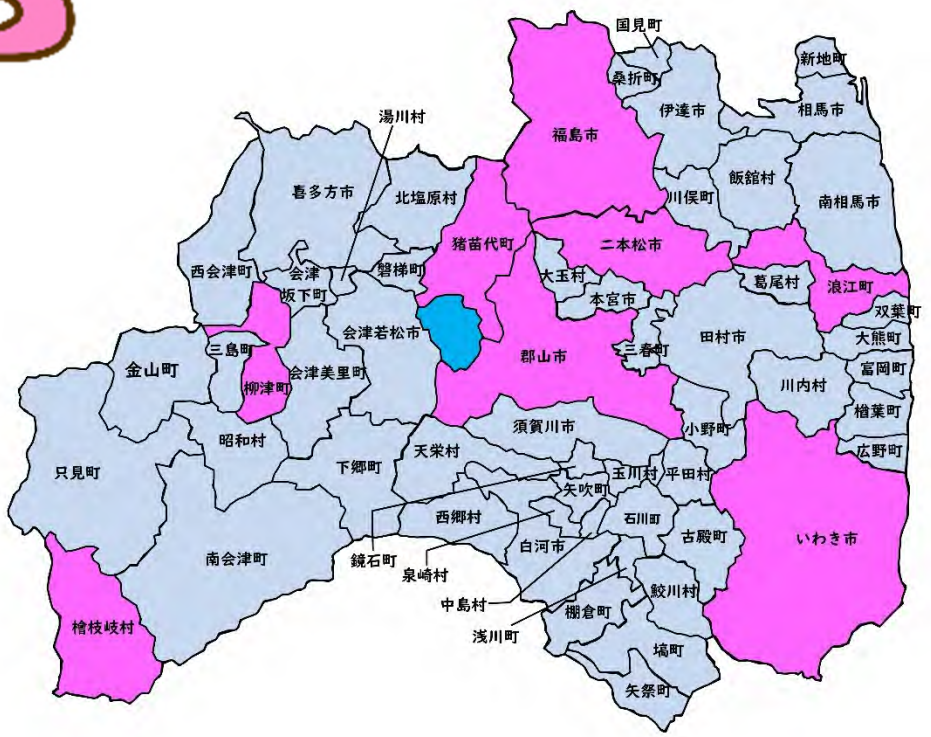
ひなん所の職員

ひなんしている人から，「家族の安否を確認したいから，けいじ板に名前を張りだしてほしい」というお願いがありました。安否情報が確認できるように，すぐに張り出しをしますか。

はい　：すぐに張り出す。
いいえ：すぐには張り出さない。

立場をかえて考えてみると，いろいろな見方や考え方に気づくことができるよ。

3 ふるさとの伝統・文化と先人のはたらき



① 安波祭（浪江町）

② 提灯祭り（二本松市）

③ 天鏡閣（猪苗代町）

④ 檜枝岐歌舞伎（檜枝岐村）

⑤ 七日堂はだか参り（柳津町）

（「うつくしま電子事典」より）

（1）福島県に古くから残るもの

はなさんたちは，県内に古くから残るものについて「うつくしま電子事典」を見て気づいたことを話し合いました。

「県内には，こんなにたくさん古くから残るものがあるんだね。」

「福島県を三つに分けると，浜通りでは芸のうがさかんで，中通りでは大きなお祭りが有名で，会津地方では古い建物や伝統がたくさん残されているね。」

うつくしま電子事典

はなさんたちが調べることにした古くから残るもの

（1）旧福島県尋常中学校（郡山市）

（2）じゃんがら念仏踊り（いわき市）

（3）信夫三山暁まいり（福島市）

「福島市の信夫三山暁まいりは，約400年前から続いている祭りだそうだよ。」

「そんなにも長い間，どのようにして受けつがれてきたのかな。」

「古くからのものを残そうと，地いきの人たちが協力しているのではないかな。」

はなさんたちは，(1)～(3)についてグループごとに一つ選んで調べることにしました。

学習問題

県内に残る古いものは，どのようにして受けつがれてきたのでしょうか。

【調べること】

- ○ 古くから残るものの始まりやこれまでのできごと。
- ○ だれがどのように受けついできたのか。
- ○ 人々の願い。

【調べ方】

- ○ 図書室やインターネットを使って調べる。
- ○ 役場や歴史資料館で働く人にインタビューをする。
- ○ 手紙やメールで聞く。
- ○ 見学に行く。

【まとめ方】

- ○ 調べたことをくらべながら学習問題についての考えをまとめる。

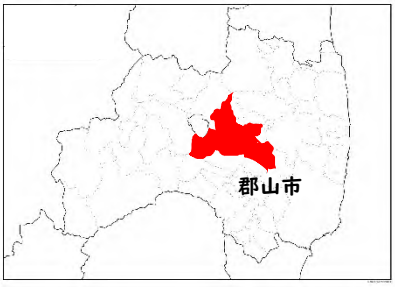
① 古くから残る建物

① 安積歴史博物館

② 明治時代の校舎

調べる

旧福島県尋常中学校は，どのようにして残されてきたのでしょうか。



③ 復元された階段

郡山市にある旧福島県尋常中学校

はなさんたちのグループは，インターネットで，旧福島県尋常中学校（現在の安積歴史博物館）について調べました。ホームページの写真を見て考えたことをもとに，博物館で働く人にメールで質問することにしました。

「明治時代から，建物の様子はあまり変わっていないように見えるね。」

「本当に立派だよね。映画や演劇のぶたいとして使われることもあるそうだよ。」

「だれが，どうしてこんなに立派な建物を建てたのかな。」

「こんなに長い間，建物が残されているということは，だれかの支えがあったのかな。」

④　地震でひがいをうけた建物

⑤　高校生の演劇公演

博物館長の橋本さんからのメール

この建物は，1889（明治 22）年に当時の中学校の校舎として完成しました。1948（昭和23）年～1973（昭和 48）年までは県立安積高等学校の校舎として使用されました。

その後，国の重要文化財に指定され，1984（昭和 59）年からは「安積歴史博物館」として公開しています。

古い木造の建物なので，年月とともに進んでいく劣化や自然災害（特に地震）からの補修をしながら，建物を守っています。東日本大震災の時，くずれ落ちた土かべの修復には現在のぎじゅつを使って回復しました。

文化財にはふれたり，近くで見たりできないものもありますが，この建物は直接見学できます。この建物を通して過去のことを学び，今のわたしたちの参考になるものを感じていただき，それを未来に役立てることができる，そんな場所にしていきたいです。

はなさんたちは，調べたことやメールから分かったことを整理して，クラスの友だちに伝えるじゅんびをすることにしました。

年	主なできごと
１８８４（明治17）	福島中学校として開校。
１８８６（明治 19）	福島尋常中学校と校名改称。
１８８７（明治 20）	福島県尋常中学校と校名改称。
１８８９（明治 22）	安積郡桑野町（現在地）に移転。
１９０１（明治 34）	県立安積中学校となる。
１９４８（昭和23）	新学制により県立安積高等学校となる。
１９７７（昭和 52）	文部省から国の重要文化財に指定される。
１９８４（昭和 59）	安積歴史博物館として公開される。

⑥　旧福島県尋常中学校に関する年表

文化財

我が国の長いれきしの中で生まれ，先祖によって今まで守り伝えられてきた古い建物や美術品，ぎじゅつ，ならわしなどのこと。その中には国，県，市などがほぞんしていくことを決めたものもあります。

② 古くから伝わる芸のう

① じゃんがら念仏踊りの様子（いわき市提供）

② 子どもじゃんがらの練習風景（いわき市提供）

調べる

じゃんがら念仏踊りは，どのようにして受けつがれてきたのでしょうか。

年中行事

毎年，決まった時期に行われる行事のこと。

１月	正月
２月	ももの節句
３月	ひな祭り
５月	たんごの節句
７月	七夕
８月	お盆
９月	お月見
１１月	七五三
１２月	おおみそか

いわき市のじゃんがら念仏踊り

かんたさんたちのグループは，いわき市の「じゃんがら念仏踊り」についてのパンフレットを読んで考えたことをもとに，踊り手の人にインタビューすることにしました。

「約 360 年以上も前から伝わるいわき市の伝統的な年中行事なんだね。」

「じゃんがら念仏踊りは，太鼓などの楽器を持ちながらおどるみたいだね。」

「1992 年に，いわき市の無形民俗文化財に指定されたみたいだよ。子どもたちもじゃんがらをおどっているね。」

「どのようにしておどりを受けついできたのかインタビューしてみよう。」

～ じゃんがら念仏踊りしょうかい ～

じゃんがら念仏踊りは，その年に亡くなった人をとむらうために行われる伝統行事の一つです。いわき市に伝えられたのは，江戸時代の初めごろといわれています。

いわき市内には 90 以上のじゃんがら念仏踊りの団体があり，お盆の時期を中心に，地区ごとに家々をまわります。

1992 年には，市の無形民俗文化財に指定されました。最近は，わかい踊り手が少なくなり，じゃんがら念仏踊りを受けつぐ人がへってきています。それぞれの団体では，地いきを大切にし，地いきの行事に進んで参加することで，伝統を受けつぐことができるようにしています。

使われる楽器（左:かね　右:太鼓）

③　じゃんがら念仏踊りのパンフレット

踊り手の高木さんの話

その年に亡くなった方がいらっしゃるご家庭から踊りをたのまれて，お盆の時期にうかがっています。そのため，ご家族をなぐさめるという意味でも，じゃんがら念仏踊りは大切な行事です。わたしたちは，自分たちがじゃんがら念仏踊りの長いれきしと伝統を受けついでいるというほこりをもって取り組んでいます。そして，念仏踊りをお願いされた全てのご家庭に，まごころをもって対応することを心がけています。

念仏踊りを踊った後，ご家族の方に感謝していただいた時に，特にやりがいを感じます。中には，なみだを流しながら深々とお礼をされる方もいらっしゃいます。

年	主なできごと
江戸時代（約 360 年前）	じゃんがら念仏踊りが始まったとされる。
１８７４（明治7）	踊りの禁止令が出される。
１８９６（明治 29）	禁止令が解かれ，踊りができるようになる。
１９９２（平成4）	いわき市の無形民俗文化財に選ばれる。

④　じゃんがら念仏踊りに関する年表

無形民俗文化財

それぞれの地いきで，長い間，伝えられてきた祭りやさまざまな行事のこと。

かんたさんたちは，調べたことやインタビューから分かったことを整理して，クラスの友だちに伝えるじゅんびをすることにしました。

③ 昔から続く祭り

まちに伝わる祭り

祭り調べをしたさくらさんたちのグループは，次に福島県立博物館に行くことにしました。学芸員の方に祭りや年中行事について聞いてみようと思ったからです。

つかむ

福島市には，どのような祭りが伝わっているのか調べ，学習問題をつくりましょう。

【見る・調べる】
博物館での調べ方

- ○　館内にある案内で調べたいことがてんじされているところをさがす。
- ○　てんじされているところを見て，必要なことはメモを取る。
- ○　わからないことやぎもんに思うことがあれば，博物館で働く方に質問する。

学芸員の大里さんの話

38 ページの写真は，福島県内で行われている祭りです。毎年，決まった時期に行われる行事を年中行事といいます。福島市で行われる年中行事の中では，信夫三山 暁 まいりが有名です。

いかなる困難をも乗り切ろうという，地いきの幸せをいのるための祭りであるとともに，地いきの人々の手によって，何百年もの間受けつがれ，続いてきたという説もあります。

「信夫三山暁まいりについて，くわしく教えてもらえたね。どんなことがわかったか，みんなでかくにんしてみようよ。」

さくらさんたちは，「信夫三山暁まいり」について，学芸員の方から教わったことを，メモを見ながらみんなでまとめてみました。

・　信夫三山暁まいりは大昔から続く祭りで，毎年（まいとし），旧正月（きゅうしょうがつ）にあたる２月上旬（じょうじゅん）に行われる。

・　日本一といわれる大わらじを信夫山の頂上（ちょうじょう）にある羽黒（はぐろ）神社（じんじゃ）に奉納（ほうのう）する。

・　日本一といわれる大わらじを奉納するというところから，福島県を代表する祭りの一つとして知られている。

「祭りを行う人々がかわっても，大昔から今まで，祭りが続いてきたのはどうしてだろう。」

「長い間残（のこ）っている祭りなのだから，地いきの人たちが大切にしてきた理由がきっとあるはずだよ。」

学習問題

信夫三山暁まいりは，どのようにして受けつがれてきたのでしょうか。

「日本一の大わらじを神社に奉納するのには，どんな願（ねが）いがこめられているのかな。」

「これまでの長い間，祭りが続いてきたのは地いきの人たちが工夫をしたり，広める取り組みをしたりしてきたからではないかな。」

さくらさんたちは，学習問題について予想し，学習計画を立てました。

祭り

地いきには，その地いきの人々（ひとびと）が昔から受けついだ祭りがあります。祭りには，人々のさまざまな願（ねが）いがこめられていて，祭りを通して人々の絆（きずな），結（むす）びつきも強くなります。

信夫三山暁（しのぶさんざんあかつき）まいり

毎年，旧正月にあたる２月 10 日から 11 日に，福島市中心部にある信夫山で行われる神事（しんじ）のこと。約 400 年近くのれきしがあるとされています。

調べる

御山地区の人々は，どのようにして，信夫三山 暁 まいりを守っているのでしょうか。

御山作業場で調べよう

さくらさんたちは，御山作業場へ行って信夫三山 暁 まいりについて調べることにしました。作業場には，大わらじを作る材料や道具がたくさんありました。そこで，祭りの中心として活動している御山敬神会の方に，信夫三山暁まいりのれきしについて話を聞きました。

御山敬神会の西坂さんの話

みんなで少しずつわらじを編んでいきます。寒い季節に手作業で行うのでとてもたいへんです。

市民のみなさんの思いや願いを考えながら，活動を進めるようにしています。福島市で古くから行われていた大わらじ運びが県内中に知られるようになり，より多くの人々が参加できるようにするため，地元の人たちと信夫三山奉賛会が力を合わせてもり上げてきました。

また，福島わらじまつりでも大わらじをつくるようになりました。信夫三山暁まいりのみりょくは，さらに広がり，他の地いきの人々との交流もふえてきています。

御山敬神会

御山地区の人たちが中心となり活動する組織のこと。毎年，特設の作業場で大わらじをつくり，羽黒神社に奉納しています。

信夫三山奉賛会

福島市役所の商工業振興課内にある組織のこと。信夫三山 暁 まいりをＰＲしたり，おまいりする人の安全対さくなどを支えんしたりしています。

「大わらじをつくるのは，たいへんそうだね。御山地区に住む人たちは，信夫三山暁まいりにどんな願いをこめているのかな。」

① 作業場でつくられる大わらじ

年	主なできごと
約４００年前	羽黒神社に安置されていた仁王様の足の大きさに合わせたわらじを奉納する。
１８４０ごろ（天保11）	信夫山羽黒の社で，にぎわいが見られる。
１９２０ごろ（大正9）	福島市大笹生地区の大わらじが奉納される。
１９３０ごろ（昭和5）	ロンドンの週刊誌で世界の変わった祭りとしてしょうかいされる。
	鳥川地区，佐倉地区の大わらじが奉納される。
１９４０ごろ（昭和 15）	太平洋戦争中の物不足などにより，一時中だんされる。
２０２４（令和6）	感染症を防ぐために中断していた大わらじの奉納が，再開される。

② 信夫三山暁まいりに関する年表

（「福島市の文化財」より作成）

「信夫三山暁まいりは，２月のとても寒い時期に行われる年中行事みたいだよ。」

「長さが 12 メートルもある大わらじを手作業でつくるのは，とてもたいへんだろうね。」

「何人でつくっているのかな。この祭りは，人々の健康や家の安全を願って始まったらしいよ。」

「400 年も続いているなんてすごいよ。祭りが中だんすることがあっても，続いてきたのは地いきの人たちの強い思いがあったからだね。」

「祭りをわかい人や他の地いきの人にも伝えていこうと努力しているところもすごいよね。」

さくらさんたちは，信夫三山暁まいりを続けるために努力している人に，話を聞くことにしました。

長さ	約１２ｍ
はば	約１．４ｍ
重さ	約２トン（約 2,000 kg）

③ 大わらじの大きさ

① 大わらじの奉納(ほうのう)ルート（2020 年）

調べる

参加(さんか)している人々(ひとびと)は，古くから伝わる祭りをどのようにして受けついでいるのでしょうか。

参加(さんか)している人に話を聞こう

さくらさんたちは，実際(じっさい)に大わらじを運ぶ人たちに，信夫三山 暁 まいり(しのぶさんざんあかつき)について話を聞きました。

日本一の大わらじを担(かつ)ぐ会の小池(こいけ)さんの話

わらじを運ぶ時は，みんなの気持ちを一つにします。長さと重さがあるぶん，呼吸(こきゅう)を合わせるのがむずかしいです。

大きなわらじをみんなで力を合わせて，山の上まで運ぶのがこの奉納(ほうのう)のみりょくの一つです。この重みは，長く続(つづ)いてきた伝統(でんとう)の重みとも言えます。「伝統をつなごう」，「次の世代に引きつごう」を合い言葉に，45 年以上(いじょう)続けています。続けることの大切さやむずかしさを感じています。

② 山の上まで大わらじを運ぶ様子

「大わらじは，とても重くて約 12 メートルもの長さがあるから，まがり角や山道を運ぶのはたいへんだと思うよ。」

「大わらじを運ぶのには，約 100 人のかつぎ手が必要になると聞いたよ。」

「たくさんの人が力を合わせ，気持ちを一つにして運ぶのだから，ゴールの羽黒神社に着いたときにはみんなで感動すると思うな。」

「市のホームページでは，大わらじを担ぐ人を募集する案内が出ていたよ。ほかの地いきからも担ぐ人が参加するのかな。」

③ かつぎ手を募集する案内

④ 信夫三山 暁 まいりのポスター

さくらさんたちは，信夫三山暁まいりの伝統を守るために，どのような取り組みをしているのか，さらに調べることにしました。

① 福男福女競走

② 福島わらじまつりの大わらじ

（画像提供　福島わらじまつり実行委員会）

調べる

信夫三山 暁 まいりの伝統を守るために，どのような取り組みをしているのでしょうか。

福男福女競走

福島市の信夫山のふもとから羽黒神社まで約 1.3 ㎞をかけあがります。

信夫三山暁まいりに合わせて開催され，県内外から多くの人たちが参加します。

③ 福島わらじまつりのポスター

信夫三山 暁 まいりを発展させるために

さくらさんたちは調べていくうちに，信夫三山暁まいりをもり上げるために，さまざまな取り組みが行われていることに気づきました。

「信夫三山暁まいりに合わせて，福男福女競走というものも行われているみたいだよ。」

「８月に行われている福島わらじまつりでも，大わらじが登場するみたいだよ。」

「大わらじは一つではなく，二つあるのかな。さまざまな工夫をして，信夫三山暁まいりの伝統を守る取り組みをしているんだね。」

さくらさんたちは，福島わらじまつりでも，大わらじが出てくることを知り，福島わらじまつり実行委員会の方に話を聞くことにしました。

④ 福島わらじまつりでおどる子どもたち

⑤ わらじ音頭をおどる様子

（画像提供　福島わらじまつり実行委員会）

福島わらじまつり実行委員会の小河さんの話

1970（昭和45）年に，初めて福島わらじまつりが行われました。毎年８月はじめに行われ，大わらじをかついで国道 13 号信夫通りをパレードします。信夫三山暁まいりの大わらじと合わせて，一足分になるのですよ。

二つはちがう祭りですが，どちらもさまざまな年れいの方や多くの地いきの人たちが参加したり，見に来たりしてくれる福島を代表する祭りです。

東日本大震災後は，震災からの復興をいのる「東北絆まつり」にも参加しています。たくさんの人たちに祭りを知ってもらい，世の中を元気にもりあげていくために，動画配信をしたり，イベントを企画したりしています。みんなで力を合わせて，二つの祭りを未来の福島に残していきましょう。

⑥ 福島わらじまつりで登場する大わらじ

（画像提供 福島わらじまつり実行委員会）

東北絆まつり

東日本大震災でぎせいとなられた方の鎮魂と，被災からの復興を願う「東北六魂祭」の後継イベントとして 2017 年に始まった祭りのこと。

東北の県都６市の６祭りが結集し，さらなる復興を目指して，６市持ち回りで開催されています。

くらべること	旧福島県尋常中学校
いつから始まったのか	1884(明治14)年開校
はじまりやこれまでにおきた主なできごと	・福島市に開校した「福島中学校」が安積郡桑野村に移転。のちに「福島県立安積高等学校」となる。 ・旧本館の建物が，国の重要文化財に指定された。
だれが，どのように受けついできたか	・学校の卒業生や地いき住民だけでなく，観光客も大切にしてきた。 ・国や県の支えんもあった。
人々の願い	・これからも地いきの人々と協力して，きちょうな文化財を守っていきたい。 ・演劇の表現の場としても残していきたい。

まとめる

福島県内で古くから受けつがれてきたものについて，調べたことを表に整理して，くらべてみましょう。

学習問題

県内に残る古いものは，どのようにして受けつがれてきたのでしょうか。

学習問題をもう一度かくにんしよう！

古くから受けつがれてきたもの

はなさんたちは，福島県内の文化財や芸のう，祭りについて調べたことをクラスで伝え合うことにしました。

「旧福島県尋常中学校は，学校の卒業生や地いき住民，観光客，県などの協力によって守られてきたみたいだよ。」

「じゃんがら念仏踊りは，その年に亡くなった人をとむらい，家族をなぐさめるために踊られるそうだよ。地いきに住む小学生も踊りの練習をしていたよ。」

「信夫三山 暁まいりは，地いきの発展とともに変化して，東北地方を代表する祭りの一つになったみたいだよ。」

じゃんがら念仏踊り		信夫三山 暁 まいり	
360年以上前(江戸時代)		400 年以上前(江戸時代)	
・ 茨城県で生まれた念仏踊りに，いわきの民ようを取り入れて変化した。 ・ いわき市の無形民俗文化財に指定された。		・ 羽黒神社に安置されていた仁王様の足の大きさにあった大わらじをつくって奉納したことが由来。 ・ 1970(昭和45)年に「福島わらじまつり」が始まる。	
・ 市内にある90以上の団体で，地区ごとに家々を回って行われている。 ・ 子どもじゃんがらで，踊りを教えている。		・ 御山敬神会や地いきの人たちが中心となって，毎年大わらじをつくっている。 ・ 東北を代表する祭りとして全国にＰＲしている。	
・ その年に亡くなった人をとむらい，家族をなぐさめたい。 ・ 長いれきしと伝統を受けついでいるというほこりをもって取り組んでいきたい。		・ ゆたかな実りと地いきの人々の健康を願って，これからもずっと続けていきたい。 ・ もっと多くの人に祭りを知ってほしい。	

① はなさんたちがクラスでまとめた表

はなさんたちは，グループごとに調べたことの共通点やちがいを一つの表に整理してから，学習問題について話し合うことにしました。

「古くから残る建物も，芸のうも，祭りも長い間，人々に大切にされてきたんだね。」

「古くから残るものには，地いきに住む人々の幸せやほこり，家族への愛といった思いや願いがこめられているんだね。」

「たくさんの人に文化財や芸のう，祭りを知ってもらおうと努力したり，子どもたちに受けつぐための工夫をしたりしているね。」

「古いものを受けつぎ，守っていくために，わたしたちにもできることがあるかな。」

【表に整理する】

共通点やちがいを一つの表に整理して，学習問題について話し合ってみよう。

① くらべるこうもくを表に書く。

② 調べたことについて，それぞれくらべるこうもくごとに表に書き入れる。

③ 表をくらべてみて，調べたことの共通点やちがいを読み取る。

④ 読み取ったことをもとに，学習問題について話し合う。

① 子どもわらじパレードの様子

② 子どもわらじの準備をする小学生

広げる

地いきに古くから残るものを受けついでいくために，自分たちにできることを考えてみましょう。

【学び方コーナー】

インタビューをしよう

くわしい人から次のことを聞いて，自分たちにできることを考えよう。

- **課題になっていること**
- **やりがい**
- **新しい人に伝える工夫**

身近な地いきを見直そう

さくらさんたちは，地いきに古くから残るものを受けついでいくために，自分たちに何ができるかを考えることにしました。

「県内の古くから残るものは，どれも多くの人たちが関わって受けつがれていたよね。」

「福島市の小学校では，昔から子どもわらじとして取り組まれてきたそうだよ。伝統を地いきでつないでいくことがとても大切だね。」

地いきで保存に取り組む赤間さんの話

信夫三山 暁 まいりのれきしを次の世代に残そうと思い，本をまとめました。

地いきの伝統を残そうとみんなで話し合い，現在の形になっていますが，運営する人たちの高齢化が進んでいます。

わかい人たちにも，信夫三山暁まいりのみりょくを知ってもらい，たくさんの人に参加してもらいたいです。

③ 赤間さんがまとめた本

④ 安積歴史博物館の小中学生向けイベント

⑤ 子どもじゃんがらの発表の様子

さくらさんたちは，地いきに古くから残るものを受けつぐ取り組みに，より多くの子どもたちが参加するためにはどうしたらよいか，話し合いました。

「信夫三山暁まいりに参加したことがある友だちは，とても楽しかったと言っていたよ。大きくなったら，わたしも大わらじをかついでみたいな。」

「古くから残る建物で行われるイベントや地いきの伝統芸のうに参加してみて感じたことや，やりがいなどをまわりの人に伝えてくことが大切だよね。」

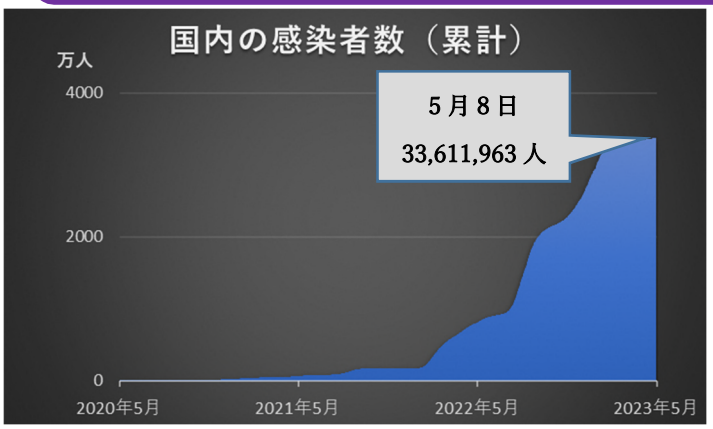
「福島わらじまつりの公式チャンネルでは，わらじのあみ方が動画で配信されていたよ。小さなわらじをつくってみて，大わらじをつくるたいへんさを想像してみるのはどうかな。」

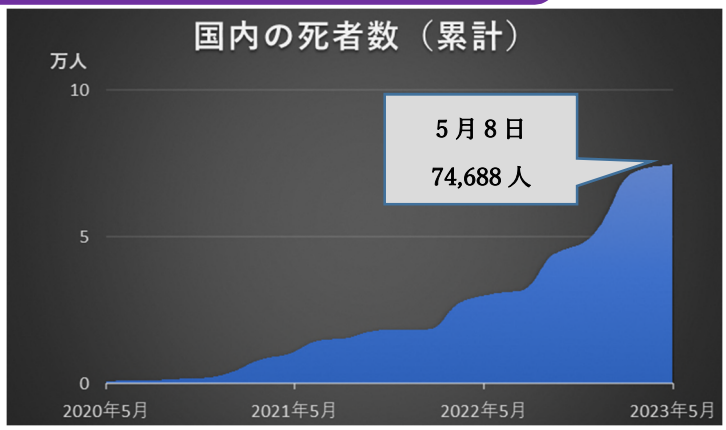
「パンフレットをつくって古くから残るもののよさを学校のみんなにしょうかいしたり，ポスターをつくって地いきでせんでんしたりするのはどうかな。」

福島県公式チャンネル　じゃんがら念仏踊り（現小名浜海星高校）

【公式】福島わらじまつりチャンネル

（2） 医りょうにつくす　～ 野口 英世 ～

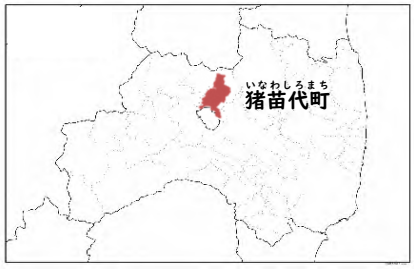




① **新型コロナウイルスの感染者数と死者数の合計**（「厚生労働省ＨＰ」より作成）

つかむ

野口英世とは，どのような人なのでしょうか。



新型コロナウイルス

2019年に発生した新しい感染症。感染力が強く，世界中に広がりました。

② **野口英世**

感染症の流行

ひまりさんたちは，新型コロナウイルス感染症の世界的流行について話し合いました。

「新型コロナウイルス感染症は日本中に広がり，多くの人がなくなったそうよ。」

「わたしも感染しないようにマスクをつけて，手洗いや消毒をこまめにしたよ。」

「わたしたちの生活にもいろいろな制限があってたいへんだったよね。」

「昔も同じような感染症が流行したそうだけれど，福島県にはその研究をした有名な人がいたよね。」

「野口英世ね。お札にもえがかれ，世界的にも有名だけど，どのようなことをした人なのかくわしく知らないかも。」

③　野口英世に関する本

④　野口英世記念館

ひまりさんたちは，野口英世について調べたいことを話し合い，学習の計画を立てることにしました。

「学校の図書館には，野口英世に関する本がたくさん置いてあるよ。」

「猪苗代町の野口英世記念館には，英世の生家もあるそうだよ。」

「野口英世に，くわしい人にインタビューをするのもいいよね。」

「まずは，医りょうが発達していなかったこのころの様子が知りたいな。」

ひまりさんたちは，話し合ったことをもとに，学習問題をつくりました。

【調べること】

- 当時の世の中にはどのような課題があり，人々はどのような願いをもっていたのだろう。
- 英世は，どうして医学者をめざしたのだろう。
- 英世は，どのようなことをしたのだろう。

【調べ方】

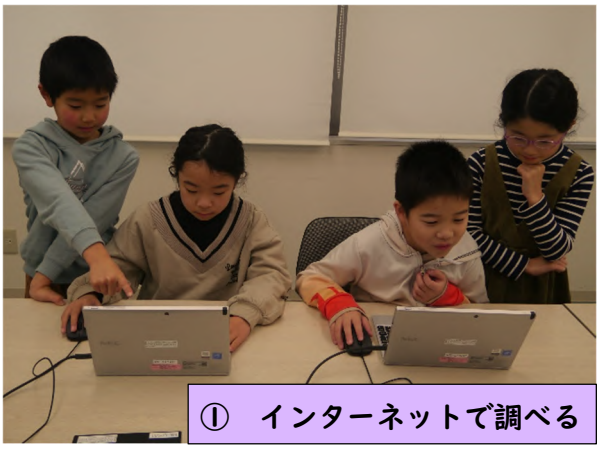
- インターネットや図書館の本を使って調べる。
- 野口英世記念館を見学して調べる。
- 野口英世にくわしい人に話を聞く。

【まとめ方】

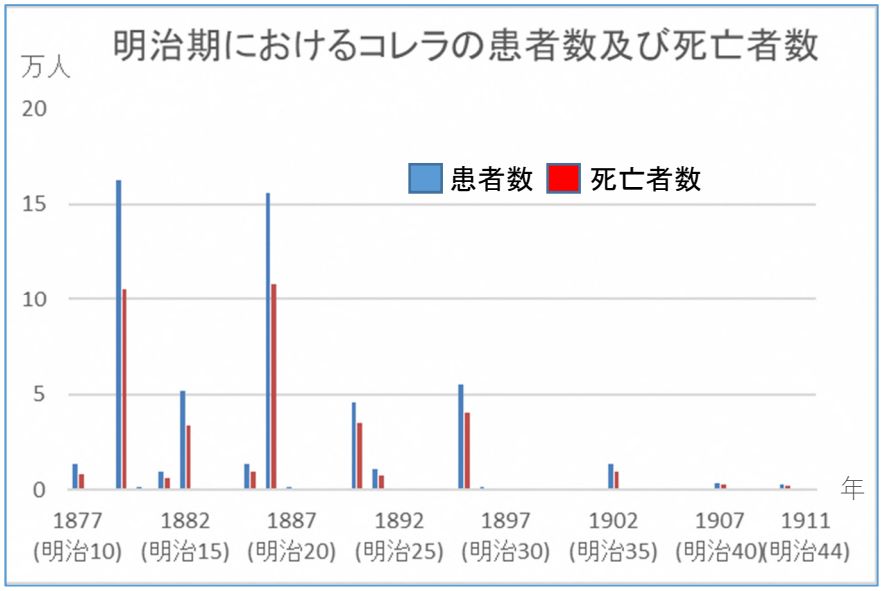
- 野口英世にわたす感謝状をつくる。

学習問題

野口英世は，医学の発展にどのような貢献をしたのでしょうか。



① インターネットで調べる



② 明治期のコレラの患者数と死亡者数（「厚生労働省ＨＰ」より作成）

調べる

昔の人々は，どのような願いをもっていたのでしょうか。

コレラ

コレラ菌による感染症のこと。感染すると，強いげりとはきけにおそわれます。のちに脱水症状となり，亡くなる人も多かったといわれています。

昔の人々の願い　～インターネットで調べよう～

ひまりさんたちは，最初に，野口英世が生まれたころのようすを，インターネットを使って調べることにしました。

江戸時代のおわりから，明治時代にかけて，コレラという病気が大流行しました。外国船の乗組員からもちこまれたといわれるこの病気は，「三日ころり」とも言われ，感染してしまうと短時間で命を落としてしまうこともあるこわい病気でした。医りょうが発達していなかったこの時代には，予防法はもちろん，治りょう法も分からず，多くの人が不安におびえて生活していました。

「おそろしい病気を解決してもらい，安心して生活がしたい。」

これが，この当時の人々の願いでした。

③「虎列剌退治」（「内藤記念くすり博物館ＨＰ」より）

コレラにかかると，もがき苦しみながら死んでいくことから，虎の怪物がイメージされていました。

④「流行虎列剌病予防の心得」（「内藤記念くすり博物館ＨＰ」より）

「部屋はよくかんそうさせて空気は入れかえ，体や服は清潔にし，井戸水などを飲んではいけない」など，細かい注意が書かれています。

ひまりさんたちは，調べた資料を見ながら，話し合いました。

「新型コロナウイルスが流行したときのようなことが昔もあったのね。」

「感染した人たちの半分以上がなくなっているなんて，本当にこわい病気だね。」

「原因も分からない病気がはやるのは，やっぱりみんな不安だったと思うよ。」

「このような時代の中，野口英世はどのような研究をしていたのかな。もっとくわしく調べてみたいな。」

⑤　アマビエ

（「京都大学附属図書館」所蔵）

日本の疫病封じの妖怪。江戸時代後期にえがかれましたが，新型コロナウイルス流行の時にも，さまざまな場面で使われました。

① 図書館の本で調べる

② 世界中にある野口英世ゆかりの地

調べる

野口英世は，なぜ医者を目指し，どのようなことをしたのでしょうか。

世界的な医学者 野口英世 ～図書館で調べよう～

ひまりさんたちは，学校の図書館で，野口英世について書かれた本をさがしました。

そして，本で調べたことを年表にまとめていきました。

「小さいころ，いろりに落ちて，左手にやけどをしてしまったんだね。」

「16歳になるころ，左手の手術をうけ，医学の道をこころざしたそうだよ。」

「世界中をめぐり，いろいろな病原体の研究をしたんだね。」

「51歳のときに，アフリカで研究していた黄熱病にかかってしまい，なくなってしまったんだね。」

病原体

生物に寄生して病気をおこす細菌やウイルスのこと。病原体によっておこる病気のことを感染症といいます。

黄熱病

黄熱病は，蚊にさされることで感染するウイルス性感染症のことです。発熱，頭痛の症状があり，悪化すると死亡する場合もあります。

年	できごと
1876	11月9日福島県三ツ和村に生まれる。清作と名付けられる。
1878	いろりに落ち，左手に大やけどをおう。
1892	左手の手術をする。医師になりたいという思いをいだく。
1897	医術開業試験に合格し，高山歯科医学院で講師になる。
1898	北里柴三郎博士の伝染病研究所に入り，助手になる。 小林栄先生に「英世」という名前をつけてもらう。
1899	横浜の検疫所で感染症の検査をする仕事につく。 ペスト患者を発見する。
1900	アメリカに渡る。
1901	アメリカでヘビ毒の研究を始める。
1903	デンマークに留学する。
1904	ロックフェラー医学研究所に入所する。
1918	南アメリカで黄熱病を研究する。
1927	アフリカに渡り，黄熱病の研究をする。
1928	黄熱病にかかり，亡くなる。

③　野口英世に関する年表

ひまりさんたちは，自分たちでまとめた年表をもとに，気づいたことを話し合いました。

「医学者になるために，想像もつかないような努力をしていたと思うよ。」

「ものすごく小さい病原体をどのように研究していたんだろうね。」

「世界中をわたって，これだけの研究を進めるには，たいへんな苦労があったと思うな。」

ひまりさんたちは，野口英世について，さらに調べたいことをノートに整理することにしました。

【年表にまとめよう】
次の二つに気をつけて，まとめることが大切だよ。
①　できごとを年代順にならべる。
②　テーマに合うものや重要なできごとにしぼって整理する。

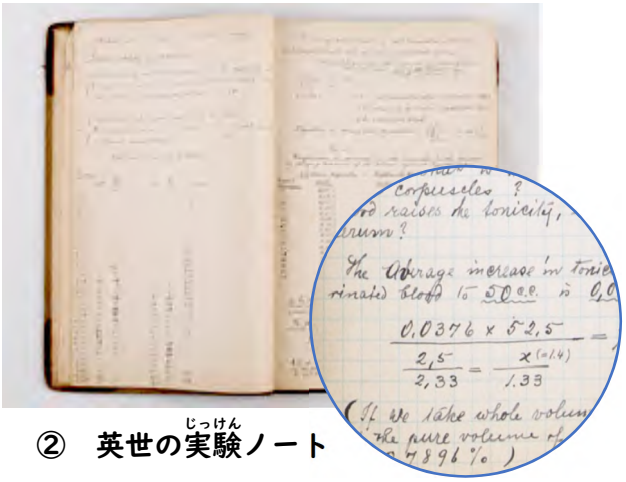
④　野口英世の墓
ニューヨークにある野口英世の墓。磐梯山の形をしています。

ひまりさんのノート

【さらに調べたいこと】

- 英世は，どのように研究をしていたのか。
- 英世は，どのような思いをいだき，どのような苦労をかかえながら研究を進めたのか。

① 学芸員の方の説明を聞く



② 英世の実験ノート

実験結果が細かく記録されています。実験一つ一つに，ていねいに取り組んでいた様子がわかります。

調べる

野口英世は，どのように研究をしていたのでしょうか。

どのように研究をしていた？ ～記念館で調べよう～

ひまりさんたちは，調べることをたしかめ，野口英世記念館に行きました。

「病原体の発見が，たくさんの人の命を救うことにつながったんだね。」

「世界中をかけめぐる英世は，８か国の外国語を話していたそうだよ。英語で書かれた本も展示してあったよ。」

「英世の努力がみとめられ，３度もノーベル賞のこうほにあがったなんて，すごいよね。」

「さまざまな病原体をけんびきょうで観察していたんだね。英世が使ったけんびきょうには，カメラがついているよ。」

③ 当時のけんびきょう

けんびきょうの上にのっているのはカメラです。英世は，このけんびきょうで病原体の写真をとっていました。

④　野口英世記念館展示室の様子

⑤　英世の書いた本

アメリカで最初に研究した毒ヘビの毒について書かれた英語の本です。

英世は，どのような思いをいだき，どのような苦労をかかえながら，研究を進めていたのか，学芸員の方に話を聞きました。

⑥　世界各国からおくられたメダル

学芸員の森田さんの話

左手のやけどの手術から英世の人生は変わりました。人生を変えてくれた医学のすばらしさ，そしてその手術を実現させてくれた多くの方々の支えに対する感謝の気持ちが医学の道を目指すきっかけとなりました。英世は，病原体の研究のために世界各国を回りました。当時の光学けんびきょうは，ピント合わせや光の確保に手間と時間がかかりましたが，根気強く研究を続けることにより，数々の研究成果をあげました。どんな困難にも立ち向かう英世の生き方は，今でも多くの方の目標やはげみになっています。

野口英世記念館

① インタビューをする小学生

② 猪苗代の偉人を紹介する展覧会の様子

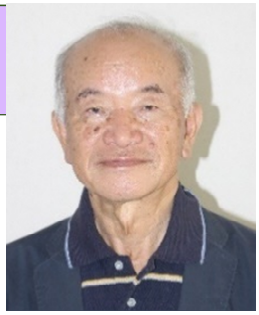
調べる

英世の功せきは，どのように伝えられてきたのでしょうか。

未来に伝えよう，野口英世の功せき

ひまりさんたちは，野口英世の功せきを多くの人に伝えるために活動している人がいることを知り，インタビューをすることにしました。

猪苗代の偉人を考える会の小檜山さんの話



英世は，病気が流行すると現地に行って，その病気の原因を全力で調べました。そして，ワクチンを開発し，多くの人の命を救い，世界の人々に大きな希望をあたえました。

また，英世の故郷，猪苗代町でも学校で講演を行ったり，村の人の診察を行ったりと，進んで地元に貢献するすがたも，尊敬すべきところです。

わたしたちの活動の目的は，こうした野口博士の功せきや生がいを多くの人につなげていくことです。そのために，パネル展を開いたり，講演会を行ったりしています。

功せき

ある人がなしとげたすぐれた働きや成果のこと。

猪苗代の偉人を考える会

猪苗代町に関係する偉人を通して，町のれきしを学び，町の活性化に向けて活動している団体のこと。

③　市民による保存活動により，改修された野口英世細菌検査室（神奈川県横浜市）

小檜山さんのしょうかいで，神奈川県横浜市にも同じように野口英世の功せきを伝える活動をしている人がいることを知り，メールでしつ問をしました。

④　親子向けの体験教室の様子

よこはま顕彰会の中村さんからのメール

横浜市には，英世ゆかりの研究し設「細菌検査室」が残されています。1899（明治32）年に，外国船の船員に感染症の検査をする仕事につき，入港した船からペスト患者を発見しました。ペスト菌の上陸をふせいだ英世は，これをきっかけに世界で活躍するようになります。

わたしたちは，この「細菌検査室」を未来に伝えるために署名活動を行ったり，英世の功せきを知ってもらうために手作りけんびきょうを使って親子体験活動を開いたりしています。また，本を発行して多くの人に伝える工夫もしています。

よこはま顕彰会

野口英世博士の功せきをたたえ，横浜市に残された細菌検査室などの保存や活用を目的として立ち上げられた団体。

ペスト

ペスト菌による感染症で，ヨーロッパで流行がくり返されました。感染すると高熱を出し，治りょうしないと，死んでしまうこともあります。

⑤　毎年発行される会報誌

まとめる

野口英世にわたす感謝状をつくり，表彰式を行いましょう。

学習問題

野口英世は，医学の発展にどのような貢献をしたのでしょうか。

学習問題をもう一度かくにんしよう！

表彰式をしよう

ひまりさんたちは，野口英世について調べたことや学んだことをふり返り，学習問題についてみんなで話し合いました。

「やけどをして，左手が不自由になっても，自分の夢をかなえるために，いっしょうけんめい努力したところがすごいな。」

「ドイツ語で書かれた医学書を，辞書を引きながら自分で勉強するすがたは，本当にすばらしいと思うよ。」

「世界中の人の命を救うために，自分の命をかけて，がんばった野口英世博士に感謝状をおくりましょう。」

そして，ひまりさんのクラスでは，話し合ったことをもとに，二人一組になって，感謝状をわたすことにしました。

【 感謝状をつくろう 】

（1）二人一組でグループをつくる。
（2）すべての感謝状に共通した言葉を画用紙に書きこむ。（67 ページの例を参照）
（3）グループごとに学習問題をふり返り，調べてきた内容を空らんに書き入れる。
（4）感謝状を読み上げる人と受け取る人を決め，表彰式を行う。
（5）ほかのグループの表彰式を見て，気づいたことを発表し合う。

感謝状の例

感　謝　状

野口英世さま

あなたは

という当時の人々の願いにこたえ

などさまざまな苦労や努力により

当時の医りょうの発展に貢献しました

よってここに感謝状をおくります

年　　月　　日

4年　　組　名前

「野口英世をはじめ，多くの医学者のはたらきがあって，わたしたちの生活がよりよいものになったんだね。」

「野口英世がなくなって 100 年近くたった今でも，その偉大さを語りついでいこうとする人がいることはうれしいことだね。」

4 特色ある地いきと人々のくらし

① だるま市の様子（白河市）

② 大堀相馬焼の工程（浪江町）

③ うねめまつりの様子（郡山市）

④ カウアイでの野球の交流（いわき市）

福島県内の特色ある地いき

はなさんたちは，県内各地の写真と地図などの資料を持ちより，地いきの特色や人々のくらしについて話し合いました。

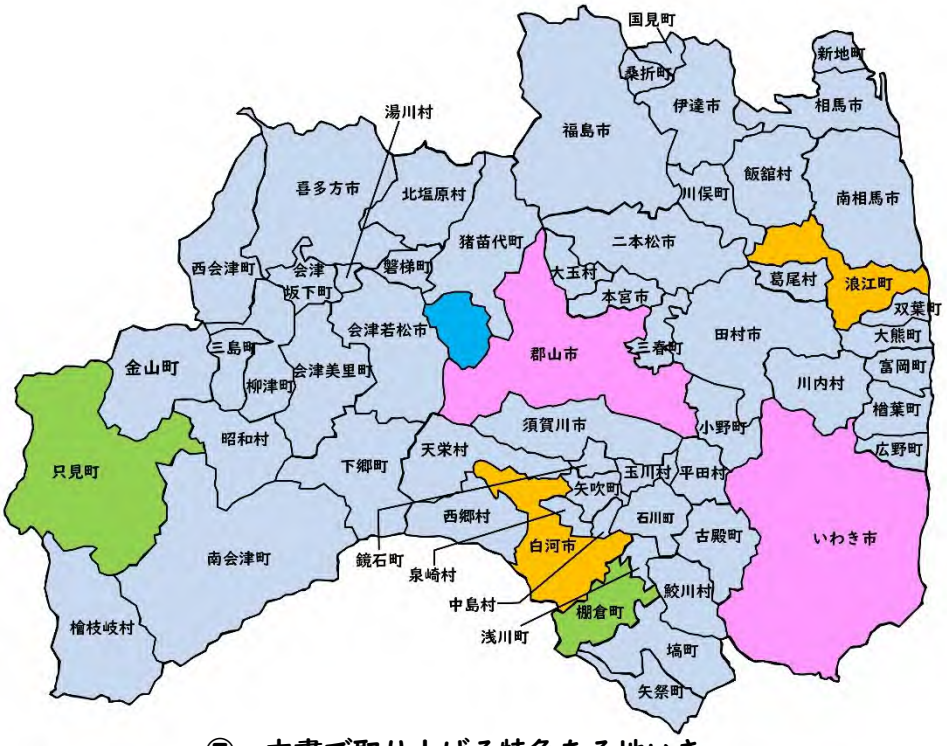
「わたしの家には，大堀相馬焼の茶わんがあるよ。」

「郡山市のうねめまつりに，家族で行ったことがあるよ。」

「棚倉町は，『東北の小京都』とよばれ，れきしある建物がたくさんあるそうだよ。」

⑤　癒しの森のブナ林（只見町）

⑥　棚倉城跡（棚倉町）



⑦　本書で取り上げる特色ある地いき

次のページからは，自分が住んでいる地いきとくらべながら，県内の特色ある地いきについて学んでいきます。

①か②，③か④，⑤か⑥のうち，自分が住んでいる地いきではない地いきを一つ選んで学習しましょう。

はなさんたちは，同じ福島県でも地いきによって特色がちがっていることに気づきました。そこで，みんなで出し合った特色ある地いきについて調べることにしました。

「同じ県内でも，こんなにたくさんのちがいがあるんだね。」

「自分たちの住んでいる地いきとどのようにちがうか，くらべながら調べてみようよ。」

（１） 伝統的なぎじゅつを生かしているまち

① だるまづくりがさかんな白河市

① 白河だるま市の様子

つかむ

写真や資料から，気づいたことを話し合い，学習問題をつくりましょう。

白河だるま市

毎年２月 11 日に開催される白河だるま市は，天神町・中町・本町の３町が会場となります。旧奥州街道沿い約 1.5ｋｍに，約 500 もの露店が立ち並び，縁起物の白河だるまなどを買い求めて約 15 万人の人々がおとずれます。

（「白河歴史の手引き『れきしら』入門編」より作成）

だるま市が開かれる「白河市」

はなさんたちは，毎年２月に白河市で行われる「だるま市」の写真や資料を見て，気づいたことについて話し合いました。

「すごい人だね。だるま市には，何人ぐらいの人が来るのかな。」

「福島県内だけでなく，県外からも人が集まり，毎年約15 万人が白河市に来るそうだよ。」

「1902（明治35）年には，だるま市の記事が新聞にのっていたそうよ。今からおよそ 100 年以上前から，もうだるまを売っていたなんてすごいね。」

「でも白河市では，どうしてだるまづくりがさかんなのかな。」

年	主なできごと
1823 （文政6）	この年の横町絵図に，白河だるま総本舗（渡辺だるま店）の先祖の住居・作業所がある位置に「瓦作金七」の名前が確認できることから，この人物が白河だるまと大きく関わったと考えられる。
1902 （明治35）	白河の市でだるまを売るという記事が当時の新聞にのった。
1974 （昭和49）	白河だるま市が現在と同じ建国記念の日の２月 11 日に開催されるようになった。
2011 （平成23）	東日本大震災が起こる。しかし，多くの困難を乗りこえ，それぞれのだるま工房は，だるまづくりを続けた。
2020 （令和2）	白河アートだるまの取り組みが始まる。

② 白河だるま・白河だるま市に関する年表

伝統的な産業

地いきの自然や古くから伝わるぎじゅつを生かして長く受けつがれてきた産業のことです。地いきの人々のくらしを支えています。伝統的な産業としてつくられるものは特産品として親しまれ，県内外に愛好する人たちがいます。

「だるまは，どのようにつくられているのかな。」

「白河市には，だるまづくりをしやすい材料や条件があるのかな。」

「東日本大震災は，だるまづくりにどのような影響をあたえたのかな。」

「だるまづくりを支えている人たちは，どのようなことをしているのかな。」

はなさんたちは，話し合ったことをもとに，学習問題をつくりました。

学習問題

白河市では，白河だるまをどのように守り，伝えているのでしょうか。

【調べること】

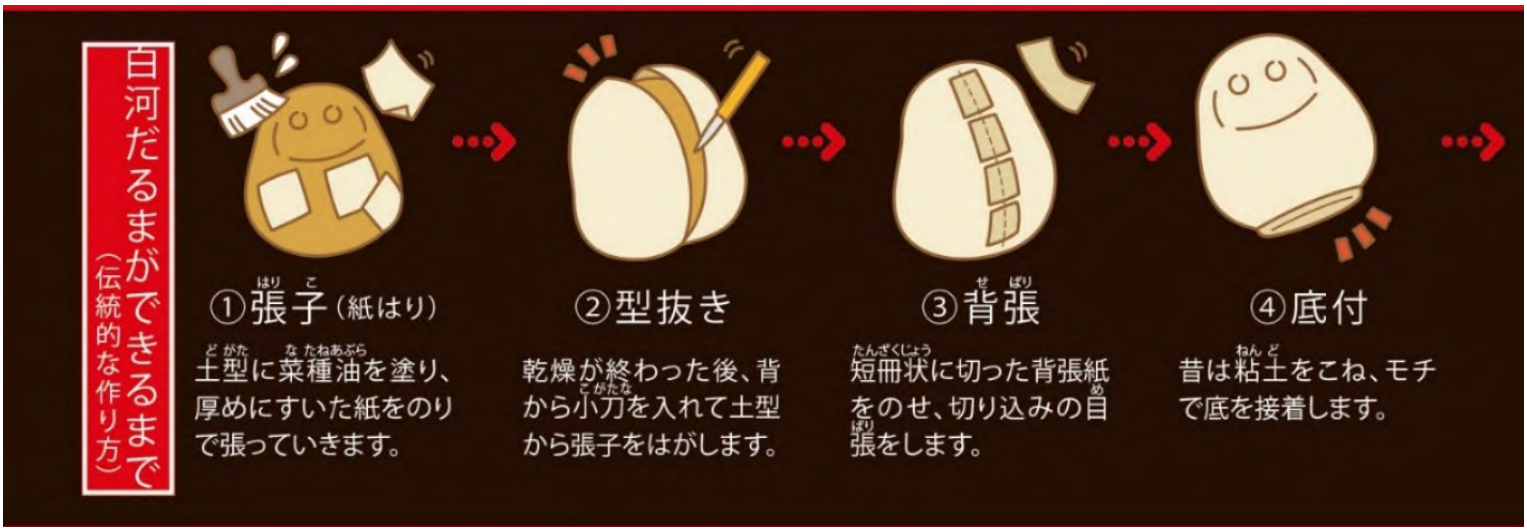
- **白河市でだるまづくりがさかんになったわけ。**
- **白河だるまを守り，伝える白河市の人々の取り組み。**

【調べ方】

- **パンフレットやインターネットを使って調べる。**
- **市役所で働く人や白河だるまをつくっている人にインタビューをしたり，メールや手紙でたずねたりする。**

【まとめ方】

- **白河市のだるまづくりを守り，伝える取り組みについて，４コマＣＭにまとめる。**



調べる

白河だるまは，どのようにしてつくられているのでしょうか。

① だるまの土型

② だるまの顔書きをしているところ

白河だるまをつくる

はなさんたちは，白河だるまがどのようにつくられているか調べるために，だるまづくりの工房を見学させてもらいました。

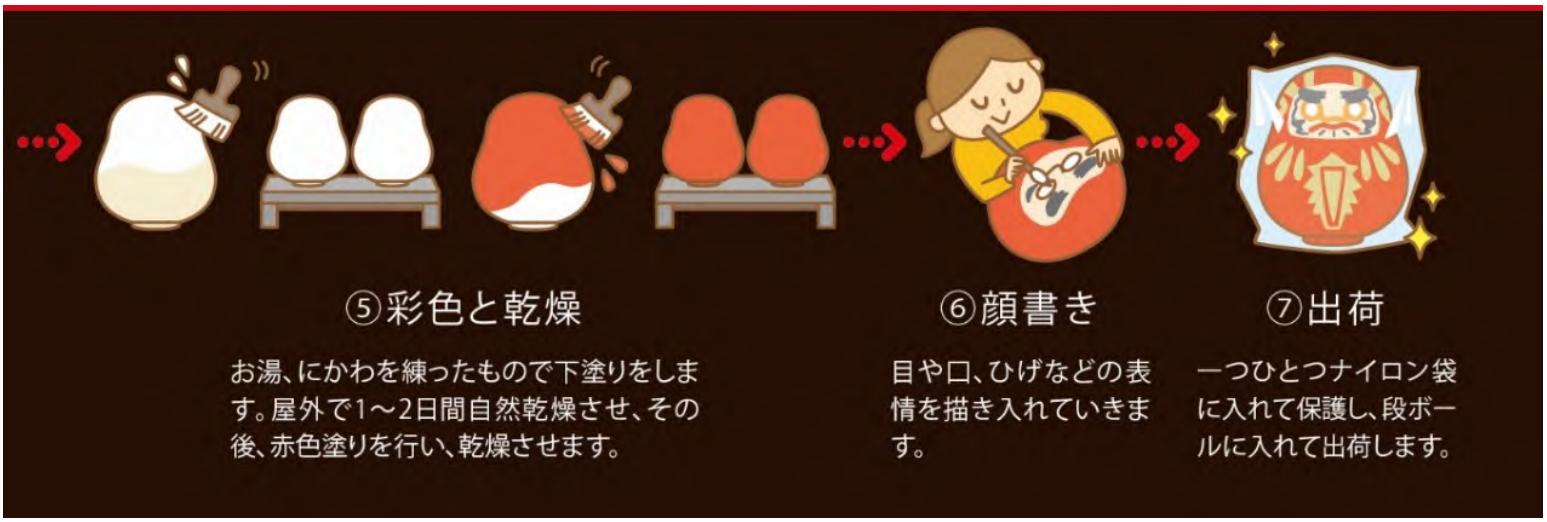
白河だるまは，土型に厚めにすいた紙をはって形をつくっていきます。その紙をつくる時には，きれいな水を使います。きれいな水がほうふにある白河市は，その条件に合っています。

「だるまづくりに，きれいな水が大切なんて知らなかったね。」

「だるまづくりは，厚めにすいた紙の用意，張子，背張，底付，彩色，顔書きと分業で行っているそうだよ。」

「一つずつ手作業で，ていねいに仕上げているんだね。」

「白河だるまは，ほかの地いきでつくられるだるまと何がちがうのかな。」



③　白河だるまができるまでの工程（「白河歴史の手引き『れきしら』入門編」より）

佐川だるま製造所の佐川さんの話

だるまづくりでたいへんなことは，色をつけてかわかす必要があるので，天気に左右されやすいことです。白河だるまの特ちょうである「鶴亀 松 竹梅」，「土型を使うこと」，「たおしても起き上がるようにつくること」を大切にして一つ一つ手づくりしています。

佐川だるま製造所

「顔書きは，筆を使って一気にかいていくんだね。」

「だるまの顔に意味があるなんて，初めて知ったよ。」

「かく 順 番もあってむずかしそうだけど，やってみたいな。」

白河だるまの特ちょう

白河だるまは，白河藩主・松平定信のお抱え絵師であった谷文晁がだるまの顔をかいて手本に与えたことなどの話が伝わっています。

顔全体がふっくらとしており，おだやかな顔をしているのが特ちょうです。まゆは「鶴」，ひげは「亀」，びん（顔の両側の耳ぎわにあるかみの毛）は「梅」や「松」，あごひげは「竹」や「松」に見立てられています。かつては目を入れて売られていましたが，現在は，ねがいごとがかなうと目を入れる「目なしだるま」になりました。

（「わたしたちのしらかわ」，「白河歴史の手引き『れきしら』入門編」より作成）

① 東日本大震災後の販売の広がり（東京都台東区浅草）

調べる

白河だるまの伝統を守るために，どのような取り組みをしてきたのでしょうか。

② だるまの絵付け体験

東日本大震災

2011（平成23）年３月11日に三陸沖を震源として発生したマグニチュード9.0を記録した国内観測史上最大級の地震のこと。白河市でも，震度６強を記録し，土砂くずれがおきるなど大きな被害を受けました。

だるまづくりを守り，伝える

近年では，だるまを家にかざる人の数がへっています。白河市内の二つのだるま工房では，これまでだるまの絵付け体験を行い，多くの人に関心を持ってもらうことで，この産業を守り，伝えようと努めてきました。

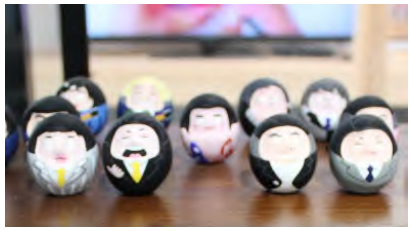
そうした中，2011（平成23）年３月11日に東日本大震災が起きました。白河市は地震による大きな被害を受けましたが，多くの困難を乗りこえ，それぞれのだるま工房は，だるまづくりを続けました。

その後，さまざまな人々が，東北地方の伝統的な産業を助けようと，協力して動き出しました。白河だるまも，多くの人に知ってもらう機会を増やすためのさまざまな支えんを受けました。

はなさんたちは，市内にあるもう一つのだるま工房でも，話を聞くことにしました。

白河だるま総本舗の渡邊さんの話

震災後，白河だるまを「より多くの人に知ってもらいたい，好きになってもらいたい。」という思いから「だるまランド」をつくりました。だるまランドは，白河だるまを「見て，学んで，楽しむ」ことができる場所です。お正月やだるま市だけでなく，だるまを身近に感じてもらうことで，だるまづくりの伝統を守り，伝えていくようにしていきたいです。そして，だるまづくりの伝統的な産業を「夢のある産業」にしていきたいです。



③　これまでにない新しいデザインの白河だるま

④　大堀相馬焼と協力して作った商品

⑤　白河だるまを「見て，学んで，楽しむ」ことができる施設

「白河だるまづくりの伝統を守りながら，多くの人に知ってもらうために，新しいことにもちょうせんしているんだね。」

「白河市では，白河だるまを守り，広めるためにどのような取り組みをしているのか市役所の人に聞いてみようよ。」

白河だるま総本舗
だるまランド

調べる

白河市では，白河だるまを広めるために，どのような取り組みをしているのでしょうか。

① アートだるまを募集するチラシ

② 市の芸術祭に出品されたアートだるま

白河だるまを広めるために

白河市では，白河だるまやだるま市をもり上げるために，市が行うイベントのお知らせをしたり，白河まつり振興会のホームページや観光パンフレットなどで紹介したりしています。近年は，自分が考えたデザインのだるまをつくって市の芸術祭に参加する「白河アートだるま」の取り組みも行われています。

白河市役所の鈴木さんの話

白河市は，地いきのれきしや自然を生かした文化芸術がゆたかなまちづくりを目指しています。そこで，だるま市だけでなく，芸術祭などのアートイベント「白河アートだるま」を始めました。この「アートだるま」は2020（令和２）年にスタートし，これまで２回行いました。この取り組みをきっかけにして，白河だるまというすばらしい伝統的な産業を守り，より多くの人に白河市を知ってもらい，おとずれてほしいです。

まとめる

だるまづくりがさかんな白河市について，調べたことをもとに，４コマＣＭをつくりましょう。

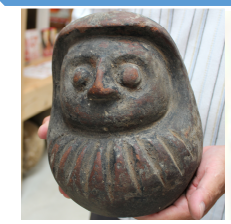
学習問題

白河市では，白河だるまをどのように守り，伝えているのでしょうか。

学習問題をもう一度かくにんしよう！

はなさんたちは，これまでの学習をふり返り，白河だるまを守り，伝える取り組みについて，グループで話し合いました。そして，白河市の特色について伝えるものを決めて，４コマＣＭをつくることにしました。

１ つくり続けて　２００年

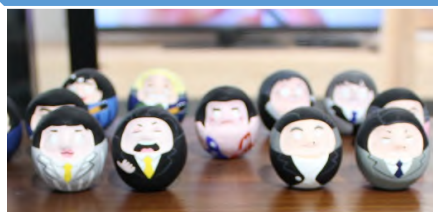


白河だるまは，渡辺だるま店の先祖（瓦作金七）が大きく関わり，約 200 年前に始まったとされています。

２ 伝統的なぎじゅつ

だるまの顔は一つ一つ筆でかきます。このぎじゅつがすごいです。

３ 新しい取り組み



伝統を守りながらも新しいだるまづくりを進めています。

４ 白河市とともに

白河市では，だるまを広めるための新しい取り組みを始めています。

【４コマＣＭのつくり方】

1　グループで話し合い，白河市の特色を伝える内容を四つ選ぶ。
2　１コマずつ分たんを決める。
3　画用紙に絵や文字，写真などでまとめる。（タブレットにまとめることもできる）
4　短い言葉でタイトルをつける。
5　つくったものをグループでつなげて，みんなで発表し合う。

白河市公式チャンネル

② 焼き物と共に歩み続ける 浪江町

① 陶芸の杜おおぼり（浪江町大堀地区）

② 大堀相馬焼

つかむ

写真や資料から，気づいたことを話し合い，学習問題をつくりましょう。

焼き物づくりがさかんな浪江町

はなさんたちは，浪江町の伝統的な産業である大堀相馬焼の写真や資料を見て，気づいたことについて話し合うことにしました。

「大堀相馬焼には，ひびのような模様があって，とてもめずらしいね。」

「それだけではなく，馬のような絵も下の方にかかれているよ。」

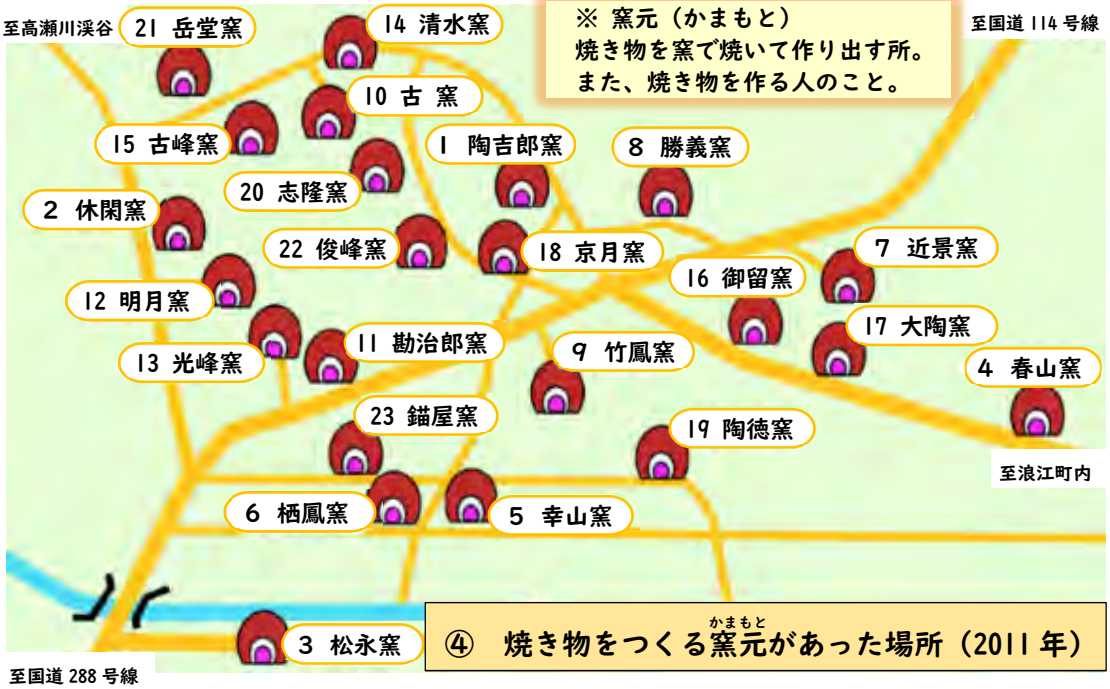
「陶芸の杜おおぼりには，煙突のついた大きな登り窯があるね。」

「大堀相馬焼は，300 年以上も前からつくられているんだね。」

「でも浪江町は，どうして焼き物づくりがさかんなのかな。」

年	できごと
1690 ごろ（元禄３）	左馬が焼き物づくりを学ぶ。 半谷休閑が村人にぎじゅつを伝える。
1978 年（昭和53）	国の伝統的工芸品に指定される。
2002 年（平成14）	「陶芸の杜おおぼり」が完成する。

③ 大堀相馬焼に関する年表



④ 焼き物をつくる窯元があった場所（2011 年）

伝統的な産業

地いきの自然や古くから伝わるぎじゅつを生かして長く受けつがれてきた産業のこと。地いきの人々のくらしを支えています。伝統的な産業としてつくられるものは特産品として親しまれ，県の内外に愛好する人たちがいます。

「大堀地区に，これだけたくさんの窯元が集まっていたこともふしぎだね。」

「このあたりでしか取ることができない材料があったのではないかな。」

「年表にあるぎじゅつを伝えた人の名前と同じ名前の窯元もあるね。」

「東日本大震災の後は，同じように焼き物づくりを続けることができたのかな。」

はなさんたちは，話し合う中で気になったことやもっと調べてみたいことをもとに，学習問題をつくりました。

【調べること】

- ○ 浪江町で焼き物づくりがさかんになったわけ。
- ○ 焼き物づくりを守り，伝える浪江町の人々の取り組み。

【調べ方】

- ○ 年表やインターネット，動画などを使って調べる。
- ○ 町役場で働く人や焼き物づくりをする人にインタビューをしたり，メールや手紙でたずねたりする。

【まとめ方】

- ○ 浪江町の焼き物づくりを守り，伝える取り組みについて，４コマＣＭにまとめる。

学習問題

浪江町では，大堀相馬焼をどのように守り，伝えているのでしょうか。

① 大堀相馬焼の工程（成形）

調べる

大堀相馬焼は，どのように作られているのでしょうか。

② 青ひびをつくる釉薬の原料
砥山石

原料

陶器の原料は，主に粘土です。また，釉や着色剤として釉薬が使われるときがあります。地いきで手に入る原料を生かしてものづくりが行われています。

大堀相馬焼ができるまで

はなさんたちは，大堀相馬焼をつくっている半谷窯を見学させてもらいました。

「この焼き物は，どうして大堀相馬焼という名前なのかな。」

「江戸時代，相馬藩にあった大堀村の特産品だったそうだよ。どうやってつくっているんだろう。」

「大堀村で手に入る原料は大堀粘土で，土の粒が細かく，焼き物をうすくつくっても焼き割れしないんだって。」

「だから，二重焼きがつくれるんだね。」

【動画】荒もみから成形まで

釉薬

陶器や磁器の表面にぬられるガラス質の薬品。焼かれる際にとけて，美しい光沢や色彩となります。

5

6

③　大堀相馬焼の工程（仕上げ・完成）

「青ひびをつくる釉薬の原料となる砥山石も，大堀村で手に入る原料らしいよ。」

「大堀相馬焼は，国の伝統的工芸品なので，つくり方や原料が決まっているみたいだよ。」

「なるほど。つくり方や原料が決められていて，原料が大堀村でしか取れなかったとは，おどろきだよ。」

半谷窯の半谷貞辰さんの話

土をいきなり成形することはできないので，「荒もみ」といって何度も土をこねる作業をします。これがたいへんです。こねてできあがった土をろくろの上に乗せて，足でろくろを回しながら少しずつ成形していきます。

職人さんたちの数がへってきているのが残念です。そのため，現在では，機械で成形したり，シールで絵付けしたりするなど，機械化による工夫が行われています。

① 陶芸の杜おおぼり（二本松工房）

② 復興絵皿２０１２

調べる

これまでに，大堀相馬焼はどのような苦難を乗りこえてきたのでしょうか。

災害を乗り越えて

はなさんたちは，東日本大震災の影響で全町避難した浪江町の大堀相馬焼がどのように受けつがれているのか，さらに調べました。

「2011年の原子力発電所の事故により，原料となる陶土や陶石が放射線を出すものに汚染されてしまったのよ。」

「そして，23窯あった窯元も７窯にへり，浪江町以外の市町村で伝統を受けついでいるんだって。」

「えっ。浪江町ではつくっていないの。」

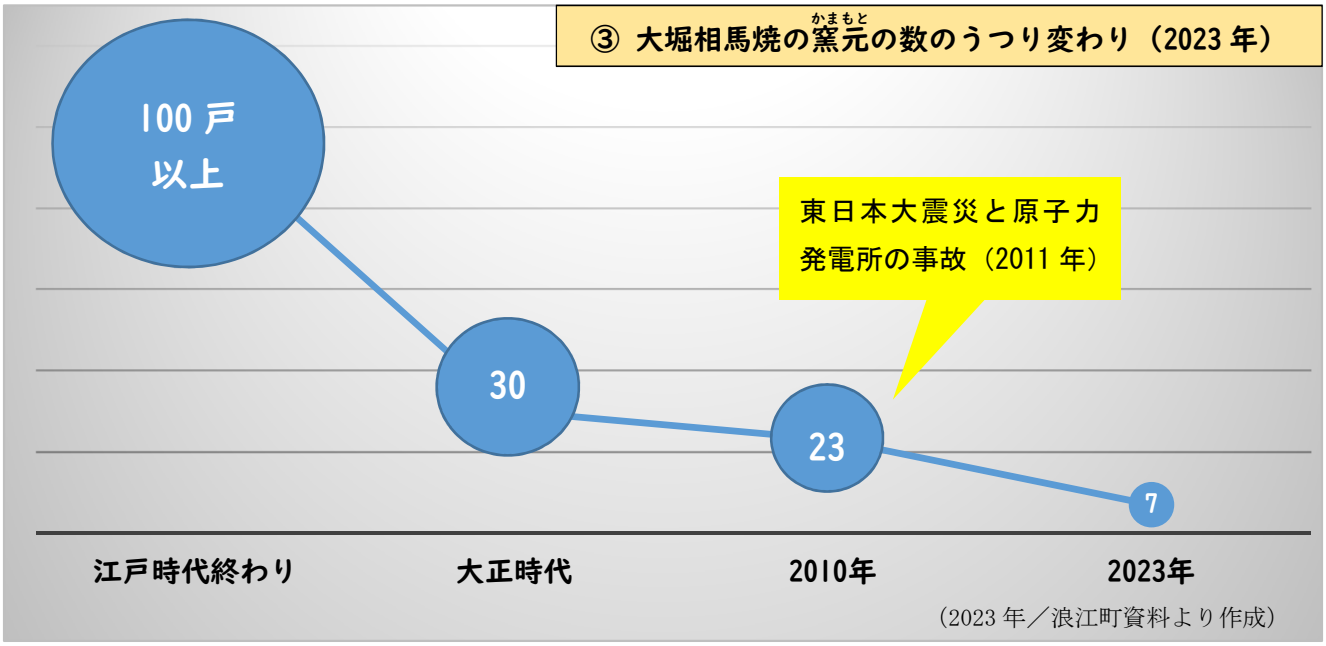
「そうなんだ。今は，７つの窯が協力して浪江町の『なみえの技・なりわい館』で７つの窯元の製品が販売されているんだよ。」

全町避難

町の役場をはじめ，町に住んでいた人が全て別の市町村へ避難すること。

原子力発電所の事故

東日本大震災で発生した大きな津波により，福島第一原子力発電所で事故が起き，放射線を出すものが発電所の外に出ました。発電所のまわりに住む人（浪江町の人も）が避難したり，一部の地いきで水道水や食べ物の飲食を一時的に止められたりすることがありました。



（2023 年／浪江町資料より作成）

「浪江町の大堀地区にある『陶芸の杜おおぼり』を再開したことも大きいね。」

「でも，放射線を出すものに汚染された原料はどうしたんだろう。製品をつくるための苦労があったのではないかな。」

陶芸の杜おおぼり

大堀相馬焼の拠点として，浪江町大堀地区に建設されました。東日本大震災発生後は一時閉館し，福島県二本松市で開館していましたが，2023 年 6 月，12 年ぶりに浪江町で再開しました。

休閑窯の半谷秀辰さんの話

大堀相馬焼には，「青ひび」，「二重焼き」，「走りごま」の三つの特ちょうがあり，原料がその特ちょうを左右します。しかし，原料に放射線を出すものがふり注ぎ，成形する粘土や釉薬に使用する石が利用できなくなってしまいました。そのため，青ひび釉を再現できる砥山石の開発を行い，かわりになる釉薬を用いて大堀相馬焼を製造・販売しています。

うつくしまの音３０景
青ひびの音

① 「大せとまつり」に集まる浪江町の人たち

浪江で陶吉郎窯に 窯元の上棟式

「大堀相馬焼」帰還の道しるべ

東京電力福島第1原発事故の影響で避難し、いわき市四倉町に大堀相馬焼「陶吉郎窯」を構えている近藤学さんは1日、浪江町大堀に再建する窯元の上棟式を現地で行い、工事の安全を願った。

原発事故に伴う特定復興再生拠点区域（復興拠点）に指定された国の伝統工芸品「大堀相馬焼」の窯元の避難指示が3月に解除されたのを受け、かつてと同じ場所に拠点を再建する。窯を備える工房と、焼き物を販売する店舗を設ける。来年2月に完成する予定で、完成後は内覧会などのイベントを計画している。来年4月ごろにも作陶活動を再開する見通しだ。再建後も当面は、いわき市と浪江町を行き来しながら活動するという。

長男賢さんとともに上棟式に臨んだ学さんは「だんだんと気持ちが高まってきた。大堀で成功例をつくって、他の窯元が帰還する道しるべとなりたい」と決意を新たにした。

工事の安全を願うん（右）と賢さん

② 浪江町での再開を知らせる新聞記事（福島民報　2023年7月30日掲載）

調べる

浪江町では，伝統の焼き物づくりを未来につなげるために，どのような取り組みをしているのでしょうか。

なみえの技・なりわい館

2021年3月に完成した観光し設のこと。この中に，大堀相馬焼協同組合は新たな工房・ギャラリー・事務所を設立し，県内各地で再開している組合所属の窯元の作品を集めて展示販売しています。

焼き物がつなぐ町民の絆

新しい土地で窯元を始めたり，職人になるために移住したりと，大堀相馬焼の伝統を受けつごうとする動きが広がっています。

浪江町役場の蒲原さんの話

大堀地区は文化的価値のある地区です。浪江町では，補助金を利用し，地区の整備を行いながら道の駅なみえに「なみえの技・なりわい館」を設立しました。町民をつなぐ伝統的工芸品を残すためにも，地いきの人たちと協力して大堀相馬焼のぎじゅつを次の世代につないでいくことに力を入れています。

まとめる

焼き物づくりがさかんな浪江町について，調べたことをもとに４コマＣＭをつくりましょう。

学習問題

浪江町では，大堀相馬焼をどのように守り，伝えているのでしょうか。

学習問題をもう一度かくにんしよう！

はなさんたちは，これまでの学習をふり返り，大堀相馬焼を守り，伝える取り組みについて，グループで話し合いました。そして，浪江町の特色について伝えるものを決めて，４コマＣＭをつくることにしました。

１　つくり続けて３３３年

浪江町の焼き物づくりは，300 年以上のれきしがあります。

２　伝統的なぎじゅつ

走りごまは一つ一つかきます。このぎじゅつがすごいです。

３　新しい取り組み

伝統行事やイベントに合わせた製品をつくっています。

４　浪江町民とともに

大堀相馬焼をきっかけに，多くの住民が集まります。

【４コマＣＭのつくり方】

1　はんで話し合い，浪江町の特色を伝える内容を四つ選ぶ。
2　１コマずつ分たんを決める。
3　画用紙に絵や文字，写真などでまとめる。（タブレットにまとめることもできる）
4　短い言葉でタイトルをつける。
5　つくったものをグループでつなげて，みんなで発表し合う。

③　浪江町をＰＲする動画

浪江町公式キャラクター
うけどん

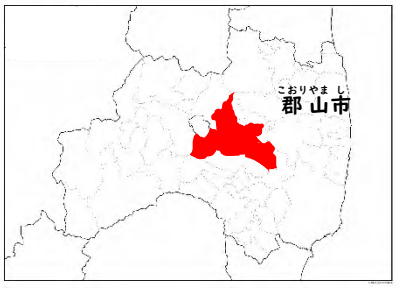
（2） 国際交流がさかんなまち

① 国際交流に取り組む　郡山市

① うねめまつり

つかむ

写真や資料から，気づいたことを話し合い，学習問題をつくりましょう。



民族衣装

言葉や宗教，れきしなどの文化や自然の影響を受けた人々が集団で着る服装のこと。

郡山市に住む外国の人たち

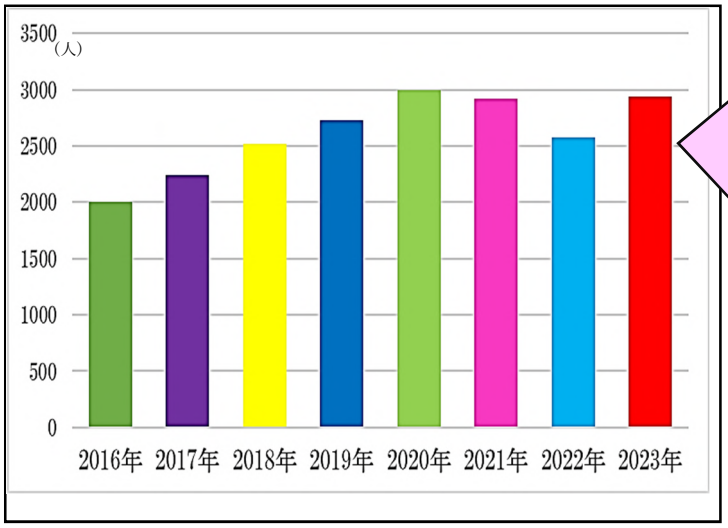
かんたさんたちは，郡山市の「うねめまつり」という，お祭りの写真やグラフなどを見ながら，気づいたことを話し合いました。

「たくさんの人がいるね。外国の人もたくさんいるよ。」

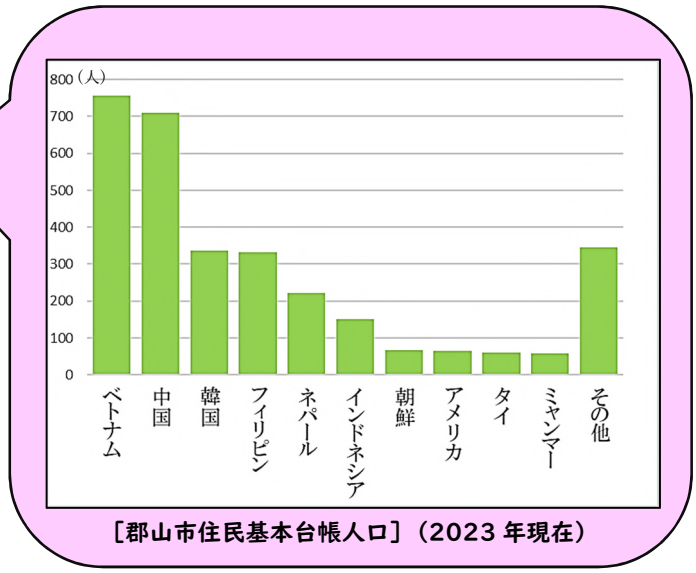
「浴衣を着ている人や民族衣装を着ている人もいるよ。」

「どうして，うねめまつりにたくさんの外国の人が参加しているのかな。」

「かんばんに，オランダ王国と書いてあるよ。郡山市と何か関係があるのかな。」



② 郡山市の外国人住民数



［郡山市住民基本台帳人口］（2023 年現在）

③ 郡山市の外国人住民の国別人数

「グラフを見ると，郡山市に住む外国の人が増えているみたいだね。」

「郡山市の人口の約 110 人に 1 人が外国人みたいだよ。どうして郡山市では，外国の人が増えているのかな。」

「外国の人は，郡山市でどのようなくらしをしているのかな。」

「郡山市では，うねめまつりのほかに外国とどのような国際交流をしているのかな。」

【調べること】

- ○ 郡山市の国際交流の取り組み。
- ○ 共にくらすための取り組み。

【調べ方】

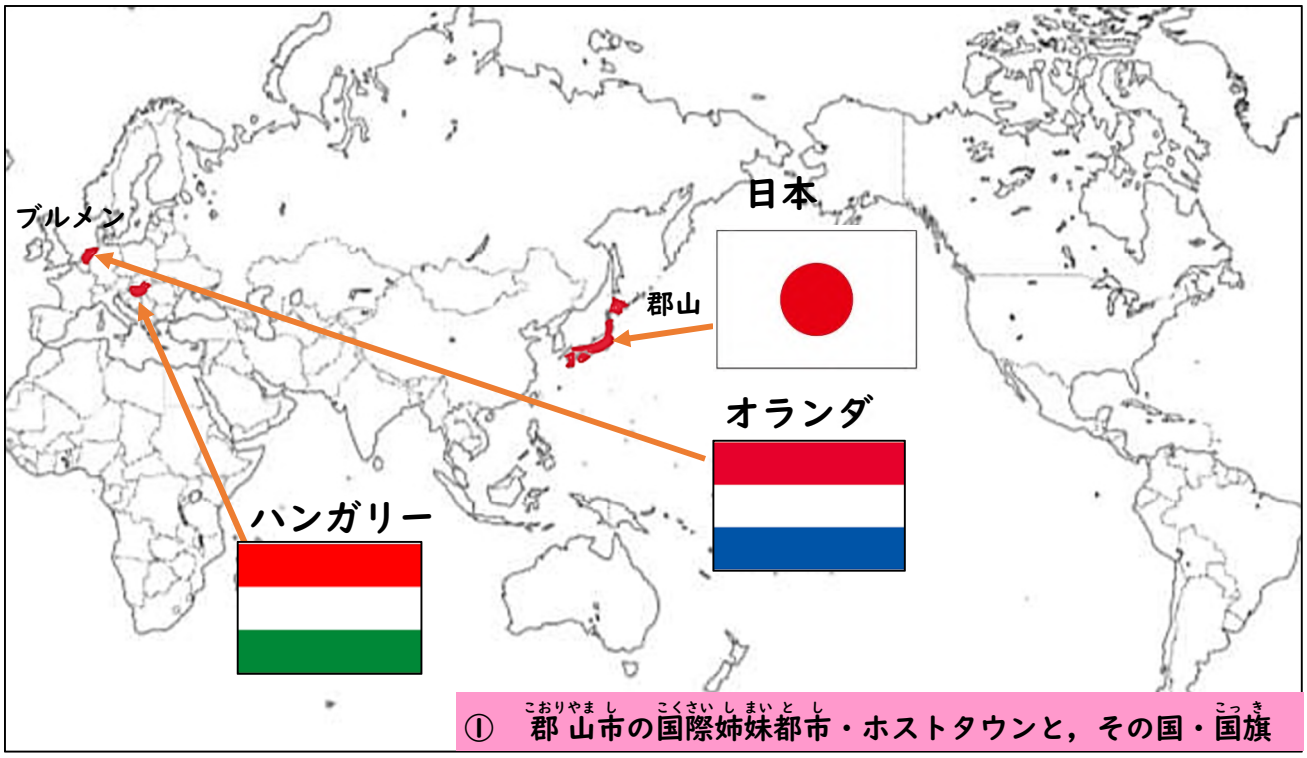
- ○ パンフレットやインターネットを使って調べる。
- ○ 市役所の人や地いきの人にインタビューをしたり，メールや手紙でたずねたりする。

【まとめ方】

- ○ 郡山市の国際交流の様子について，４コマCMをつくる。

学習問題

郡山市では，外国の人たちとどのような交流をし，共にくらすためにどのようなまちづくりをしているのでしょうか。



① 郡山市の国際姉妹都市・ホストタウンと，その国・国旗

調べる

郡山市では，どのような国際交流の取り組みをしているのでしょうか。

郡山市の国際交流の取り組み

郡山市は，オランダのブルメン市と姉妹都市になっています。また，オランダやハンガリーという国とホストタウン交流をしています。

「郡山市は，世界のさまざまな都市と交流しているんだね。」

「郡山市では，どのような国際交流の取り組みをしているのかな。」

「二つの国との交流はいつごろから始まったのかな。」

かんたさんたちは，市役所で国際交流の取り組みについて，話を聞くことにしました。

姉妹都市

他の国の都市どうしの友好を約束した関係のこと。文化交流や，親善のために行われています。

ホストタウン

2021年に開催された東京オリンピック・パラリンピック参加国と地いきが，人・経済・文化で相互に交流を図る都市のこと。

② 中高生の水泳での交流

チーズトースト
トマトゥンスープ
（肉団子の野菜トマトスープ）
サラダ，牛乳，デザート

③ オランダ料理の学校給食メニュー

郡山市役所の橋本さんの話

郡山市では，安積疏水の工事に大きく関わったファン・ドールンがオランダ出身だったことがきっかけで，オランダのブルメン市と姉妹都市になりました。また，ハンガリーとは鯉を食べる文化がきっかけで，交流が始まりました。東京オリンピック・パラリンピックでは，ホストタウンとして選手を支えんしたり，応えんしたりしました。スポーツ・文化・経済などを通して交流を深めています。

「郡山市のれきしや文化，スポーツなどをきっかけに交流が始まったんだね。」

「オランダやハンガリーのほかの都市との交流についても調べてみたいな。」

年	できごと
1879 年（明治12）	オランダ人技師ファン・ドールンが安積疏水の計画に加わり，工事が始まる。
1882 年（明治 15）	安積疏水が完成する。
1988 年（昭和63）	オランダのブルメン市と姉妹都市になる。
2016 年（平成28）	オランダホストタウンになる。
2018 年（平成 30）	ブルメン市と姉妹都市 30 周年記念式典が行われる。
2019 年（平成 31）	ハンガリーホストタウンになる。
2021 年（令和3）	東京オリンピック・パラリンピックが開催される。

④ 郡山市の国際交流に関する年表（郡山市ＨＰより作成）

⑤ ファン・ドールン

安積疏水

郡山に猪苗代湖からの水を引いた水路のこと。明治の大事業で，郡山市の農業や工業が発展しました。現在，日本遺産に登録されています。

① オランダ文化を伝える講座

② 英会話講座

調べる

国際交流協会では，どのような交流の取り組みが行われているのでしょうか。

国際交流協会

地いきにくらす外国人と日本人の交流のため設立された組織のこと。全国各地にあり，さまざまな交流活動を行っています。

③ 郡山市国際交流協会情報交換紙

国際交流協会の取り組み

郡山市では，多くの企業や市民に協力してもらい，郡山市国際交流協会（ＫＩＥＡ）を設置しています。そこでは，外国人住民と日本人住民のさまざまな交流活動や，外国人住民や留学生への支えんを行っています。

「国際交流協会では，どのような活動をしているのかな。」

「どのような人たちが参加しているのだろう。何才からイベントに参加できるのかな。」

かんたさんたちは，国際交流協会で話を聞くことにしました。

④　外国人向けのイベントのチラシ

⑤　インターナショナルスクエア 2023
竹笛（たけぶえ）が奏（かな）でるベトナムの音色

郡山市国際交流協会の會田（あいた）さんの話

ここでは，外国人が安心して元気にくらせるように生活情報（せいかつじょうほう）を提供（ていきょう）しています。また，外国人と日本人がたがいの文化を理解（りかい）し合えるようなイベントも行っています。できるだけ多くの人に参加してほしいと思います。参加は中学生以上（いじょう）になっていますので，みんなも中学生になったら，ぜひ参加してみてください。今，郡山市には，約 50 か国の外国人が住んでいます。共（とも）にくらすためには，おたがいのことをよく理解することが大切だと思います。

「外国の人にも住みやすいまちになるように活動しているんだね。」

「外国の人が安心して郡山市に住み続（つづ）けるには，どうしたらいいのかな。」

① 外国人住民と日本人住民が共に学ぶ防災ワークショップ

② 防災訓練に参加する外国人

調べる

郡山市では，共にくらすために，どのような取り組みをしているのでしょうか。

共にくらす

おたがいの文化的なちがいをみとめ合い，地いき社会で対等な立場でくらすこと。

③ 多言語対応の防災ハンドブック

これからも共にくらすために

「防災ハンドブックを使いながら，みんなが真剣に話し合っているね。」

「外国人と日本人が，いっしょに活動しているのはどうしてかな。」

国際交流員のポールさんの話

郡山市では，地震や台風などの災害が何度も起きています。しかし，日本語が不自由な外国人は，災害や避難の情報を知ることができず，不安な時間を過ごしていました。

わたしは，いっしょにイベントに参加して，通訳をしたり，必要な情報を伝えたり，外国人も安心して生活できるように協力しています。

まとめる

国際交流に取り組む郡山市について調べたことをもとに，４コマＣＭをつくりましょう。

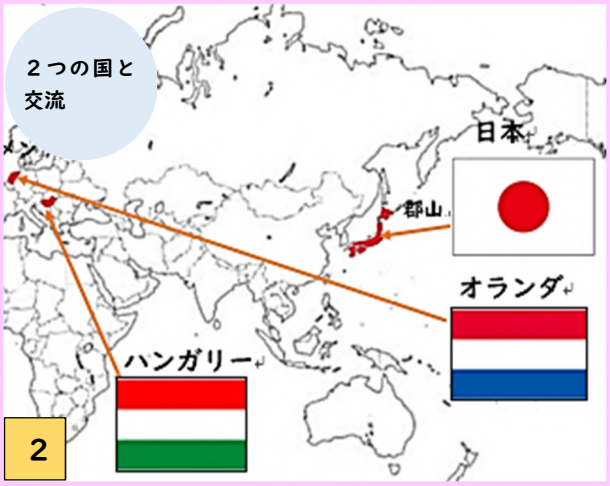
学習問題

郡山市では，外国の人たちとどのような交流をし，共にくらすためにどのようなまちづくりをしているのでしょうか。

学習問題をもう一度かくにんしよう！

かんたさんたちは，これまでの学習をふり返り，国際交流に取り組む郡山市の様子について，グループで話し合いました。

次に，郡山市の特色を伝える４コマＣＭをつくり，しょうかいし合うことにしました。



④　かんたさんたちがつくった４コマＣＭ

② 国際交流に取り組む　いわき市

①いわき地球市民フェスティバル

つかむ

写真や資料から，気づいたことを話し合い，学習問題をつくりましょう。

②　いわきサンシャインマラソンに参加する外国の人

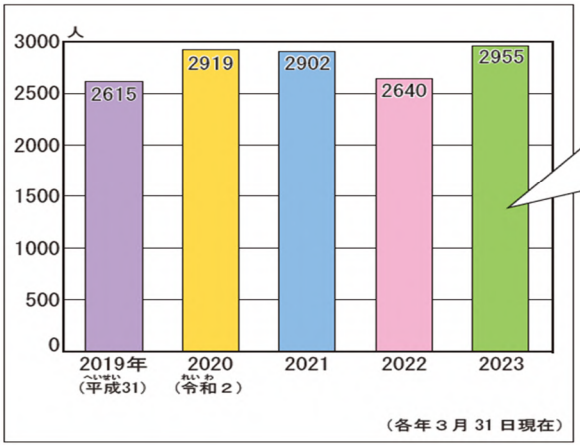
いわき市に住む外国の人たち

かんたさんたちは,「いわき地球市民フェスティバル」という，いわき市に住む外国の人と市民が交流するイベントの写真や，マラソンの写真，グラフなどを見ながら，気づいたことを話し合いました。

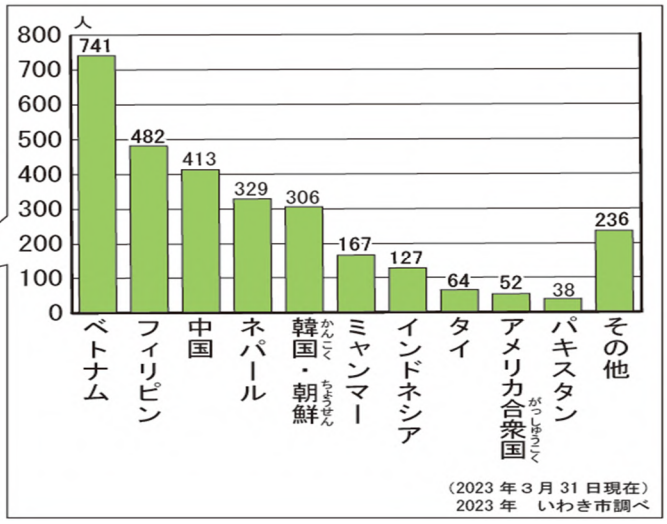
「外国人と日本人が笑顔で写真に写っているよ。」

「外国の文化や伝統を通して，さまざまな交流をするみたいだね。」

「どうして，いわき市でこのようなイベントが行われているのかな。」



③　いわき市の外国人住民数の変化



④　いわき市の外国人住民の国別人数

「グラフを見ると，いわき市に住む外国の人が増えているみたいだね。」

「どうして，いわき市では，外国の人が増えているのかな。」

「外国の人は，いわき市でどのようなくらしをしているのかな。何かこまっていることはないかな。」

「いわき市では，いわき地球市民フェスティバルのほかに，外国とどのような交流をしているのかな。」

【調べること】

- ○　いわき市の国際交流の取り組み。
- ○　共にくらすための取り組み。

【調べ方】

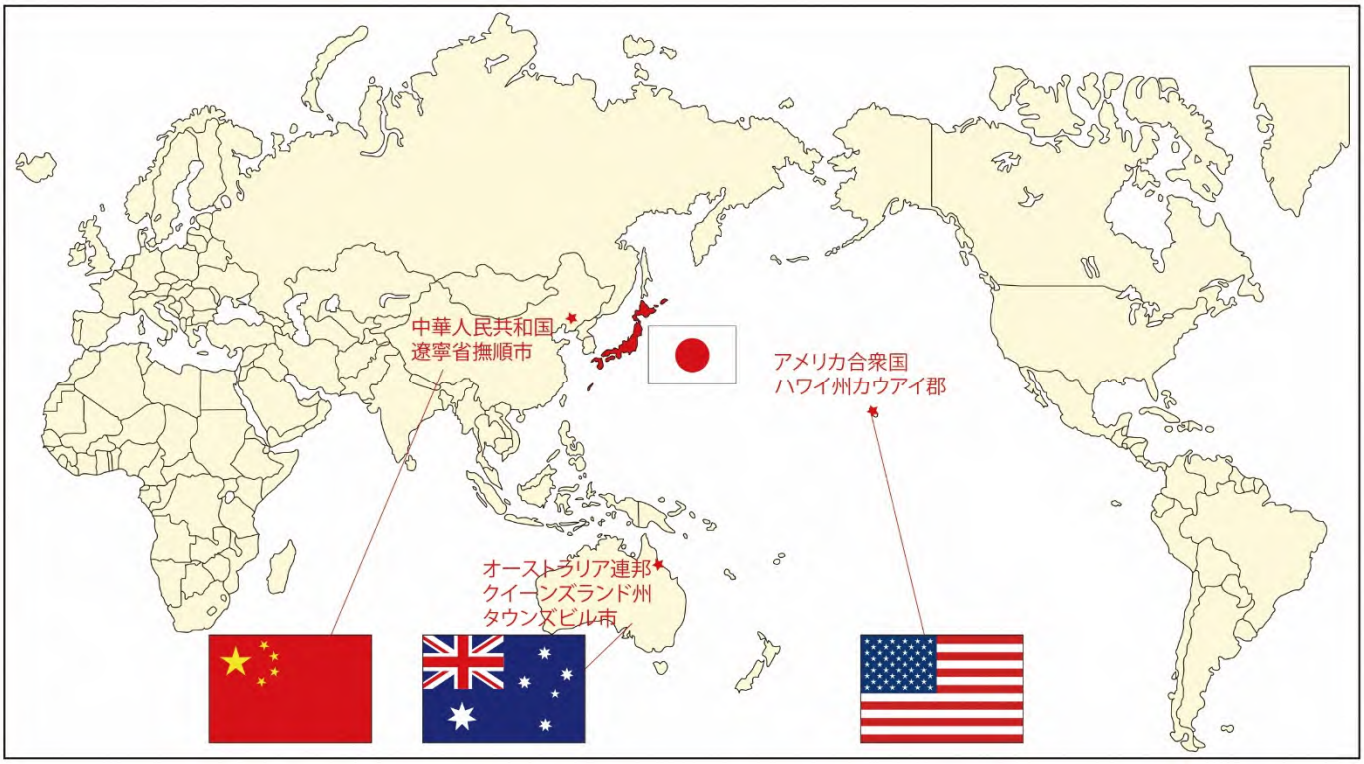
- ○　パンフレットやインターネットを使って調べる。
- ○　市役所の人や地いきの人にインタビューをしたり，メールや手紙でたずねたりする。

【まとめ方】

- ○　いわき市の国際交流の様子について，４コマＣＭをつくる。

学習問題

いわき市では，外国の人たちとどのような交流をし，共にくらすためにどのようなまちづくりをしているのでしょうか。



① いわき市の国際姉妹都市・友好都市と，その国・国旗

調べる

いわき市では，どのような国際交流の取り組みをしているのでしょうか。

国際交流

外国の人たちとそれぞれの国のことや文化などについて学び合うことで，おたがいを理解したり，尊重したりすること。

姉妹都市（友好都市）

他の国の都市どうしの友好を約束した関係のこと。文化交流や，親善のために行われています。

いわき市の国際交流の取り組み

いわき市は，二つの姉妹都市と一つの友好都市と交流を行っています。

「いわき市は，世界のさまざまな都市と交流しているんだね。」

「いわき市では，どのような国際交流の取り組みをしているのかな。」

「三つの都市との交流は，いつごろから始まったのかな。」

かんたさんたちは，市役所で国際交流の取り組みについて，話を聞くことにしました。

② タウンズビルマラソンでの交流

③ カウアイでの野球の交流

いわき市役所の猪狩さんの話

いわき市では，現在三つの都市と文化・教育・スポーツなどの分野で，相手の都市に行ったり，いわき市に来てもらったりして交流を深めています。直接会って話をしたり，食事や体験をしたりすることでさまざまな気づきや理解が生まれています。それらの中には中高生が参加する交流もあります。相手の都市のことだけでなく，自分たちが住むいわき市のことを改めて考えるきっかけになっています。

「ハワイのカウアイ郡とは，フラなどの民族舞踊によるふれ合いをきっかけとして，交流が始まったそうです。」

「ほかの都市との交流についても調べてみたいな。」

年	できごと
1982年（昭和57）	石炭に縁のある工業都市として共通性のある撫順市と友好都市を結ぶ。
1991年（平成3）	小名浜港と交易のある港湾都市タウンズビル市と国際姉妹都市を結ぶ。
2011年（平成23）	民族舞踊などで交流のあるカウアイ郡と友好協定を結ぶ。
2016年（平成28）	友好協定を結んでいるカウアイ郡と国際姉妹都市宣言書を取り交わす。

④ いわき市の国際交流に関する年表

⑤ いわき市の観光ＰＲポスター

① いわき市国際交流協会

② 国際交流協会での相談の様子

調べる

国際交流協会では，どのような交流の取り組みが行われているのでしょうか。

国際交流協会

地いきにくらす外国人と日本人の交流のために設立された組織のことです。全国各地にあり，さまざまな交流活動をしています。

留学生

学問や日本の文化などを学ぶために，外国から日本に来ている外国人の学生のこと。

いわき市内には，数百人の留学生がいます。

国際交流協会の取り組み

いわき市では，国際交流協会が中心となり，さまざまな交流活動や，外国人住民や留学生への支えんを行っています。

国際交流協会には，国際交流ボランティアがいます。ホームステイの受け入れや，外国の方の生活の手助けや通訳等をしています。

「国際交流協会では，どのような活動をしているのかな。」

「いわき市に住んでいる外国の人は，どのような生活をしているのかな。」

かんたさんたちは，国際交流協会で話を聞くことにしました。

③　日本語教室の様子

参照：出入国在留管理庁・文化庁　在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン　2020年8月

④　国際交流協会が発行している
やさしい日本語のパンフレット

いわき市国際交流協会の須向（すこう）さんの話

ここでは，日本語教室のほかに，外国人が先生役になって料理（りょうり）教室や英語の勉強会なども行っています。また，日本人と外国人が交流できるイベントをたくさん企画（きかく）しています。今，いわきには約 50 か国の人が住んでいるので，共（とも）にくらすためには，おたがいのことをよく知ることが大切だと思います。

⑤　国際交流協会が発行している外国人向けの情報誌（じょうほうし）

「外国の人に住みやすいまちになるように活動しているんだね。」

「外国の人が安心していわき市に住み続（つづ）けるには，どうしたらいいのかな。」

ワールド アイ

いわき市内に住む外国人向けの情報誌。

いわき市で行われるイベントや，外国の人の生活に役立つお知らせを毎月掲載（けいさい）しています。

① もちつき体験会

② 防災体験ツアー

調べる

いわき市では，共にくらすためにどのような取り組みをしているのでしょうか。

これからも共にくらすために

「防災体験ツアーは，国や年れいのちがう人が，いっしょに参加しているみたいだね。」

「外国人と日本人が，いっしょに活動しているのはどうしてかな。」

共にくらす

おたがいの文化的なちがいをみとめ合い，地いき社会で対等な立場でくらすこと。

留学生のリンさんの話

わたしは，いわき市内の大学に通う留学生です。学校が休みの日に，国際交流協会で働いています。

災害の時，外国の人がこまらないように日本語の情報を外国語に訳したパンフレットを作ったり，イベントや学校の授業で，日本と外国の文化や宗教のことをしょうかいして，おたがいに知ってもらう手伝いをしたりしています。

③ 書道での交流の様子

まとめる

国際交流に取り組むいわき市について調べたことをもとに，４コマCMをつくりましょう。

学習問題

いわき市では，外国の人たちとどのような交流をし，共にくらすためにどのようなまちづくりをしているのでしょうか。

学習問題をもう一度かくにんしよう！

かんたさんたちは，これまでの学習をふり返り，国際交流に取り組むいわき市の様子について，グループで話し合いました。

次に，いわき市の特色を伝える４コマCMをつくり，しょうかいし合うことにしました。

④　かんたさんたちがつくった４コマCM

（3） 地いきの資源を生かしているまち

① 自然と共に生きる 只見町

① 癒しの森のブナ林

つかむ

写真や資料から，気づいたことを話し合い，学習問題をつくりましょう。

② カモシカ

ユネスコエコパーク

ゆたかな自然や生態系を守りながら，それらを生かして発展するモデルとして，ユネスコにみとめられた地いきのこと。

ユネスコとは，教育や文化などを通して平和を目指す世界的な機関です。

日本では，2023（令和5）年現在，10か所の地いきがみとめられています。

只見ユネスコエコパーク

あかりさんたちは，只見町の写真や資料を見て，気づいたことについて話し合うことにしました。

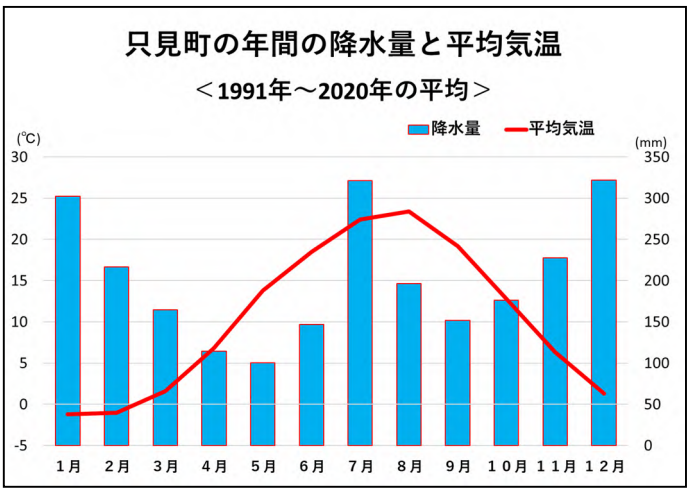
「癒しの森には，たくさんのブナの木が生えているよ。森の中を歩くと気持ちがよさそうだね。」

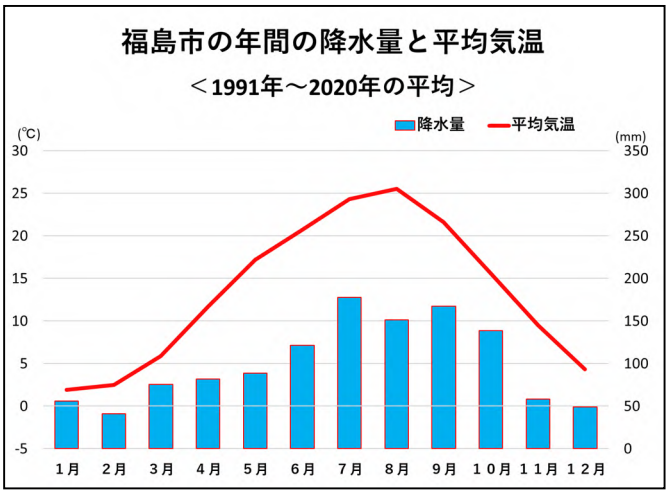
「森ではたくさんの種類の動物や植物を見ることができるそうだよ。」

「何月の写真だろう。ブナの葉がしげる季節なのに，雪も見られるね。」

「只見町では，雪がたくさんふるみたい。福島市とはずいぶんちがうね。」

「たくさんの雪どけ水が，ゆたかな自然を育んでいるそうだよ。」





③　只見町と福島市の※1降水量と※2平均気温　（「気象庁ホームページ」より作成）

※1　降水量：地面にふる雨や雪の量のこと。
※2　平　均：いくつかの数や量をならしたあたいのこと。

「只見町は，ユネスコエコパークに登録されていると聞いたことがあるよ。」

「只見町には，どうしてこんなにゆたかな自然が残っているのかな。」

「きっと，町の人たちが自然を守る取り組みをしているからだと思うよ。」

「ゆたかな自然をまちづくりに生かしているからではないかな。」

「只見町のまちづくりについても調べてみたいね。」

あかりさんたちは，話し合ったことをもとに，学習問題をつくりました。

④　人の身長をこえる雪

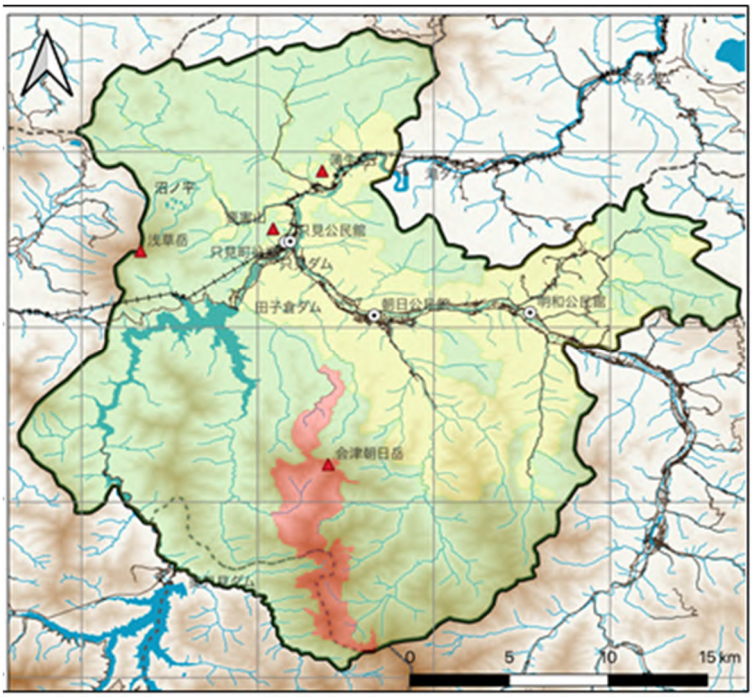
【調べること】
- **ゆたかな自然を守る取り組み。**
- **ゆたかな自然を生かしたまちづくりの取り組み。**

【調べ方】
- **パンフレットやインターネットを使って調べる。**
- **町役場で働く人や博物館学芸員の方にインタビューをしたり，メールや手紙でたずねたりする。**

【まとめ方】
- **只見町の取り組みや人々の生活について，４コマCMにまとめる。**

学習問題

只見町では，ゆたかな自然をどのようにして守り，どのようにまちづくりに生かしているのでしょうか。



核心地いき

自然の保護・保全が最優先となる地いき。

緩衝地いき

保護・保全をしながら，調査・研究，伝統的なしゅりょう・採取，観光などができる地いき。

移行地いき

かんきょうに負荷の少ない産業を行うことができる地いき。

① 土地の管理区分

（「只見ユネスコエコパーク定期報告書」より作成）

調べる

只見町では，どのようにして，ゆたかな自然を守っているのでしょうか。

② 保護監視員の活動

かんきょうの保護と保全

保護とは，人の立ち入りをせいげんしたり，禁止したりして，そのままの状態を保つことです。

保全とは，そのままの状態を保ったり，改善したりするために，対さくを行うことです。

ゆたかな自然を守る

あかりさんたちは，只見町の自然を守る取り組みについて調べ，わかったことを話し合いました。

「きちょうな自然を保護・保全する地いきと，活用できる地いきに分けているそうだよ。」

「それでも，野生の動植物を勝手にとってしまう人が多く，みんながこまっていたから，町で保護や監視をする人をお願いしたそうだよ。」

「只見町では，世界ブナ・サミットが開催され，国内外の研究者が，貴重なブナ林を守るために，ブナの価値や保護・保全の仕方について話し合ったそうよ。」

③　世界ブナ・サミット

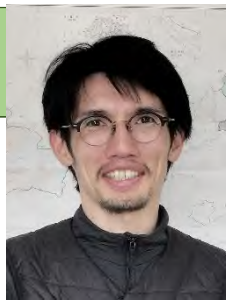
④　只見町ブナセンター

「ゆたかな自然を守るために，多くの人が関わっているのね。」

「2007（平成19）年には，只見町ブナセンターができたそうだよ。」

「何のためにできたのかな。ブナセンターの人に聞いてみよう。」

ブナセンターの中野さんの話



ブナセンターは，只見町のブナ林などを保護しつつ，それらを生かした地いきづくりを行うことで，町を元気にしようという思いでつくられたんだよ。町の自然や伝統的な生活文化の特ちょうと，よさを広く知ってもらう活動をしているよ。

自然を調べ，知り，守り，そして，それらを持続可能な形で活用していくことは，私たちが生きるためにも重要なんだ。

年	できごと
1955（昭和30）	只見村と明和村が合併し，只見村になる。
1959（昭和34）	只見村と朝日村が合併し，只見町になる。
1973（昭和48）	越後三山只見国定公園が指定される。
1992（平成4）	布沢恵みの森構想で，ブナ林保護運動が始まる。
2003（平成15）	布沢恵みの森が「郷土の森」に指定される。
2005（平成17）	世界ブナ・サミット2005in只見が開催される。
2007（平成19）	「只見町ブナセンター」ができる。
	「子どもブナサミット」を開催し，「自然首都・只見」を宣言する。
2008（平成20）	世界ブナ・サミット2008in只見が開催される。
2009（平成21）	「ただみ・ブナと川のミュージアム」がオープンする。
2014（平成26）	只見ユネスコエコパークが登録される。
	只見町立朝日小学校がユネスコスクールに登録される。
2015（平成27）	「只見ユネスコエコパーク推進のための行動計画」を定める。
2017（平成29）	只見町立すべての小・中学校がユネスコスクールに登録される。

⑤　自然保護に関する年表

（「只見ユネスコエコパーク」ＨＰより作成）

① 南郷トマト

② 只見町の山菜料理

調べる

只見町の人々は，ゆたかな自然をどのようにまちづくりに生かしているのでしょうか。

ゆたかな自然を生かしたまちづくり

あかりさんたちは，只見町の人々がゆたかな自然をどのようにまちづくりに生かしているか調べ，わかったことを話し合いました。

「只見町やその周辺の地いきで作られる南郷トマトは，関東地方や関西地方でも売られているそうだよ。」

「山菜や川魚を使った郷土料理は，町内の飲食店や宿はくし設で食べることができるんだって。」

「つる細工など，地いきの自然素材を使った民芸品には，町がみとめたおみやげとして売られている物もあるよ。」

「自然を生かして，農業や漁業がさかんに行われていることがわかるね。それを観光にも生かしているんだね。」

③ つる細工

④ 只見町のおみやげ

民芸品

「民衆的工芸品」の略で，人々の生活の中から生まれた手工芸品のこと。地いきの身近にある材料を使い，そこにくらす人々の知恵と経験から作られています。

⑤　只見ふるさとの雪まつり

⑥　只見町公認自然ガイドツアー

「冬には，たくさんふる雪を生かして雪まつりを開催しているみたいだよ。」

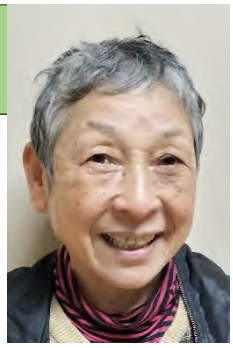
「只見町公認自然ガイドによるツアーや自然の中での体験活動など，エコツーリズムもさかんに行われているそうだよ。」

「只見町の人たちは，どのような思いで自然を生かしたまちづくりに協力しているのかな。」

エコツーリズム

地いきぐるみで，自然かんきょうやれきし文化など，地いきのよさを観光客に伝える取り組みのこと。そのよさが理解され，自然の保全につながっていくことを目指しています。

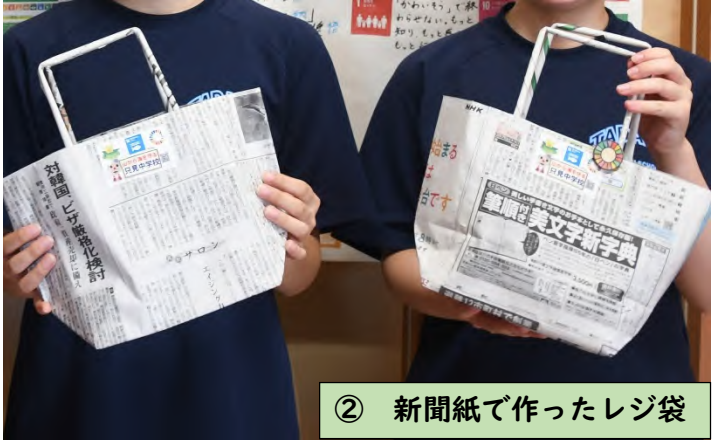
只見町公認自然ガイドの渡部さんの話



観光者や地元の小学生に，季節の草花や雄大な自然のこと，自然をうまく利用してきた人々の生活などについて伝えています。

只見町の自然や風景はみんなの宝物です。たくさんの人にそれを知ってもらい，感じてもらうことで，只見町にまた来たいと思う人がふえてほしいと願っています。美しい風景を何十年後にも残しながら，町も発展してほしいですね。

① 自然を守ることをよびかける小学生



② 新聞紙で作ったレジ袋

調べる

これからもゆたかな自然を生かしていくために，どのような活動が行われているのでしょうか。

ＥＳＤ

Education for Sustainable Development の略で，「持続可能な開発のための教育」と訳されます。

世界の人々や，地球上の生き物，そしてこれからの未来のことも考え，みんなが幸せにくらしていける地球にしていくために，一人一人ができることを考え，行動するための学びのことです。

只見町教育ポータル

自然と共に生きる

只見町の小・中学生は，自然を守りながら町が発展していくための方法について考え，行動するＥＳＤに取り組んでいます。ゆたかな自然を大切にする気持ちや地いきを愛する気持ちは，町の人々にも広がっています。

「自然を守るための行動を考えて，いっしょに取り組もうと，小学生が地いきの人たちの前でよびかけていたよ。」

「只見町の自然を守ることが，世界中の自然を守ることにもつながるとも話していたよね。」

「町の商店では，中学生の作った新聞紙レジ袋が，プラスチックレジ袋の代わりに使われているんだって。」

「小・中学生の新しい取り組みが，ほかにもありそうだね。調べてみよう。」

まとめる

ゆたかな自然を生かす只見町について，調べたことをもとに４コマＣＭをつくりましょう。

学習問題

只見町では，ゆたかな自然をどのようにして守り，どのようにまちづくりに生かしているのでしょうか。

学習問題をもう一度かくにんしよう！

あかりさんたちは，これまでの学習をふり返り，ゆたかな自然を守り，まちづくりに生かす只見町の様子について，グループで話し合いました。

次に，只見町の自然を生かしたまちづくりを伝える４コマＣＭをつくり，しょうかいし合うことにしました。

③　あかりさんたちがつくった４コマＣＭ

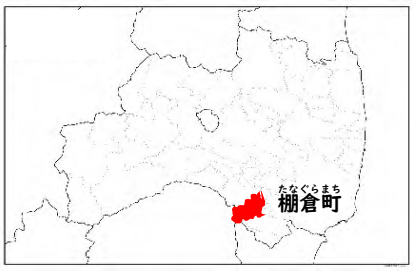
② 古くからのまちなみを生かす 棚倉町

① 棚倉城跡

② 馬場都々古別神社

つかむ

写真や資料から，気づいたことを話し合い，学習問題をつくりましょう。



③ 蓮家寺

文化財

長いれきしの中で生まれ，今まで守り伝えられてきた国民的な財産のこと。国宝，重要文化財，史跡，天然記念物などと指定し，文化財の保存をしています。

東北の小京都「棚倉」

あかりさんたちは，棚倉町の古いまちなみの写真や資料を見て，気づいたことについて話し合うことにしました。

「昔から京都との関わりが深かったから，小京都とよばれているみたいだよ。」

「棚倉城跡のまわりのお堀は，大きいよ。公園のふん水がきれいだね。」

「馬場都々古別神社や蓮家寺のように，古い建物がたくさんあるよ。」

「国や県，町によって文化財に指定されたものもたくさんあるみたいだよ。」

「棚倉町には，どうして古い建物がたくさん残っているのかな。」

④　棚倉町の地図

⑤　八槻都々古別神社の御田植祭

「町の人たちが，古い建物を大切に守っているからではないかな。」

「古いまちなみを生かして，観光客をよぼうとしているからではないかな。」

「毎年２月に，豊作をいのって行われる『御田植祭』は，国の重要無形民俗文化財になっているみたいだよ。」

「町の人たちは，どのようにして古いまちなみや文化を守ってきたのかな。」

あかりさんたちは，話し合ったことをもとに，学習問題をつくりました。

【調べること】

- **古いまちなみや文化を守る取り組み。**
- **古いまちなみや文化を生かしたまちづくりの取り組み。**

【調べ方】

- **パンフレットやインターネットを使って調べる。**
- **町役場や地いきで働く人にインタビューをしたり，メールや手紙でたずねたりする。**

【まとめ方】

- **棚倉町の取り組みや人々の協力について，４コマＣＭにまとめる。**

学習問題

棚倉町では，古くからのまちなみや文化を生かして，どのようなまちづくりをしているのでしょうか。

① 【国指定重要文化財】馬場都々古別神社本殿

② れきしあるまちなみ

調べる

棚倉町では，どのようにして，文化財やまちなみを守っているのでしょうか。

③ 蓮家寺の銅鐘

国や県，町で指定した文化財がほかにもあるのではないかな。

伝統的な文化財とれきしあるまちなみを守る

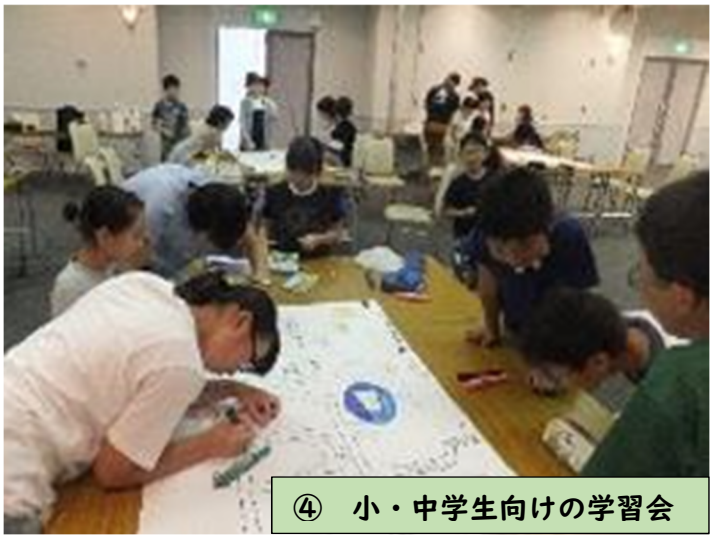
あかりさんたちは，棚倉町にある文化財やれきしあるまちなみについて調べ，わかったことを話し合いました。

「棚倉町は，江戸時代に城下町として栄えていて，そのころの古いものが今でも残っているそうだよ。」

「馬場都々古別神社は，国によって重要文化財に指定されているみたいだよ。」

「蓮家寺にある鐘も，国がみとめた重要美術品になっているみたいだよ。」

「町の人たちは，どのようにして文化財やまちなみを守ってきたのかな。」



④　小・中学生向けの学習会

⑤　蓮家寺山門の修理

「町は，れきしあるまちなみを守るための計画を立て，　2020（令和２）年３月に国から認定を受けたそうだよ。」

「町では，どのような取り組みをしているのか役場の人に聞いてみようよ。」

棚倉町役場の塚野さんの話

棚倉町は，文化財やれきしあるまちなみを守り，れきしを生かしたまちづくりを進めています。城や神社，そのまわりにある古い建物などを修理するときには補助金を出したり，小・中学生に町のれきしを知ってもらう学習会を開いたりしています。棚倉町では，町のよさを伝えたいという強い気持ちから，住民がふるさとガイドをしています。町は，そのお手伝いもしています。

年	できごと
1871（明治４）	棚倉県がおかれる。
1889（明治 22）	棚倉町になる。
1890（明治 23）	東白川郡庁舎が棚倉城跡にうつる。
2004（平成16）	八槻都々古別神社の御田植が国の重要無形民俗文化財になる。
2006（平成 18）	阿部正備茶室が町の文化財になる。
2008（平成 20）	八槻都々古別神社の大般若経が県の文化財になる。
2013（平成 25）	八槻家住宅が県の文化財になる。
2014（平成 26）	流廃寺跡が国の文化財になる。
	馬場都々古別神社の本殿が国の文化財になる。
2019（平成 31）	棚倉城跡が国の史跡になる。
	八槻都々古別神社の本殿と門が県の文化財になる。

⑥　文化財に関する年表

（「棚倉町歴史的風致維持向上計画」より作成）

① 棚倉秋祭りの様子

② 十万石棚倉城祭りの様子

調べる

棚倉町の人々は，どのようにして古くから伝わる文化を受けついでいるのでしょうか。

古くからの文化を受けつぐ人々

あかりさんたちは，棚倉町に昔から伝わる祭りについて調べました。

「棚倉秋祭りは，約 200 年も前から続いているそうだよ。大屋台（山車）がすれちがうところは，はく力があるね。」

「棚倉城祭りでは，よろいを着た武士たちが町中を歩く武者行列が有名で，たくさんの観光客がおとずれるそうだよ。」

「町に住む方が，観光地を案内してくれるふるさとガイドがあるみたいだよ。」

「近くにある小学校のクラブ活動では，八槻都々古別神社楽人会の方から，昔から伝わる田遊びを学んでいるそうだよ。」

③ 八槻都々古別神社の御田植

④　棚倉町ふるさとガイド

⑤　棚倉ふるさと講座の様子

「町では，多くの人に棚倉町のみりょくを知ってもらおうと『棚倉ふるさと講座』を開いたり，『棚倉ふるさと検定』を行ったりしているそうだよ。」

「町の人たちは，どのような思いでまちづくりに協力しているのかな。」

⑥　棚倉ふるさと検定の案内

ふるさとガイドの高坂さんの話

昔かられきしに興味があり，自分のふるさとである棚倉町のよいところを多くの人に知ってもらいたいという気持ちから，ボランティアでガイドを始めました。

観光におとずれた人たちから，棚倉町のれきしや祭りをほめられると，とてもうれしいです。

町では少子高齢化が進んでいますが，これからも，棚倉町のれきしと文化をたくさんの人たちに伝えていきたいです。

楽人会

楽人会は，八槻都々古別神社で行われる「元旦祭」や「霜月大祭」などの年中行事で，神様に歌やおどりをささげています。

少子高齢化

お年寄り（65歳以上の高齢者）の人口がふえて，子どもなど若い世代の人口がへっていること。

① 町をしょうかいするＰＲ動画

② 小学生の茶道体験

調べる

古いまちなみや文化を生かしていくために，どのようなことが行われているのでしょうか。

れきしあるまちなみや文化を生かして

棚倉町では，小学生が室町時代から伝わる「茶の湯」を体験したり，地いきのせいそう活動を行ったりしています。地いきのまちなみや文化を，これからも大切にしていこうとする気持ち，町を愛する気持ちを育てるためです。

棚倉町では，より多くの観光客を集めたり，地いきをもり上げたりするために，町をしょうかいするＰＲ動画やおうえんソングを作成しました。また，外国人観光客もふえているので，さまざまな国の言葉で書かれたパンフレットをつくるなど，新しい取り組みをしています。

Interesting Places

Akadate Park
P 20 cars, free
Open from March to November

Located on Tanagura's northern hill with an elevation of 345m, this former castle location was used until the new castle (Tanagura Castle) was built. On the southern side of the mountain a monument to Gyokushitsu Oshou, the head priest of Daitoku Temple in Kyoto who was exiled to Tanagura during the Shien Incident, is built at the site where his hut was.
There are very few historical materials relating to Akadate, but from what there are Akadate was probably built sometime around 1334~1338. With the first lord being Akadate Igajiro.

"Toki no Kane"
P Use the town parking lot

Built to resemble the bell tower in Kawagoe City, the bell is rung five times a day. (8a.m., 10a.m., 3p.m., 5p.m., 7p.m.) Its sound reverberates through the center of Tanagura. (Because the 15th lord of Tanagura Castle, Matsudaira Yasuhide, was transferred to Kawagoe and both Tanagura and Kawagoe shared a piece of history, they decided to become Friendship Cities in 1972.)

③ 英語で書かれた観光パンフレット

観光パンフレット

「棚倉町やそこに住んでいる人たちの新しい取り組みが，ほかにもありそうだね。」

「このような取り組みを広げているのは，どうしてなのかな。」

まとめる

古いまちなみや文化を生かす棚倉町について，調べたことをもとに４コマＣＭをつくりましょう。

学習問題

棚倉町では，古くからのまちなみや文化を生かして，どのようなまちづくりをしているのでしょうか。

学習問題をもう一度かくにんしよう！

あかりさんたちは，これまでの学習をふり返り，れきしあるまちなみや文化を生かす棚倉町の様子について，グループで話し合いました。

次に，棚倉町の様子を伝える４コマＣＭをつくり，しょうかいし合うことにしました。

④　あかりさんたちがつくった４コマＣＭ

広げる

福島県内の特色ある地いきのよさを，学校のみんなに伝えてみましょう。

県内の特色ある地いきのよさを伝えよう

はなさんたちは，これまで調べてきた特色ある地いきについてふり返り，自分たちが住むまちとくらべて，気づいたことを話し合いました。

「わたしたちのまちにも，浪江町のように伝統的な産業でつくられた特産品があるよね。伝統的な産業に，長いれきしがあるところは，浪江町とにているね。」

「いわき市には，わたしたちのまちよりもたくさんの外国の人たちがくらしているよ。みんながくらしやすくするための取り組みを，市だけでなく，留学生や地いきの人々も行っていたよね。」

「わたしたちのまちも自然がゆたかだけれど，只見町はユネスコエコパークに認定されていて，自然や生き物を未来へつなぐ取り組みをしていたね。」

「棚倉町では，古くからのまちなみを残すために，地いきの人々が協力して取り組んでいたよ。わたしたちのまちでも，昔の建物を大切にしたまちづくりをしているよね。」

自分たちのまちとにているところや，ちがうところは，どのようなところかな。

次に，これまでにつくった４コマＣＭや写真を活用して，県内の特色ある地いきをしょうかいする三角ポストをつくり，福島県のよさを学校のみんなに伝えることにしました。

三角ポストで，特色ある地いきをしょうかいしよう

【つくり方】

これまでに学習してきた特色ある地いきの共通点をまとめて，福島県のよさを伝える。

① 三角柱になるように工作用紙を切る。

② 長方形の面に，学習した三つのまちについての説明を書く。
（タイトル，特色，写真，考えたことなど）

③ 三角柱になるように組み立てる。

④ ３つのまちに共通していることや考えをはたに書いて，三角柱の上に立てる。

福島県の特色ある地いきでは，役場や住民が力を合わせてまちづくりを進めています。
人と人がつながることで，観光や産業をもり立てています。

「れきしあるまちなみ」棚倉町のところは，「自然と共に生きる只見町」に変わることがあります。
自分が学習したことをふり返り，三角ポストをつくろう。

「伝統的な産業」
浪江町

浪江町は，江戸時代から 300 年以上続く伝統的な産業の焼き物づくりがさかんです。
東日本大震災の影響で，浪江町は全町避難をしました。
それでも，職人さんや町の人が協力し，別の土地で大堀相馬焼の伝統を守り続けています。

「共にくらす」
いわき市

いわき市には，外国の人がたくさんくらしています。また，中国，オーストラリア，アメリカといった外国との交流がさかんに行われています。
いわき市では，日本人も外国の人も「共にくらす」ためのまちづくりが進められています。

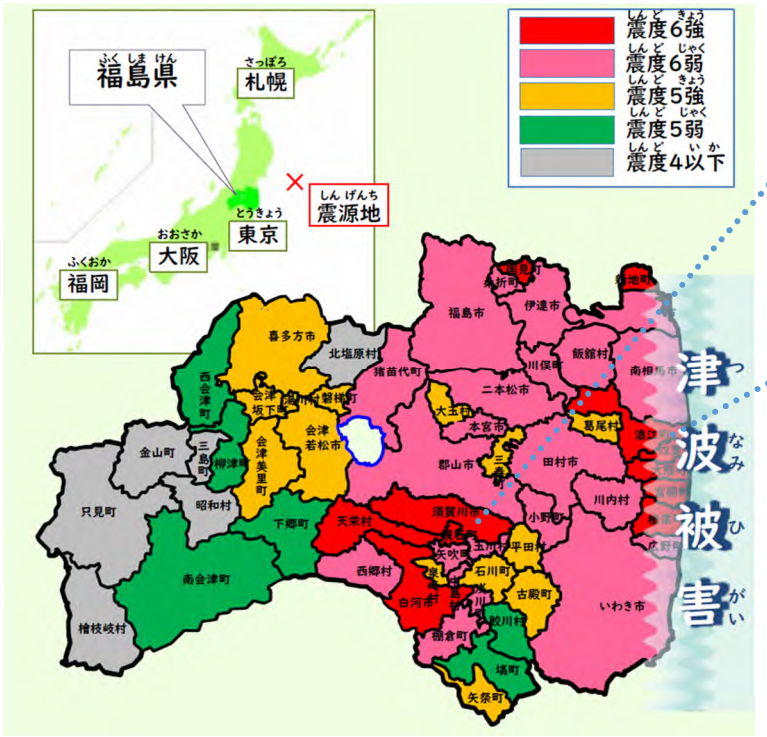
「れきしあるまちなみ」
棚倉町

棚倉町は，「東北の小京都」とよばれ，江戸時代に城下町だったころのまちなみが残っています。地いきに住む人々も古いまちなみを大切にしています。
より多くの人に町のよさを知ってもらうために，ＰＲ活動にも力を入れています。

5 これからの福島県

（1）ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま

①【東日本大震災】各地の震度と被害状況



（福島県「小中学生向け 10 の疑問から学ぶふくしま復興のあゆみ」より）

【被害状況】2023年8月1日時点
- 最大震度：震度6強
- 亡くなった人：4，168人
  （ひなん生活などで体調をくずして亡くなった人2，337人を含む。）

つかむ

写真や資料から，気づいたことを話し合い，学習問題をつくりましょう。

震災からの復興

さくらさんたちは，東日本大震災の写真や福島県が作成した「小中学生向け 10 の疑問から学ぶふくしま復興のあゆみ」を見て，気づいたことについて話し合うことにしました。

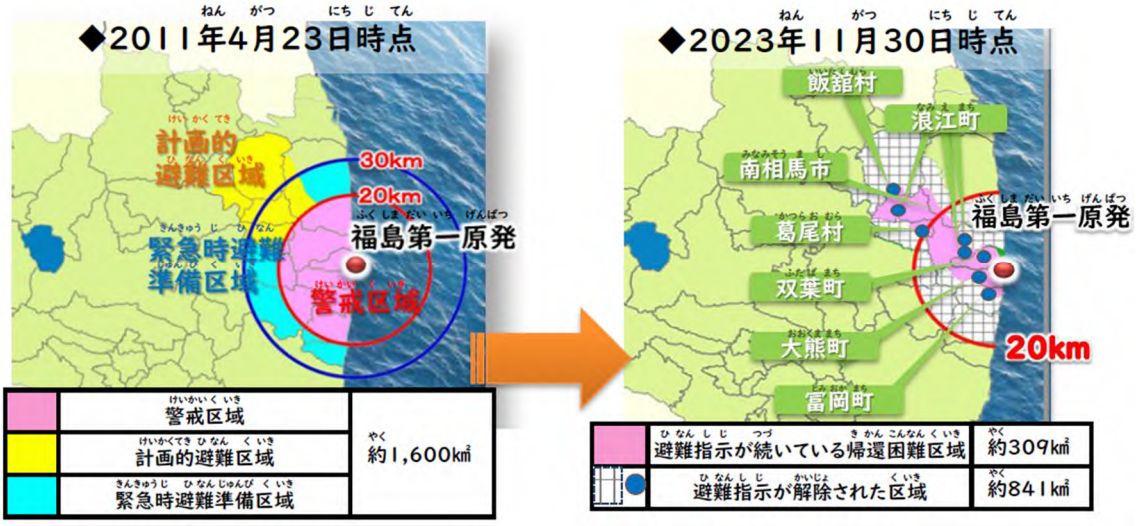
「東日本大震災では，多くの人が亡くなったんだね。津波によって，浜通り地方では，大きな被害が出たそうだよ。」

「それに原子力発電所の事故で，放射性物質が外に出てしまい，大きな被害につながったと聞いたことがあるよ。」

小中学生向け
10 の疑問から学ぶ
ふくしま復興のあゆみ

※ 原子力発電所事故で，近くに住む人は健康と安全を守るため，避難しなければならなくなりました。国で決めた三つの区域を避難指示等区域といいます。

② 避難指示等区域※の変化



（福島県「小中学生向け 10 の疑問から学ぶふくしま復興のあゆみ」より）

③ 避難者数の変化

（単位：人）

	県外避難者	県内避難者	避難先不明者	合　計
2012 年5月	62,038	102,827	0	164,865
2013 年5月	54,680	97,286	147	152,113
2014 年5月	45,854	83,250	50	129,154
2022 年4月	23,677	6,549	5	30,231
2023 年8月	20,704	6,099	5	26,808

「避難指示等区域は小さくなり，避難している人は少なくなってきたみたいだね。」

「でも，今でも避難している人がいるよ。復興は，どのくらい進んできたのかな。」

「福島県は，これからどのような県を目指していくのかな。」

さくらさんたちは，話し合ったことをもとに，学習問題をつくりました。

【調べること】

- ○ 福島県の復興に向けた取り組み。
- ○ これからの県づくりに向けた取り組み。

【調べ方】

- ○ パンフレットやインターネットを使って調べる。
- ○ 県庁で働く人にインタビューをしたり，メールや手紙でたずねたりする。

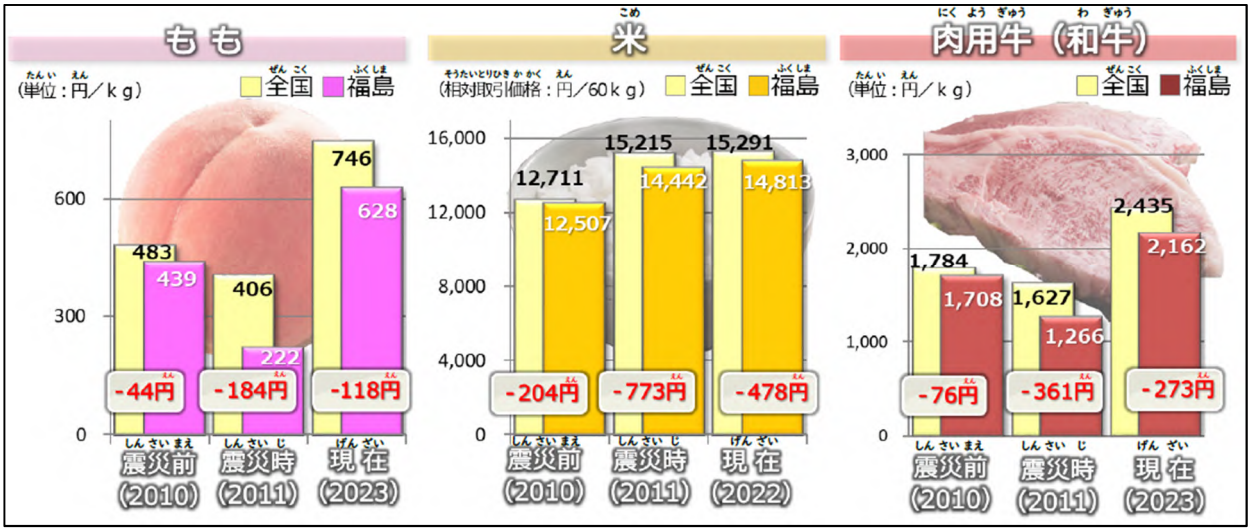
【まとめ方】

- ○ 福島県の復興に向けた取り組みをイメージマップにまとめる。

学習問題

福島県では，復興に向けてどのような取り組みが行われ，これからどのような県を目指していくのかな。

① 主な農産物の全国との価格差



② 県産農産物の輸出量

（福島県「小中学生向け 10 の疑問から学ぶふくしま復興のあゆみ」より）

調べる

福島県は，農業の復興に向けてどのような取り組みを進めてきたのかな。

復興に向けて取り組んできたことは，ほかにもあるのではないかな。

ふくしまの食を守るために

さくらさんたちは，福島県の農業の復興について調べ，わかったことを話し合いました。

「福島県にはおいしい食べ物がたくさんあるのに，原子力発電所事故の影響で今でも全国価格との差が回復していない農産物もあるんだね。」

「海外への輸出量は，震災前の２倍以上にふえているね。福島県ではどのような取り組みを進めてきたのか，県庁で働く人に聞いてみようよ。」

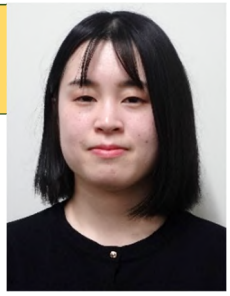
③　放射性物質の検査

④　６次産業化の取り組み

⑤　海外で農産物のＰＲ

⑥　オリジナル品種の開発

福島県農林企画課の丹伊田さんの話



原子力発電所事故の後，福島県の農林水産物は放射性物質の検査で安全性を確認してから出荷するようになりました。それでも風評被害が残っており，福島県の農林水産物は安全でおいしいことをいろいろな場所でＰＲしています。今では，たくさんの国と地いきで，福島の食べ物がよろこばれています。

現在，福島県では，農家などの地いきのさまざまな方と商品づくりに取り組む６次産業化や，オリジナル品種の開発を進めています。また，福島ならではのみりょくを伝える動画をつくって配信もしています。

風評被害

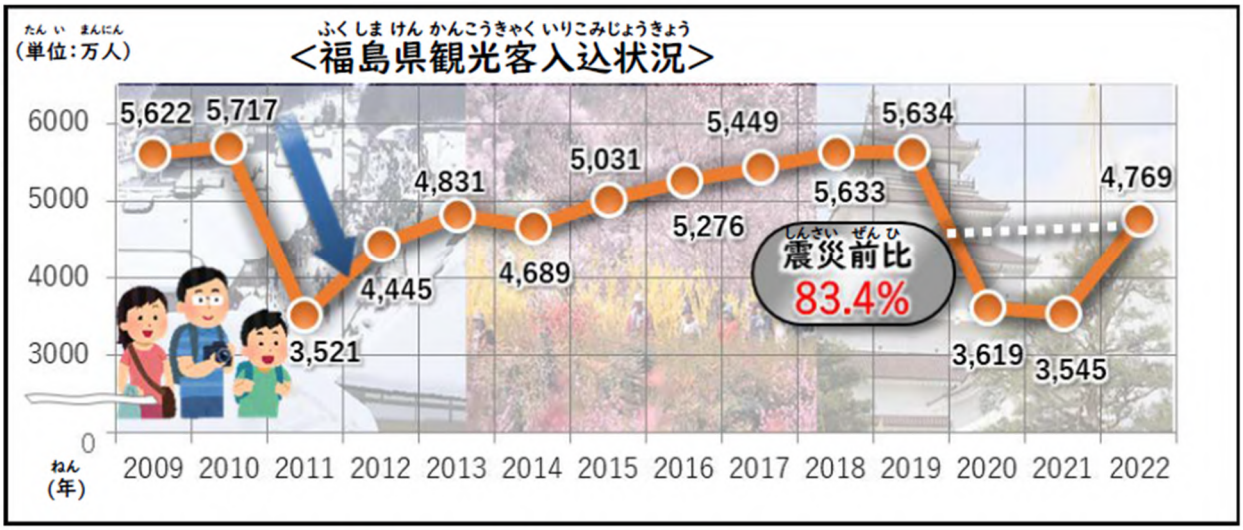
まちがった情報が広がることによるごかいや思いこみで，福島県産のものの購入や，福島県に来ることがさけられてしまうこと。

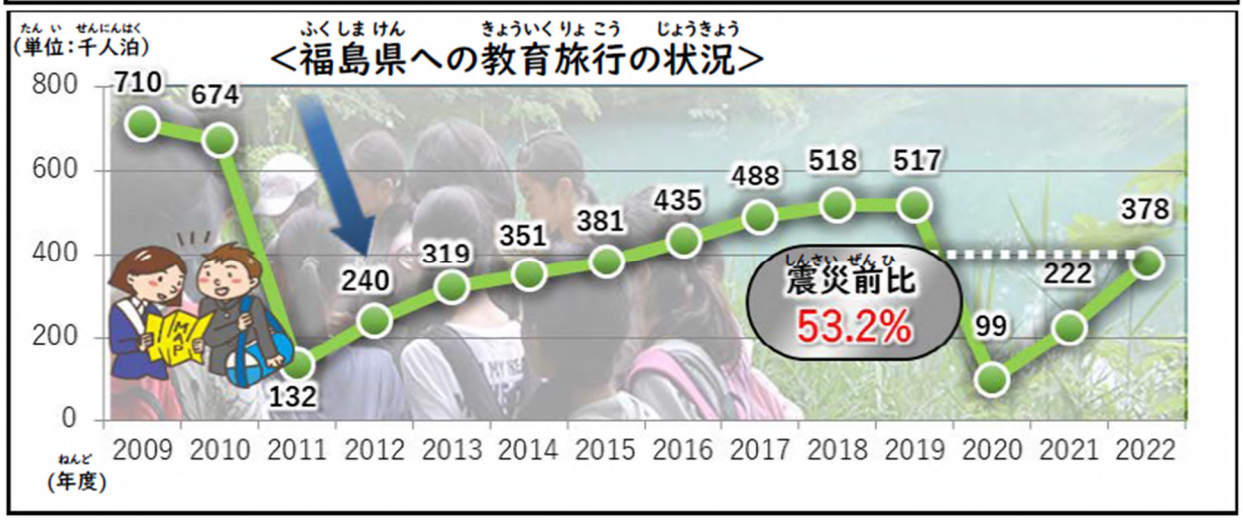
６次産業化

農産物や海産物などを生産（１次産業）している人や企業が，自らせいぞう・加工（２次産業）し，販売（３次産業）まで行うこと。

福島県農林水産部
ＰＲ動画

① 観光・教育旅行の状況





(福島県「小中学生向け 10 の疑問から学ぶふくしま復興のあゆみ」より)

調べる

福島県は，観光業の復興に向けてどのような取り組みを進めてきたのかな。

福島県のみりょくを知ってもらうために

さくらさんたちは，福島県の観光業の復興について調べ，わかったことを話し合いました。

「震災後に，福島県をおとずれる人数が大きくへったけれど，2019 年ごろにはかなり回復しているよ。」

「2020 年ごろは，新型コロナウイルスの流行で，福島県をおとずれる人数がまたへったけれど，少しずつ回復しているよ。福島県では，どのような取り組みをしているのかな。」

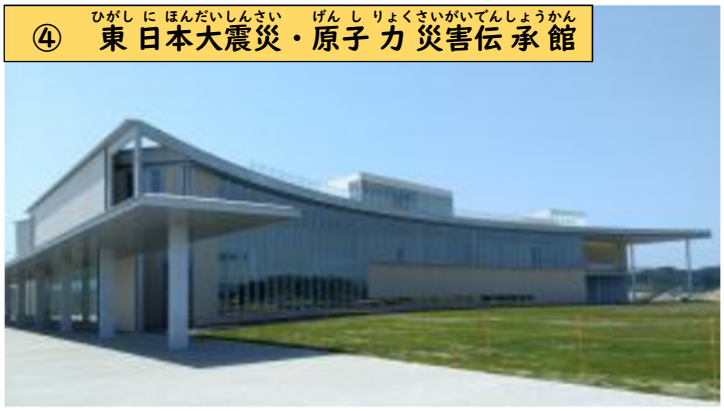
新型コロナウイルス

2019 年に中国で発見され，全世界に広がりました。新型コロナウイルスに感染したことが原因で，熱や，せきなどが出る病気を「新型コロナウイルス感染症」といいます。

② ブルー・ツーリズムの様子

③ グリーン・ツーリズムの様子

④ 東日本大震災・原子力災害伝承館



⑤ 震災遺構浪江町立請戸小学校

福島県観光交流課の橋本さんの話

福島県では，東日本大震災・原子力発電所事故を経験した福島ならではの観光である「ホープツーリズム」を中心に，国内外のさまざまな人たちに，きょうみをもってもらえるツアーを提案しています。

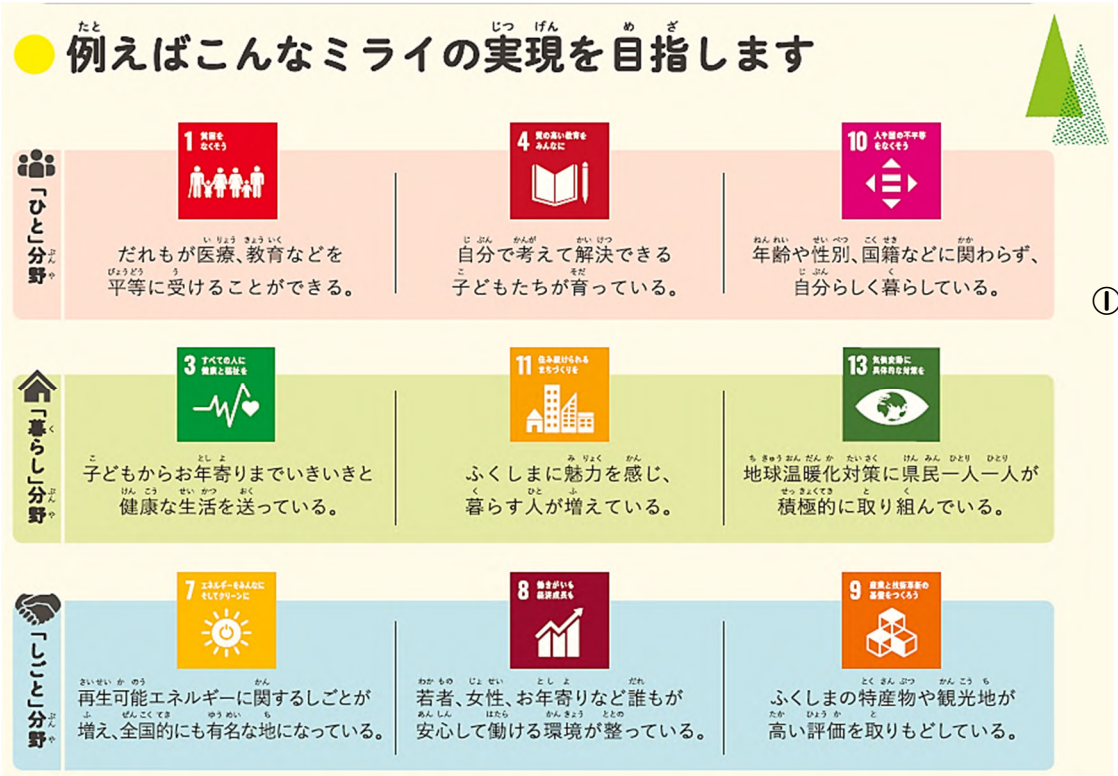
浜通り地方の海をいかした旅「ブルー・ツーリズム」，緑ゆたかな農村地いきで自然や文化，地いきの人との交流を楽しむ「グリーン・ツーリズム」など，旅を通して福島県のみりょくを多くの人に知ってほしいです。

ホープツーリズム

「東日本大震災・原子力災害伝承館」や「震災遺構浪江町立請戸小学校」など，震災の被害や福島の今を学び，これからの社会や自分自身について考える旅行プログラムです。

福島県ホープツーリズムホームページ

「福島県は，震災や新型コロナウイルスの影響を乗りこえて，ひとつ，ひとつ，復興へのあゆみを進めてきたんだね。」



① 福島県総合計画とSDGsの関係

（「福島県総合計画子ども版」より）

福島県総合計画子ども版

調べる

福島県は，未来に向けて，これからどのような取り組みを進めていくのかな。

SDGs

2015年に国際連合サミットで定められた目標のこと。2030年までにくらしや地球を守りながら問題を解決し，ゆたかな未来をつくるための17の目標があります。

再生可能エネルギー

くり返し何度でも使え，発電時に地球温暖化の原因となる二酸化炭素をほとんど出さない太陽光・太陽熱，水力，風力，地熱などのエネルギーのこと。

県民の願いをかなえる県づくり

福島県では，2050年ごろの未来を想像しながら，2030年までにかなえたい福島県の姿と，そのために取り組むことをまとめた「福島県総合計画」を作成しました。

その計画は，将来の地いきづくりや県づくりを「自分のこと」として考えてもらうために，小学生から大人まで，はば広い年代の県民との話し合いやアンケートなどを通して生まれた意見をもとにしてつくられました。

「『ひと』『暮らし』『しごと』の三つの分野でめざす未来をえがいているのね。」

「SDGs（エスディージーズ）の考え方とも深く関わっているんだね。」

「福島県の未来をつくる計画なんだね。具体的には，どんなことをするのかな。県庁で働く人に聞いてみようよ。」

② 無人航空機

③ 川の環境を調べる活動

④ ドローンを利用した実験の様子

⑤ グリーンカーテン

福島県復興・総合計画課の斎藤さんの話

福島県では，「ひと」「暮らし」「しごと」の三つの分野で，こんなことに取り組もうということも決めています。

例えば，「ひと」の分野では，子どもからお年寄りまで安心して健康に暮らせるよう，健民アプリの活用など，健康づくりの取り組みを進めています。

「暮らし」の分野では，美しい自然を守るため，地球温暖化対さくやリサイクルなど，環境にやさしい取り組みを進めています。

「しごと」の分野では，震災の被害を大きく受けた浜通り地方を中心に，ロボットや再生可能エネルギーなどの分野で新しい研究を進めています。

「福島県総合計画」について，もっと知ってもらうために，小中高生向けの出前授業も行っています。みなさんも福島県の未来について，いっしょに考えてみませんか。

まとめる

これからの福島県について，調べたことをもとに，復興年表をつくりましょう。

学習問題をもう一度かくにんしよう！

学習問題

福島県では，復興に向けてどのような取り組みが行われ，これからどのような県をめざしていくのかな。

さくらさんたちは，これまでの学習をふり返り，これまでの福島県の復興に向けた取り組みと，これからの県づくりの取り組みについて，グループで話し合いました。そして，福島県の復興の様子を伝える復興イメージマップをつくることにしました。

【復興イメージマップ例】

未来に向けた県づくり

浜通り地方を中心に，新しい仕事を生み出すための取り組みが進められています。

福島ならではの食，みりょくを県内外でくり返しPRしました。

復興に向けた取り組み

東日本大震災・原子力災害

風評被害

地震だけでなく原子力災害により，被害は大きくなりました。

【イメージマップに表す】

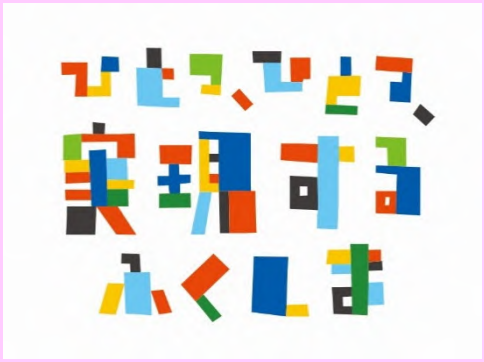
① 東日本大震災・原子力災害に関わることを，写真やふきだしを使って表現する。

② 復興に向けた取り組みに関わることを，写真やふきだしを使って表現する。

③ 未来に向けた県づくりに関わることを，写真やふきだしを使って表現する。

④ 共通する取り組みや関わりのあることがらがあれば線で結ぶ。

① 震災の後につくられたスローガン



② 2021 年につくられた新スローガン

広げる

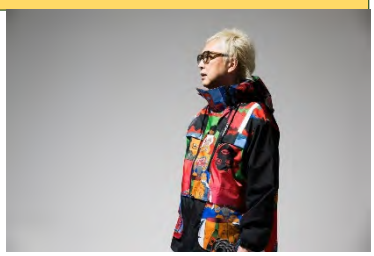
これまでの学習をもとに，自分たちはどのようなことを「実現」したいか話し合ってみよう。

2030 年 未来のふくしま

「福島県では，震災から 10 年がたった 2021 年に新しいスローガンを発表したんだよね。」

「新しいスローガンには，どのような願いがこめられているのかな。」

福島県クリエイティブディレクター 箭内 道彦さんのメッセージ



東日本大震災の一年後、2012 年３月に発表された
「ふくしまから はじめよう。」は、
未来への意思を宣言し、新しい流れを創造してきました。
そのバトンをしっかりと受け取って、
現在の、そしてこれからの福島に合わせて新しく生まれたスローガンが、
「ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま」です。

大きなこと、だけじゃなく、
ほんの小さな何かをかなえることも、
今日の、明日の、福島県を創るひとりひとりの、ひとつひとつ。
そんな思いも込められています。

文字のデザインは、
これまでの「卵」の殻を破って、
たくさんの豊かで多様な人々の力が重なることが、
色と形で表現されています。

優しく、あたたかな、ひとりひとりの「実現」のひとつひとつが、
今日のふくしまを明日につないでいきますように。

「わたしたち一人一人の小さな『実現』の積み重ねが，福島県の未来をつくっていくのかもしれないね。」

編集にたずさわった人たち

◇ 監修

福島県教育庁義務教育課

◇ 編集委員(令和5年度)

市川　一成	福島市立瀬上小学校教頭
佐藤　　真	郡山市立御舘小学校教頭
関根　哲宏	白河市立表郷小学校教頭
長澤　秀弥	猪苗代町立緑小学校教頭
目黒　英樹	只見町教育委員会副主幹兼文化スポーツ係長兼 中央公民館事務局長兼社会教育主事兼指導主事
神村　　崇	浪江町立なみえ創成小学校教頭
佐久間一暁	いわき市立鹿島小学校教諭
樋口　博亮	福島大学附属小学校教諭
渡邉　大輔	福島県教育センター指導主事
佐藤　正仁	福島県教育センター指導主事
嶺岸　知弘	県北教育事務所主任指導主事
沢　　貴史	県中教育事務所指導主事
有馬　光一	県南教育事務所指導主事
野中　伸也	会津教育事務所指導主事
仲丸　和宏	南会津教育事務所指導主事
今野　智功	相双教育事務所指導主事
黒津　牧花	いわき教育事務所指導主事
渡邊　智幸	文部科学省初等中等教育局初等中等教育企画課教育 制度改革室専門職（前相双教育事務所指導主事）

◇ 事務局

川井　孝寿	義務教育課長
橋本美弥子	義務教育課主幹
芦沢　　康	義務教育課主任指導主事
渡邉　文暁	義務教育課主任指導主事
秋山　　了	義務教育課主任指導主事
佐藤　盛俊	義務教育課指導主事
伊藤　貴史	義務教育課指導主事
松山　秀和	義務教育課指導主事
松本　涼一	義務教育課指導主事
二上　明子	義務教育課指導主事
鶴宮裕一郎	義務教育課指導主事
加藤真理子	義務教育課指導主事
今野　真幸	義務教育課指導主事

出典及び参考文献等

◇ 出典

・ わたしたちの郷土福島県（平成 14 年３月福島県県政広報グループ）
・ データで見る福島県（令和５年３月版福島県企画調整部統計課）
・ 「ふくしまがおいしい理由」（福島県農林水産部農産物流通課）
・ 福島市観光ノート（一般社団法人福島市観光コンベンション協会）
・ 福島県観光情報サイト　ふくしまの旅（公益財団法人福島県観光物産交流協会）
・ Google Earth（Google）
・ ふくしま放射線教育･防災教育指導資料活用版（平成 29 年３月福島県教育委員会）
・ フォトドキュメンタリー人類のために―野口英世（1996 年刊野口英世記念会）
・ 福島民報新聞「『大堀相馬焼』帰還の道しるべ」（令和５年７月 30 日掲載）
・ わたしたちのふるさといわき（令和５年度版いわき市教育委員会）
・ 只見ユネスコエコパーク定期報告書(令和５年９月只見ユネスコエコパーク（BR）推進協議会)
・ 棚倉町歴史的風致維持向上計画（令和２年６月棚倉町）
・ 福島県棚倉町観光マップ（令和４年３月棚倉町観光協会）
・ 文化庁デジタルライブラリー　日本の民俗芸能
・ 小中学生向け 10 の疑問から学ぶふくしま復興のあゆみ（2024 年２月９日発行福島県復興・総合計画課）
・ 福島県総合計画子ども版「みんなでかなえる！ふくしまのミライ」(福島県復興･総合計画課)

◇ 参考文献等(ＨＰ（ホームページ）を含む。)

・ わたしたちの郷土福島県（平成 14 年３月福島県県政広報グループ）
・ データで見る福島県（令和５年３月版）（福島県企画調整部統計課）
・ 福島県総務部広報課ＨＰ　・　福島県商工労働部雇用労政課ＨＰ
・ 福島県商工労働部企業立地課ＨＰ　・　福島県農林水産部農林企画課ＨＰ
・ 福島県農林水産部農産物流通課ＨＰ
・ 福島県企業立地ガイド（福島県商工労働部企業立地課）
・ ふくしま教育情報データベース（福島県教育センター）
・ ふくしま復興情報ポータルサイト（2023 年）
・ 東日本大震災記録写真集～「あの日」から私たちが歩んできた 1827 日～（平成 28 年３月版福島県）
・ 東日本大震災の記録と復興への歩み（平成 25 年３月福島県）
・ 公益財団法人安積歴史博物館ＨＰ
・ 福島市ＨＰ（福島市）　・　福島市の文化財（福島市文化財調査報告第 28 集）
・ 信夫山と暁詣りそして大わらじ（日本一の大わらじを担ぐ会）
・ 信夫山日本一の大わらじ（2015 年２月 10 日赤間利晴著）
・ 厚生労働省ＨＰ　・　内藤記念くすり博物館ＨＰ
・ 京都大学附属図書館ＨＰ　・　野口英世記念館ＨＰ
・ 白河歴史の手引き「れきしら」入門編
・ わたしたちのしらかわ

・　郷土学習資料集　探検・発見すてきな浪江町（平成 21 年９月第３次改訂版）
（発行：浪江町教育委員会　編集者：浪江町教育研究会（郷土資料編纂委員会））
・　大堀相馬焼協同組合ＨＰ　・　浪江町ＨＰ
・　郡山市文化スポーツ部国際政策課ＨＰ　・　郡山市国際交流協会ＨＰ
・　いわき市国際交流協会ＨＰ　・　いわきふるさとアルバム（いわき市ＨＰ）
・　気象庁ＨＰ　・　只見ユネスコエコパークＨＰ
・　棚倉町ＨＰ　・　棚倉城と棚倉藩（棚倉町生涯学習課、観光協会、物産振興会）
・　タウンガイドたなぐら　・　東北の小京都たなぐら棚倉町歴史虎ノ巻
・　福島県スローガン「ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま」特設サイト
・　福島県農林水産部ＨＰ
・　福島県ホープツーリズムＨＰ（公益財団法人福島県観光物産交流協会）
・　ふくしま浜通りブルー・ツーリズムパンフレット（福島県観光交流課ＨＰ）
・　ふくしまのグリーン・ツーリズム（福島県観光交流課ＨＰ）

◇ 作成協力者（敬称略、所属及び団体名のみ掲載）

・　福島県
広報課、商工総務課、福島県農林企画課、復興・総合計画課、観光交流課、
災害対策課
・　福島市
危機管理室、商工業振興課
・　相馬市地域防災対策課　・　公益財団法人福島県消防協会
・　福島市立瀬上小学校　・　福島市太平寺町会　・　福島県立博物館
・　公益財団法人安積歴史博物館　・　いわき市立内郷公民館
・　いわき市教育委員会　・　いわき市立宮小学校　・　御山敬神会
・　日本一の大わらじを担ぐ会　・　福島商工会議所
・　福島わらじまつり実行委員会　・　信夫山振興会
・　公益財団法人野口英世記念会　・　ＮＰＯ法人野口英世よこはま顕彰会
・　猪苗代の偉人を考える会
・　白河市
まちづくり推進課、観光課、文化振興課、
・　白河市教育員会　・　白河市立白河第三小学校
・　白河だるま総本舗（渡辺だるま店）　・　佐川だるま製造所
・　浪江町産業振興課　・　浪江町教育委員会　・　陶芸の杜おおぼり
・　松永窯　・　半谷窯　・　休閑窯
・　郡山市文化スポーツ部国際政策課　・　郡山市国際交流協会
・　いわき市観光文化スポーツ部文化交流課　・　いわき市国際交流協会
・　只見町ブナセンター（ただみ・ブナと川のミュージアム）
・　只見町公認自然ガイド　・　只見町　・　只見町教育委員会
・　棚倉町地域創生課　・棚倉町教育委員会　・　棚倉町ふるさとガイド

小学校社会科地域副読本

わたしたちのふるさと福島県

○ 令和6年3月 27 日　初版発行

○ 編　集　責　任　者　義務教育課長　川井　孝寿

ひとつ、ひとつ、実現するふくしま

年　　組	（名前）